

「STUDY GUIDE 2012」

変更部分について

※ 「STUDY GUIDE」は入学年次のための配布のため、記載内容に変更があった部分のみ、この冊子にまとめて掲載しています。

教務課

2018 年 4 月 1 日

【本冊子について】

- ◎ 本冊子では、2012 年度入学の学生に対して、すでに配布されている『STUDY GUIDE 2012』に記載されている事項について、変更があった部分をまとめたものです。
- ◎ 『STUDY GUIDE』同様に、重要なものですので、必ず内容を確認し、必要な部分については『STUDY GUIDE』とともに保存しておいてください。

【注意事項】

- ※ この冊子は主に「授業」「資格取得」に関する変更を掲載しています。なお、「資格・検定」「副専攻」の変更部分については、この冊子には掲載されていないので、最新版の『STUDY GUIDE』を大学HPより参照してください。また、その他の項目についても同様に最新版の『STUDY GUIDE』を参照してください。最新版の『STUDY GUIDE』は教務課カウンターにも備え付けています。
- ※ 『STUDY GUIDE』に記載されている内容、およびこの冊子に記載されている変更点は、履修登録や資格取得、卒業に関わる大変重要なものですので、漏れなく確認してください。

事務手続き 除籍取消

2014年度より変更があった部分

除籍取消

用語解説

※簡易書留

引き受けから配達までの郵便物等の送達過程が記録されます。郵便局の窓口で手続きしてください。

授業料等未納によって除籍された学生が除籍取消を希望する場合は、期限までに授業料等を速やかに納付し、学生納付金領収書のコピーとともに「除籍取消願」(教務課備付)を教務課所属学部係に提出してください。事情により来学できない場合は、電話連絡の上、簡易書留※で郵送してください。

教授会の承認を得て、除籍の取消を行います。

「除籍取消願」と「学生納付金領収書のコピー」の提出期限

(提出期限が休日の場合は、その翌日になります。)

	提出期限
春学期分授業料等	8月25日
秋学期分授業料等	2月25日

(略)

(略)

授業・科目一覧

「共通科目」

2018年度より変更があった部分

共通科目

(略)

(1) 国際交流科目の追加（網掛け部分）

国際交流科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	国際交流科目	(略)							
		交換留学スペイン		4	○	○	○	○	
		交換留学Ⅰ		4	○	○	○	○	
		交換留学Ⅱ		4	○	○	○	○	
		海外セミナー		4	○	○	○	○	
		(略)							
		(略)							大学が認めた留学生専用科目
		Japanese Economics 2		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅠ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅡ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅢ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅣ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅤ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅥ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅦ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅧ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅨ		2	○	○	○	○	
		Japan ProgramⅩ		2	○	○	○	○	

(略)

2017年度より変更があった部分

(略)

▶ 外国語科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
(略)									
外国語科目	英語	Campus English		1		○	○	○	GCC 生 専用科目
		Academic English 1		1		○	○	○	
		Academic English 2		1		○	○	○	

(略)

追大プロジェクト科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
(略)									
総合科目	追大プロジェクト科目	キャリア数学 2		2		○	○	○	
		キャリア数学 3		2			○	○	
		キャリア数学 4		2			○	○	
		文章論演習		2		○	○	○	
		キャリア英語		2		○	○	○	
		文章理解演習		2			○	○	
		社会科学概論 1		2		○	○	○	
		社会科学概論 2		2			○	○	
		人文科学総論		2			○	○	
		自然科学総論		2			○	○	
		キャリア形成論 1		2		○			
		(略)							

総合科目	追大プロジェクト科目	表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション 1		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション 2		2	○	○	○	○	
		(略)							
		グローバルキャリア論		2		○	○	○	
		(略)							
		追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナール		2	○	○	○	○	リーダー養成 コース生専用 科目
		リーダーズプログラム 1		2	○	○	○	○	最大 2 単位まで を卒業に必要な 単位として認め る。単位認定
		リーダーズプログラム 2		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラム 3		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラム 4		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラム 5		2	○	○	○	○	<u>は、プログラム が修了した翌学 期に行う。ただ し、卒業年度の 秋学期に参加し たプログラムは 単位認定の対象 としない。</u>
		リーダーズプログラム 6		2		○	○	○	最大 2 単位まで を卒業に必要な 単位として認め る。単位認定
		リーダーズプログラム 7		2		○	○	○	
		リーダーズプログラム 8		2		○	○	○	
		リーダーズプログラム 9		2		○	○	○	
		リーダーズプログラム 10		2		○	○	○	<u>は、プログラム が修了した翌学 期に行う。ただ し、卒業年度の 秋学期に参加し たプログラムは 単位認定の対象 としない。</u>
		リーダーズプログラム 11		2		○	○	○	<u>単位認定は、プ ログラムが修了</u>

									した翌学期に行 う。ただし、卒 業年度の秋学期 に参加したプロ グラムは単位認 定の対象としな い。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(略)

(3) 国際交流科目の追加（網掛け部分）

国際交流科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
(略)									
総合科目	国際交流科目	Contemporary Japanese Philosophy 2		2	○	○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
		Japanese Economics 1		2	○	○	○	○	
		Japanese Economics 2		2	○	○	○	○	

(略)

2016年度より変更があった部分

共通科目

(略)

(1) 基本科目の追加 (網掛け部分)

▶ 基本科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
基本 科目	ン ゼ ミ プ	オープンゼミ 1		2		○	○	○	
		オープンゼミ 2		2		○	○	○	
	言 語 と 文 化	日本語の諸相 1		2	○	○	○	○	
		日本語の諸相 2		2	○	○	○	○	
		日本語表現		2	○	○	○	○	
		アジアの文化 1		2	○	○	○	○	
		アジアの文化 2		2	○	○	○	○	
		(略)							

(略)

(2) 総合科目の追加 (網掛け部分)

▶ 総合科目

(略)

① 追大U I 科目の追加 (網掛け部分)

追大U I 科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大U I 科目	学び論		2	○	○	○	○	
		追手門U I 論		2	○	○	○	○	
		笑学入門		2	○	○	○	○	
		北摂を学ぶ		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 1		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 2		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 3		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 4		2	○	○	○	○	
		(略)							

(略)

* 「学び論」を修得した者は、追手門U I 論を履修することはできない。

②追大プロジェクト科目の追加（網掛け部分）

追大プロジェクト科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大プロジェクト科目	インターンシップ基礎		2		○	○		最大4単位まで卒業に必要な単位として認める
		インターンシップ実習		2		○	○		
		インターンシップ実習1		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習2		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習3		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習4		1	○	○	○	○	
		インターンシップ1		2			○	○	
		インターンシップ2		2			○	○	
		経営力インターンシップ1		2	○	○	○	○	
		経営力インターンシップ2		2	○	○	○	○	
		キャリア数学1		2		○	○	○	
		キャリア数学2		2		○	○	○	
		文章論演習		2		○	○	○	
		キャリア英語		2		○	○	○	
		社会科学概論1		2		○	○	○	
		キャリア形成論1		2		○			
		キャリア形成論2		2		○			
		キャリア形成論3		2			○		
		社会人の基礎		2				○	
		プロジェクト1		2	○	○	○	○	
		(略)							

*インターンシップ1を修得した場合はインターンシップ基礎、またインターンシップ2を修得した場合はインターンシップ実習を履修することはできない。

（略）

2015年度より変更があった部分

共通科目

(略)

(1) 基本科目の変更 (網掛け部分)

▶ 基本科目

基本科目一覧

・旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
言語と文化	日本語の諸相 1	2	日本語の諸相 1	1 年次以上	
	日本語の諸相 2	2	日本語の諸相 2		
	日本語表現	2	日本語表現		
	アジアの諸文化 1	2	アジアの文化 1		
	アジアの諸文化 2	2	アジアの文化 2		
	アジアの社会 1	2	アジアの社会 1		
	アジアの社会 2	2	アジアの社会 2		
	アジアと国際社会 1	2	アジアと国際社会 1		
	アジアと国際社会 2	2	アジアと国際社会 2		
	英米の文化・文学 1	2	欧米の文学		
	英米の文化・文学 2	2			
	比較文化概論 1	2	比較文化概論 1		
	比較文化概論 2	2	比較文化概論 2		
	言語の科学 1	2	言語学入門		
	言語の科学 2	2			
	比較思想概論 1	2	哲学入門		
	比較思想概論 2	2			
	異文化交流の歴史	2	世界の歴史		
	異文化交流とコミュニケーション	2	異文化理解		
	ヨーロッパの文学 1	2	欧米の文学		
	ヨーロッパの文学 2	2			
	ヨーロッパの思想 1	2	哲学入門		
	ヨーロッパの思想 2	2			
	ことばと文化(ドイツ語)	2	比較文化概論 1		
	ことばと文化(フランス語)	2	比較文化概論 2		

言語と文化	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)1	2	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)1	1 年次以上	
	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)2	2	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)2		
	くらしと文化	2	くらしと文化		
	GlobalAwareness/GlobalConcepts	2	GlobalAwareness/GlobalConcepts	2 年次以上	グローバルキャリアコース 専用科目
	InterculturalCommunication	2	InterculturalCommunication		
	日本文化論 1	2	日本文化論 1	1 年次以上	
	日本文化論 2	2	日本文化論 2		
	国際異文化理解 1	10	国際異文化理解 1	2 年次以上	大学が認めた 留学生専用科目
	国際異文化理解 2	10	国際異文化理解 2		
		2	宗教と社会	1 年次以上	
		2	考古学入門		
		2	芸術学入門		
		2	アジアの文学 1		
		2	アジアの文学 2		
		2	日本の文学		
		2	日本の伝統芸能		
		2	民俗学入門		

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
生活と社会	入門経済学 1	2	入門経済学 1	1 年次以上	
	入門経済学 2	2	入門経済学 2		
	日本国憲法	2	日本国憲法		
	市民生活と法 1	2	市民生活と法 1		
	市民生活と法 2	2	市民生活と法 2		
	家族と法 1	2	法学入門		
	家族と法 2	2			
	近代日本社会と世界 1	2	日本の近現代史 1		
	近代日本社会と世界 2	2	日本の近現代史 2		
	市民社会と政治 1	2	市民社会と政治 1		
	市民社会と政治 2	2	市民社会と政治 2		
	生活と地理 1	2	人文地理学入門		
	生活と地理 2	2			

生活と社会	社会学の考え方	2	社会学入門
	福祉の諸問題	2	共生社会と福祉
	メディア論	2	メディア論
	現代社会と倫理	2	倫理学入門
	現代社会の諸問題	2	現代社会の諸問題
	現代社会の人間関係	2	現代社会の人間関係
	現代社会と人権 1	2	現代社会と人権 1
	現代社会と人権 2	2	現代社会と人権 2
	共生社会と人間	2	共生社会と福祉
	社会調査入門 1	2	社会調査入門
	社会調査入門 2	2	
	余暇とレクリエーション	2	余暇とレクリエーション
	ジェンダー論	2	ジェンダー論
	女性学	2	
	心の科学	2	心理学入門
	人間関係の心理学	2	人間関係と心理
	人間性の形成	2	人間性の形成
	現代の子どもと教育 1	2	現代の子どもと教育 1
	現代の子どもと教育 2	2	現代の子どもと教育 2
	キャリアデザイン論	2	キャリアデザイン論
	ファイナンス入門	2	ファイナンス入門
	オーストラリアと国際社会 1	2	オーストラリアと国際社会 1
	オーストラリアと国際社会 2	2	オーストラリアと国際社会 2
		2	国際関係入門
		2	日本経済入門

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
自然と数理	生物の科学	2	生物学 1	1 年次以上	
	生物の進化	2	生物学 2		
	生物の多様性	2	自然科学概論		
	入門物理学 1	2	入門物理学 1		
	入門物理学 2	2	入門物理学 2		
	入門化学 1	2	入門化学 1		
	入門化学 2	2	入門化学 2		

自然と数理	入門数学 1	2	入門数学 1	1 年次以上	
	入門数学 2	2	入門数学 2		
	入門統計学 1	2	入門統計学 1		
	入門統計学 2	2	入門統計学 2		
	入門コンピュータ 1	2	入門コンピュータ 1		
	入門コンピュータ 2	2	入門コンピュータ 2		
	組織と情報 1	2	現代企業入門		
	組織と情報 2	2			
	科学技術史 1	2	科学技術史 1		
	科学技術史 2	2	科学技術史 2		
		2	数的処理の基礎		
		2	宇宙と物理学		
		2	環境の科学		
		2	地学		
	2	自然地理学			
日本事情	日本事情 1	2	日本事情 1	1 年次以上	外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ
	日本事情 2	2	日本事情 2		
	日本事情 3	2	日本事情 3		
	日本事情 4	2	日本事情 4		

※グローバルキャリアコース専用科目はグローバルキャリアコース生で 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から履修できる。

（略）

（２）外国語科目の変更（網掛け部分）

▶ 外国語科目

（略）

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
ドイツ語	ドイツ語読解入門	1	ドイツ語読解入門	1 年次以上	
	ドイツ語読解初級	1	ドイツ語読解初級		
	ドイツ語表現入門	1	ドイツ語表現入門		
	ドイツ語表現初級	1	ドイツ語表現初級		
	ドイツ語読解中級 1	1	ドイツ語読解中級 1	2 年次以上	
	ドイツ語読解中級 2	1	ドイツ語読解中級 2		
	ドイツ語表現中級 1	1	ドイツ語表現中級 1		
	ドイツ語表現中級 2	1	ドイツ語表現中級 2		

ドイツ語	ドイツ語読解上級 1	1	検定ドイツ語 1	2 年次以上	
	ドイツ語表現上級 1	1			
	ドイツ語読解上級 2	1	検定ドイツ語 2		
	ドイツ語表現上級 2	1			
	ドイツ語読解演習 1	1	検定ドイツ語 3		
	ドイツ語表現演習 1	1			
	ドイツ語読解演習 2	1	検定ドイツ語 4		
	ドイツ語表現演習 2	1			
フランス語	フランス語読解入門	1	フランス語読解入門	1 年次以上	
	フランス語読解初級	1	フランス語読解初級		
	フランス語表現入門	1	フランス語表現入門		
	フランス語表現初級	1	フランス語表現初級		
	フランス語読解中級 1	1	フランス語読解中級 1	2 年次以上	
	フランス語読解中級 2	1	フランス語読解中級 2		
	フランス語表現中級 1	1	フランス語表現中級 1		
	フランス語表現中級 2	1	フランス語表現中級 2		
	フランス語読解上級 1	1	実用フランス語 1		
	フランス語表現上級 1	1			
	フランス語読解上級 2	1	実用フランス語 2		
	フランス語表現上級 2	1			
	フランス語読解演習 1	1	実用フランス語 3		
	フランス語表現演習 1	1			
	フランス語読解演習 2	1	実用フランス語 4		
	フランス語表現演習 2	1			

(略)

(3) 総合科目の追加 (網掛け部分)

▶ 総合科目

(略)

① 追大U I 科目の追加 (網掛け部分)

追大U I 科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大UI科目	学び論		2	○	○	○	○	
		追手門UI論		2	○	○	○	○	
		北摂を学ぶ		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ1		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ2		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ3		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ4		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ5		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ6		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ7		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ8		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ9		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ10		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ11		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ12		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ13		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ14		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ15		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ16		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ17		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ18		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ19		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ20		2	○	○	○	○	
		地域文化創造研究		2	○	○	○	○	
		地域文化創造演習		2	○	○	○	○	
		地域学入門1		2	○	○	○	○	
		地域学入門2		2	○	○	○	○	
		Japan Today		2	○	○	○	○	
		Cultures and Societies in Japan		2		○	○	○	グローバルキャリアコース専用科目
		留学事後演習		2			○		

* グローバルキャリアコース専用科目（GCC 生専用科目）はグローバルキャリアコース生で2013年度入学生（学籍番号13番台）から履修できる。

*「学び論」を修得した者は、追手門UI論を履修することはできない。

②追大プロジェクト科目の追加（網掛け部分）

追大プロジェクト科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大プロジェクト科目	インターンシップ基礎		2		○	○		最大4単位まで卒業に必要な単位として認める
		インターンシップ実習		2		○	○		
		インターンシップ実習1		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習2		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習3		1	○	○	○	○	
		インターンシップ実習4		1	○	○	○	○	
		インターンシップ1		2			○	○	
		インターンシップ2		2			○	○	
		経営力インターンシップ1		2	○	○	○	○	
		経営力インターンシップ2		2	○	○	○	○	
		キャリア形成論1		2		○			
		キャリア形成論2		2		○			
		キャリア形成論3		2			○		
		社会人の基礎		2				○	
		プロジェクト1		2	○	○	○	○	
		プロジェクト2		2	○	○	○	○	
		プロジェクト3		2	○	○	○	○	
		プロジェクト4		2	○	○	○	○	
		プロジェクト5		2	○	○	○	○	
		プロジェクト6		2	○	○	○	○	
		プロジェクト7		2	○	○	○	○	
		プロジェクト8		2	○	○	○	○	
		ボランティア論		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（演劇ワークショップ1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（演劇ワークショップ2）		2	○	○	○	○	

総合科目	追大プロジェクト科目	表現コミュニケーション（ファシリテーション 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ファシリテーション 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（リーダーシップ 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（リーダーシップ 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（交渉学入門 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（交渉学入門 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ロジカルシンキング 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ロジカルシンキング 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（プレゼンテーション 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（プレゼンテーション 2）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ 1）		2	○	○	○	○	
		表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ 2）		2	○	○	○	○	
		オーストラリアを学ぶ 1		2	○	○	○	○	
		オーストラリアを学ぶ 2		2	○	○	○	○	
		グローバルキャリア論		2			○	○	

総合科目	追大プロジェクト科目	教員への道Ⅰ		2	○	○	○	○	
		教員への道Ⅱ		2	○	○	○	○	
		教師力養成演習Ⅰ		2		○	○	○	
		教師力養成演習Ⅱ		2		○	○	○	
		全学教職ゼミⅠ		2			○	○	
		全学教職ゼミⅡ		2			○	○	
		追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナール		2	○	○	○	○	リーダー養成コース専用科目
		リーダーズプログラムⅠ		2	○	○	○	○	リーダー養成コース専用科目 最大2単位まで卒業に必要な単位として認める
		リーダーズプログラムⅡ		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラムⅢ		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラムⅣ		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラムⅤ		2	○	○	○	○	
		リーダーズプログラムⅥ		2		○	○	○	リーダー養成コース専用科目 最大2単位まで卒業に必要な単位として認める
		リーダーズプログラムⅦ		2		○	○	○	
		リーダーズプログラムⅧ		2		○	○	○	
		リーダーズプログラムⅨ		2		○	○	○	
		リーダーズプログラムⅩ		2		○	○	○	
		リーダーズプログラムⅪ		2		○	○	○	リーダー養成コース専用科目

*インターンシップⅠを修得した場合はインターンシップ基礎、またインターンシップⅡを修得した場合はインターンシップ実習を履修することはできない。

③スポーツキャリアコース科目の追加（網掛け部分）

スポーツキャリアコース科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	スポーツキャリア科目	スポーツ特殊講義Ⅰ		2	○				スポーツキャリアコース専用科目
		スポーツ特殊講義Ⅱ		2				○	
		スポーツマッサージ実習Ⅰ		1		○			
		スポーツマッサージ実習Ⅱ		1		○			
		スポーツマネジメント論		2			○		
		スポーツビジネス論		2			○		
		トレーニング論		2	○	○	○	○	

総合科目	スポーツキャリア科目	スポーツ心理学		2		○	○	○	
		コーチング論		2		○	○	○	
		スポーツ栄養学		2		○	○	○	
		スポーツ生理学		2		○	○	○	
		障害者スポーツ論		2			○	○	
		高齢者スポーツ論		2			○	○	
		発育発達論		2			○	○	
		スポーツ政策論		2			○	○	
		コミュニティスポーツ論		2				○	
		スポーツフィールド実習Ⅰ		2		○			スポーツキャリア アコース専用科目
		スポーツフィールド実習Ⅱ		4				○	

スポーツフィールド実習Ⅰは国内研修、Ⅱは海外研修に参加し、指定されたレポートを提出することで、スポーツキャリア科目として単位認定される。

③国際交流科目の追加（網掛け部分）

国際交流科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	国際交流科目	交換留学インド		4	○	○	○	○	
		交換留学オーストラリア		4	○	○	○	○	
		交換留学アメリカ		4	○	○	○	○	
		交換留学中国		4	○	○	○	○	
		交換留学タイ		4	○	○	○	○	
		交換留学イギリス		4	○	○	○	○	
		交換留学韓国		4	○	○	○	○	
		交換留学オランダ		4	○	○	○	○	
		交換留学ドイツ		4	○	○	○	○	
		交換留学台湾		4	○	○	○	○	
		交換留学スペイン		4	○	○	○	○	
		海外セミナー		4	○	○	○	○	
		短期海外セミナー		2	○	○	○	○	
		国際現地研修		4		○	○	○	
		海外インターンシップ		4		○	○	○	

総合科目	国際交流科目	Introduction to Japanese Literature 1		2	○	○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
		Introduction to Japanese Literature 2		2	○	○	○	○	
		Contemporary Japanese Society 1		2	○	○	○	○	
		Contemporary Japanese Society 2		2	○	○	○	○	
		Japanese Culture 1		2	○	○	○	○	
		Japanese Culture 2		2	○	○	○	○	
		Contemporary Japanese Philosophy 1		2	○	○	○	○	
		Contemporary Japanese Philosophy 2		2	○	○	○	○	

授業 「学科科目」

2017年度より変更があった部分

経営学部

2017（平成 29）年度 単位読替表（経営学部 2014 年度以前入学生）

・旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

旧科目（2016 年度まで）	単位数	新科目（2017 年度から）	配当 年次	備考
リスク・マネジメント 1	2	リスク・マネジメント論 1	3	
リスク・マネジメント 2	2	リスク・マネジメント論 2	3	
NPOマネジメント	2	CSR経営論	3	
国際経営論 1	2	国際経営論	2	
国際経営論 2	2			
経営特殊講義 1	2	経営学特殊講義	3	
経営特殊講義 2	2			
経営特殊講義 3	2			
経営特殊講義 4	2			
経営分析論 1	2	経営分析論	3	
経営分析論 2	2	企業価値評価論	3	
国際会計学 1	2	国際会計論	3	
国際会計学 2	2			
会計学特殊講義 1	2	会計学特殊講義	3	
会計学特殊講義 2	2			
会計学特殊講義 3	2			
会計学特殊講義 4	2			
BRICs 経営論 1	2	BRICs 企業論 1	3	
BRICs 経営論 2	2	BRICs 企業論 2	3	
医療・福祉ビジネス論 1	2	サービスマーケティング論	3	
医療・福祉ビジネス論 2	2	医療マーケティング論	3	
意思決定論 1	2	意思決定論	3	
意思決定論 2	2			
リスクコミュニケーション論 1	2	リスクコミュニケーション論	3	
リスクコミュニケーション論 2	2	コミュニティ心理学	3	
ビジネス心理研究法演習 1	2	ビジネス心理実習 1	3	
ビジネス心理研究法演習 2	2			
消費行動研究論 1	2	ビジネス心理実習 2	3	
消費行動研究論 2	2			

2016年度より変更があった部分

経営学部

2016（平成 28）年度 単位読替表（経営学部 2014 年度以前入学生）

・旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

旧科目（2015 年度まで）	単位数	新科目（2016 年度から）	配当 年次	備考
経営組織	2	経営組織論	2	
企業論 1	2	現代企業論 1	2	
企業論 2	2	現代企業論 2	2	
行政法 1	2	行政法	2	
行政法 2	2			
労働法 1	2	労働法	2	
労働法 2	2			
経営実務英語 1	2	ビジネスコミュニケーション 1	2	
経営実務英語 2	2	ビジネスコミュニケーション 2	2	
ベンチャービジネス論 1	2	ベンチャー経営論	2	
ベンチャービジネス論 2	2			
産業心理学概論 1	2	ビジネス心理基礎 1	2	
産業心理学概論 2	2	ビジネス心理基礎 2	2	
心理解析法 1	2	ビジネス心理統計解析 1	2	
心理解析法 2	2	ビジネス心理統計解析 2	2	
産業組織心理学 1	2	ブランディングの心理学	2	
産業組織心理学 2	2	コミュニケーションの科学	2	
消費者心理学 1	2	経営における心理学 1	2	
消費者心理学 2	2	経営における心理学 2	2	

副專攻

2015年度より変更があった部分

<経済学副専攻> 受講可能学部・・・経営学部、国際教養学部

区分	授業科目	単位	配当年次				備考
			1	2	3	4	
学科科目	ヒューマンエコノミー概論 1	2	○	○	○	○	
	ヒューマンエコノミー概論 2	2	○	○	○	○	
	マクロ経済学 1	2			○	○	
	マクロ経済学 2	2			○	○	
	経済政策	4		○	○	○	
	日本経済論 1	2		○	○	○	
	日本経済論 2	2		○	○	○	
	アジア経済論 1	2		○	○	○	
	アジア経済論 2	2		○	○	○	
	アメリカ経済論 1	2		○	○	○	
	アメリカ経済論 2	2		○	○	○	
	ヨーロッパ経済論 1	2		○	○	○	
	ヨーロッパ経済論 2	2		○	○	○	
	オーストラリア経済論	4		○	○	○	
	経済学史 1	2		○	○	○	
	経済学史 2	2		○	○	○	
	外国経済史 1	2		○	○	○	※1
	外国経済史 2	2		○	○	○	※1
	食料経済論 1	2		○	○	○	
	食料経済論 2	2		○	○	○	
	社会保障	4			○	○	
	国際労働経済論 1	2			○	○	※2
	国際労働経済論 2	2			○	○	※3
	グローバル人材の経済学 1	2			○	○	旧科目名：国際労働経済論 1 ※2
	グローバル人材の経済学 2	2			○	○	旧科目名：国際労働経済論 2 ※3
	ファイナンス論 1	2			○	○	
	ファイナンス論 2	2			○	○	
	経済統計学 1	2		○	○	○	
	経済統計学 2	2		○	○	○	
	地域開発論 1	2		○	○	○	
	地域開発論 2	2		○	○	○	
	開発経済学 1	2		○	○	○	
	開発経済学 2	2		○	○	○	

※1：「外国経済史 1・2」のアジア学科の配当年次は3年次です。

※2、3：旧科目名で履修済みの者は、その科目に対する新科目を履修することができない。

<経営学副専攻> 受講可能学部・・・経済学部、国際教養学部

区分	授業科目	単位	配当年次				備考
			1	2	3	4	
学科科目	経営学概論 1	2	○	○	○	○	※1
	経営学概論 2	2	○	○	○	○	※1
	入門簿記	2	○	○	○	○	
	初級簿記	2	○	○	○	○	
	経営管理論 1	2		○	○	○	
	経営管理論 2	2		○	○	○	
	企業論 1	2		○	○	○	
	企業論 2	2		○	○	○	
	ベンチャービジネス論 1	2		○	○	○	
	ベンチャービジネス論 2	2		○	○	○	
	マーケティング論 1	2		○	○	○	
	マーケティング論 2	2		○	○	○	
	生産管理論 1	2			○	○	
	生産管理論 2	2			○	○	
	人的資源管理論 1	2			○	○	
	人的資源管理論 2	2			○	○	
	財務管理論 1	2			○	○	
	財務管理論 2	2			○	○	

※1：「経営学概論 1・2」の経済学部の配当年次は 2 年次です。

＜キャリアデザイン副専攻＞ 受講可能学部・・・経済学部、経営学部、国際教養学部

区分	授業科目	単位	配当				備考
			1	2	3	4	
総合科目	キャリアデザイン論	2	○	○	○	○	
	ボランティア論	2	○	○	○	○	
	キャリア形成論 1	2		○			
	キャリア形成論 2	2		○			
	キャリア形成論 3	2			○		
	プロジェクト入門	2	○				
	社会人の基礎	2				○	
	インターンシップ基礎	2		○	○		
	インターンシップ実習	2		○	○		
	インターンシップ実習 1	1	○	○	○	○	※1
	インターンシップ実習 2	1	○	○	○	○	※1
	インターンシップ実習 3	1	○	○	○	○	※1
	インターンシップ実習 4	1	○	○	○	○	※1
	インターンシップ 1	2			○	○	
	インターンシップ 2	2			○	○	
学科科目	カウンセリング心理学	2		○	○	○	
	キャリアガイダンス	2			○	○	
	労働経済学 1	2			○	○	
	労働経済学 2	2			○	○	
	人的資源管理論 1	2			○	○	
	人的資源管理論 2	2			○	○	

※1：2015 年度より副専攻に追加になった科目です。

<英語副専攻> 受講可能学部・・・経済学部、経営学部

区分	授業科目	単位	配当				備考
			1	2	3	4	
学科科目	イギリス文化講義	2		○	○	○	
	アメリカ文化講義	2		○	○	○	
	イギリス史	2		○	○	○	
	アメリカ史	2		○	○	○	
	英文学概論 1	2		○	○	○	
	英文学概論 2	2		○	○	○	
	米文学概論 1	2		○	○	○	
	米文学概論 2	2		○	○	○	
	英語学概論 1	2		○	○	○	
	英語学概論 2	2		○	○	○	
	英語学講義 1	2		○	○	○	
	英語学講義 2	2		○	○	○	
	英語音声学 1	2		○	○	○	
	英語音声学 2	2		○	○	○	
	英語コミュニケーション 論 1	2		○	○	○	
	英語コミュニケーション 論 2	2		○	○	○	
	情報科学各論 1	2		○	○	○	
	情報科学各論 2	2		○	○	○	
	言語情報処理概論 1	2		○	○	○	
	言語情報処理概論 2	2		○	○	○	
	コンピュータと英語教育	2		○	○	○	
	コンピュータと英語研究	2		○	○	○	
	異文化間コミュニケーション論 1	2		○	○	○	
	異文化間コミュニケーション論 2	2		○	○	○	
	日欧比較論 1	2		○	○	○	
	日欧比較論 2	2		○	○	○	

<ヨーロッパ副専攻> 受講可能学部・・・経済学部、経営学部

区分	授業科目	単位	配当				備考
			1	2	3	4	
基本科目	ことばと文化（ドイツ語）	2	○	○	○	○	※1
	ことばと文化（フランス語）	2	○	○	○	○	※2
	比較思想概論 1	2	○	○	○	○	※3
	比較思想概論 2	2	○	○	○	○	※3
	比較文化概論 1	2	○	○	○	○	旧科目名：ことばと文化（ドイツ語）※1
	比較文化概論 2	2	○	○	○	○	旧科目名：ことばと文化（フランス語）※2
	ヨーロッパの思想 1	2	○	○	○	○	※3
	ヨーロッパの思想 2	2	○	○	○	○	※3
	哲学入門	2	○	○	○	○	旧科目名：比較思想概論 1、比較思想概論 2、ヨーロッパの思想 1、ヨーロッパの思想 2 ※3
	ヨーロッパの文学 1	2	○	○	○	○	※4
	ヨーロッパの文学 2	2	○	○	○	○	※4
	欧米の文学	2	○	○	○	○	旧科目名：ヨーロッパの文学 1、ヨーロッパの文学 2 ※4
総合科目	海外セミナー（イギリス）	4	○	○	○	○	
外国語科目	ドイツ語読解中級 1	1		○	○	○	
	ドイツ語読解中級 2	1		○	○	○	
	ドイツ語表現中級 1	1		○	○	○	
	ドイツ語表現中級 2	1		○	○	○	
	フランス語読解中級 1	1		○	○	○	
	フランス語読解中級 2	1		○	○	○	
	フランス語表現中級 1	1		○	○	○	
	フランス語表現中級 2	1		○	○	○	
	日欧比較論 1	2		○	○	○	
	日欧比較論 2	2		○	○	○	
	西洋史概説 1	2		○	○	○	
	西洋史概説 2	2		○	○	○	
	ヨーロッパ経済論 1	2		○	○	○	
	ヨーロッパ経済論 2	2		○	○	○	

外国語科目	ドイツ語読解上級 1	1			○	○	※5
	ドイツ語読解上級 2	1			○	○	※6
	ドイツ語表現上級 1	1			○	○	※5
	ドイツ語表現上級 2	1			○	○	※6
	ドイツ語読解演習 1	1			○	○	※7
	ドイツ語読解演習 2	1			○	○	※8
	ドイツ語表現演習 1	1			○	○	※7
	ドイツ語表現演習 2	1			○	○	※8
	検定ドイツ語 1	1		○	○	○	旧科目名：ドイツ語読解上級 1、 ドイツ語表現上級 1 ※5
	検定ドイツ語 2	1		○	○	○	旧科目名：ドイツ語読解上級 2、 ドイツ語表現上級 2 ※6
	検定ドイツ語 3	1		○	○	○	旧科目名：ドイツ語読解演習 1、 ドイツ語表現演習 1 ※7
	検定ドイツ語 4	1		○	○	○	旧科目名：ドイツ語読解演習 2、 ドイツ語表現演習 2 ※8
	フランス語読解上級 1	1			○	○	※9
	フランス語読解上級 2	1			○	○	※10
	フランス語表現上級 1	1			○	○	※9
	フランス語表現上級 2	1			○	○	※10
	フランス語読解演習 1	1			○	○	※11
	フランス語読解演習 2	1			○	○	※12
	フランス語表現演習 1	1			○	○	※11
	フランス語表現演習 2	1			○	○	※12
	実用フランス語 1	1		○	○	○	旧科目名：フランス語読解上級 1、 フランス語表現上級 1 ※9
	実用フランス語 2	1		○	○	○	旧科目名：フランス語読解上級 2、フランス語表現上級 2 ※10
	実用フランス語 3	1		○	○	○	旧科目名：フランス語読解演習 1、フランス語表現演習 1 ※11
	実用フランス語 4	1		○	○	○	旧科目名：フランス語読解演習 2、フランス語表現演習 2 ※12

※1～12：旧科目で単位修得済みの者は、その科目に対応する新科目を履修することができない。

2014年度より変更があった部分

共通科目

(略)

(1) 基本科目の追加 (網掛け部分)

▶ 基本科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
基本科目	言語と文化	日本語の諸相 1		2	○	○	○	○	
		日本語の諸相 2		2	○	○	○	○	
		日本語表現		2	○	○	○	○	
		アジアの諸文化 1		2	○	○	○	○	
		アジアの諸文化 2		2	○	○	○	○	
		アジアの社会 1		2	○	○	○	○	
		アジアの社会 2		2	○	○	○	○	
		アジアと国際社会 1		2	○	○	○	○	
		アジアと国際社会 2		2	○	○	○	○	
		英米の文化・文学 1		2	○	○	○	○	
		英米の文化・文学 2		2	○	○	○	○	
		比較文化概論 1		2	○	○	○	○	
		比較文化概論 2		2	○	○	○	○	
		言語の科学 1		2	○	○	○	○	
		言語の科学 2		2	○	○	○	○	
		比較思想概論 1		2	○	○	○	○	
		比較思想概論 2		2	○	○	○	○	
		異文化交流の歴史		2	○	○	○	○	
		異文化交流とコミュニケーション		2	○	○	○	○	
		ヨーロッパの文学 1		2	○	○	○	○	
		ヨーロッパの文学 2		2	○	○	○	○	
		ヨーロッパの思想 1		2	○	○	○	○	
		ヨーロッパの思想 2		2	○	○	○	○	
		ことばと文化 (ドイツ語)		2	○	○	○	○	
		ことばと文化 (フランス語)		2	○	○	○	○	

		ことばと文化（韓国語・朝鮮語） 1		2	○	○	○	○	
		ことばと文化（韓国語・朝鮮語） 2		2	○	○	○	○	
		くらしと文化		2	○	○	○	○	
		Global Awareness/Global Concepts		2		○	○	○	GCC 生 専用科目
		Intercultural Communication		2		○	○	○	
		日本文化論 1		2	○	○	○	○	
		日本文化論 2		2	○	○	○	○	
		国際異文化理解 1		10		○	○	○	大学が認めた 留学生専用科目
		国際異文化理解 2		10		○	○	○	

(略)

*グローバルキャリアコース専用科目（GCC 生専用科目）はグローバルキャリアコース生で 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から履修できる。

(2) 外国語科目の追加（網掛け部分）

▶ 外国語

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
外国語科目	英語	英語講読 1		1	○	○	○	○	
		英語講読 2		1	○	○	○	○	
		英語 L. L. 1		1	○	○	○	○	
		英語 L. L. 2		1	○	○	○	○	
		英会話 1		1	○	○	○	○	
		英会話 2		1	○	○	○	○	
		英語講読 3		1		○	○	○	
		英語講読 4		1		○	○	○	
		英語 L. L. 3		1		○	○	○	
		英語 L. L. 4		1		○	○	○	
		英会話 3		1		○	○	○	
		英会話 4		1		○	○	○	
		英会話 5		1			○	○	
		英会話 6		1			○	○	

		検定英語 1		1	○	○	○	○	
		検定英語 2		1	○	○	○	○	
		検定英語 3		1	○	○	○	○	
		検定英語 4		1	○	○	○	○	
		Integrated English : Reading		1	○	○	○	○	GCC 生 専用科目
		Integrated English : Writing and Speaking		1	○	○	○	○	
		Integrated English : Listening		1	○	○	○	○	
		Academic English : Reading		1		○	○	○	
		Academic English : Presentation		1		○	○	○	
		Campus English		1		○	○	○	

(略)

* グローバルキャリアコース専用英語 (GCC 生専用科目) は 2013 年度入学生 (学籍番号 13 番台) から適用。

(3) 総合科目の追加 (網掛け部分)

▶ 総合科目

(略)

① 追大 U I 科目の追加 (網掛け部分)

追大 U I 科目

(略)

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大 U I 科目	学び論		2	○	○	○	○	
		北摂を学ぶ		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 1		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 2		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 3		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 4		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 5		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 6		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 7		2	○	○	○	○	

		教養ゼミ 8		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 9		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 10		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 11		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 12		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 13		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 14		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 15		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 16		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 17		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 18		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 19		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ 20		2	○	○	○	○	
		地域文化創造研究		2	○	○	○	○	
		地域文化創造演習		2	○	○	○	○	
		地域学入門 1		2	○	○	○	○	
		地域学入門 2		2	○	○	○	○	
		Japan Today		2	○	○	○	○	GCC 生 専用科目
		Cultures and Societies in Japan		2		○	○	○	

＊グローバルキャリアコース専用科目（GCC 生専用科目）はグローバルキャリアコース生で 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から履修できる。

②追大プロジェクト科目の追加（網掛け部分）

追大プロジェクト科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大プロジェクト科目	インターンシップ基礎		2		○	○		
		インターンシップ実習		2		○	○		
		インターンシップ 1		2			○	○	
		インターンシップ 2		2			○	○	
		経営力インターンシップ 1		2			○	○	
		経営力インターンシップ 2		2			○	○	
		キャリア形成論 1		2		○	○	○	

	キャリア形成論 2		2		○	○	○
	キャリア形成論 3		2			○	
	社会人の基礎		2			○	○
	プロジェクト 1		2	○	○	○	○
	プロジェクト 2		2	○	○	○	○
	プロジェクト 3		2	○	○	○	○
	プロジェクト 4		2	○	○	○	○
	プロジェクト 5		2	○	○	○	○
	プロジェクト 6		2	○	○	○	○
	プロジェクト 7		2	○	○	○	○
	プロジェクト 8		2	○	○	○	○
	ボランティア論		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 1）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 2）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（ファシリテーション 1）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（ファシリテーション 2）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（リーダーシップ 1）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（リーダーシップ 2）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（交渉学入門 1）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（交渉学入門 2）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 1）		2	○	○	○	○
	表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 2）		2	○	○	○	○
	オーストラリアを学ぶ 1		2	○	○	○	○
	オーストラリアを学ぶ 2		2	○	○	○	○
	グローバルキャリア論		2			○	○
	教員への道 I		2	○	○	○	○
	教員への道 II		2	○	○	○	○

*インターンシップ1を修得した場合はインターンシップ基礎、またインターンシップ2を修得した場合はインターンシップ実習を履修することはできない。

③国際交流科目の追加（網掛け部分）

国際交流科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	国際交流科目	交換留学インド		4	○	○	○	○	
		交換留学オーストラリア		4	○	○	○	○	
		交換留学アメリカ		4	○	○	○	○	
		交換留学中国		4	○	○	○	○	
		交換留学タイ		4	○	○	○	○	
		交換留学イギリス		4	○	○	○	○	
		交換留学韓国		4	○	○	○	○	
		交換留学オランダ		4	○	○	○	○	
		交換留学ドイツ		4	○	○	○	○	
		交換留学台湾		4	○	○	○	○	
		交換留学スペイン		4	○	○	○	○	
		海外セミナー		4	○	○	○	○	
		短期海外セミナー		2	○	○	○	○	
		国際現地研修		4		○	○	○	
		海外インターンシップ		4		○	○	○	

（略）

2013年度より変更があった部分

①追大U I 科目の追加（網掛け部分）

4-4-0-0 共通科目

▶ 総合科目

（略）

追大UI科目

（略）

区分	分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
			必修	選択	1	2	3	4	
総合科目	追大U I 科目	学び論		2	○	○	○	○	
		北摂を学ぶ		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ1		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ2		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ3		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ4		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ5		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ6		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ7		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ8		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ9		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ10		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ11		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ12		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ13		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ14		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ15		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ16		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ17		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ18		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ19		2	○	○	○	○	
		教養ゼミ20		2	○	○	○	○	
		地域文化創造研究		2	○	○	○	○	
		地域文化創造演習		2	○	○	○	○	
		地域学入門1		2	○	○	○	○	
		地域学入門2		2	○	○	○	○	

大学院関係事項

2015年度より変更があった部分

経済学研究科

【大学院開講科目一覧表】

別表 経済学専攻(博士後期課程)2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
理論経済学特殊研究	4	博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
国際経済論特殊研究	4	博士(経済学) 教授 林原 正之	
日本経済史特殊研究	4	経済学博士 教授 畠山 秀樹	
経済政策特殊研究Ⅰ	4	経済学博士 教授 村上 亨	
経済政策特殊研究Ⅱ	4	教授 奥井 克美	
産業組織論特殊研究	4		本年度不開講
日本経済論特殊研究	4		本年度不開講
農業経済論特殊研究	4		本年度不開講
財政学特殊研究	4	経済学博士 教授 寺本 博美	
租税論特殊研究	4		本年度不開講
国際金融論特殊研究	4	博士(経済学) 教授 松本 直樹	
経済数学特殊研究	4		本年度不開講
社会保障特殊研究	4		本年度不開講
福祉社会論特殊研究	4	博士(経済学) 教授 李 義昭	
研究演習	12	経済学博士 教授 寺本 博美	
		博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
		経済学博士 教授 畠山 秀樹	
		博士(経済学) 教授 松本 直樹	
		経済学博士 教授 村上 亨	

文学研究科

【文学研究科開講科目表】 2012年度入学生に適用

別表II 中国文化専攻

	授 業 科 目	単位	担 当 者	備考
甲 類	中 国 哲 学 講 義	4	橋本 昭典 講師	
	中 国 史 学 講 義	4	承 志 准教授	
	中 国 文 学 講 義	4	松家 裕子 教授	
	中 国 哲 学 演 習	2	本年度不開講	
	中 国 文 化 演 習	2	浅野 純一 教授	
	中 国 史 学 演 習	2	承 志 准教授	
	中 国 文 学 演 習	2	李 慶国 教授	
	東 洋 文 化 演 習 1	2	正信 公章 教授	
	東 洋 文 化 演 習 2	2	筒井 由起乃 准教授	
	東 洋 文 化 演 習 3	2	永吉 雅夫 教授	
	東 洋 文 化 演 習 4	2	本年度不開講	
乙 類	中国文化特殊講義(1)	4	磯貝 健一 教授	
	中国文化特殊講義(2)	4	南出 眞助 教授	
	中国文化特殊講義(3)	4	山口 公一 准教授	
	中国文化特殊講義(4)	4	永吉 雅夫 教授	
	中国文化特殊講義(5)	4	本年度不開講	

別表III 英文学専攻

	授 業 科 目	単位	担 当 者	備考
甲 類	英 米 文 学 演 習	2	新谷 好 教授	
	英 語 教 育 演 習	2	本年度不開講	
	英 語 学 演 習	2	佐藤 恭子 教授	
	英 米 文 学 特 論	4	新谷 好 教授	
	英 語 教 育 特 論	4	佐藤 恭子 教授	
	英 語 学 特 論	4	本年度不開講	
乙 類	英 米 文 学 研 究	4	J. Herrick 教授	
	英 語 表 現 法 研 究	4	J. Herrick 教授	
	英 語 史 研 究	4	本年度不開講	
	英語コーパス研究	4	本年度不開講	
	英語語法文法研究	4	本年度不開講	
	言 語 理 論 研 究	4	平尾日出夫 教授	
	自然言語処理研究	4	福島 孝博 准教授	

2014年度より変更があった部分

経営学研究科

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単位	担 当 教 員	備 考
経営学原理特論	4		本年度不開講
経営学特論	4	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
経営学特論演習Ⅰ	4		
経営学特論演習Ⅱ	4		
経営史特論	4		本年度不開講
経営史特論演習Ⅰ	4		
経営史特論演習Ⅱ	4		
企業論特論	4	博士(農学) 教授 八木 俊輔	
企業論特論演習Ⅰ	4		
企業論特論演習Ⅱ	4		
経営管理論特論	4	博士(商学) 准教授 村上 喜郁	
経営管理論特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
経営管理論特論演習Ⅱ	4		本年度不開講
人的資源管理論特論	4	博士(経営学) 准教授 枋尾 安伸	
人的資源管理論特論演習Ⅰ	4		
人的資源管理論特論演習Ⅱ	4		
経営組織論特論	4	博士(経営学) 准教授 神吉 直人	
経営組織論特論演習Ⅰ	4		
経営組織論特論演習Ⅱ	4		
中堅・中小企業経営特論	2	教授 植藤 正志 教授 田淵 正信 教授 八木 俊輔 准教授 山下 克之	
マーケティング論特論	4	教授 池田 信寛	
マーケティング論特論演習Ⅰ	4		
マーケティング論特論演習Ⅱ	4		
マーケティング情報システム論特論	4	博士(経営学) 准教授 朴 修賢	
マーケティング情報システム論特論演習Ⅰ	4		
マーケティング情報システム論特論演習Ⅱ	4		
財務管理論特論	4	准教授 岡崎 利美	
環境経営論特論	4		本年度不開講
環境経営論特論演習Ⅰ	4		
環境経営論特論演習Ⅱ	4		
国際経営論特論	4		
国際経営論特論演習Ⅰ	4	経営学博士 教授 L.S.de Silva	
国際経営論特論演習Ⅱ	4		
国際関係論特論	4		
国際関係論特論特論演習Ⅰ	4	博士(創造都市) 教授 中村 都	
国際関係論特論特論演習Ⅱ	4		
異文化間コミュニケーション特論	4		
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅰ	4	教授 L.J.Viswat	
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅱ	4		
経営統計学特論	4	博士(経済学) 教授 坂上 佳隆	
経営統計学特論演習Ⅰ	4		
経営統計学特論演習Ⅱ	4		
オペレーションズ・リサーチ特論	4		本年度不開講
情報科学特論	4	博士(工学) 准教授 中野 統英	
情報科学特論演習Ⅰ	4		
情報科学特論演習Ⅱ	4		
システム科学特論	4	工学博士 教授 福田 得夫	
システム科学特論演習Ⅰ	4		
システム科学特論演習Ⅱ	4		
社会情報システム特論	4	博士(情報学) 准教授 井出 明	
社会情報システム特論演習Ⅰ	4		
社会情報システム特論演習Ⅱ	4		

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営情報論特論	4		本年度不開講
経営情報論特論演習Ⅰ	4		
経営情報論特論演習Ⅱ	4		
ERPビジネスプロセス特論	4	客員教授 酒井 哲夫	
社会情報学特論	4	博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
社会情報学特論演習Ⅰ	4		
社会情報学特論演習Ⅱ	4		
グローバルIT経営特論	2	教授 篠原 健 客員教授 酒井 哲夫	
会計学原理特論	4	博士(経済学) 准教授 山下 克之	
会計学原理特論演習Ⅰ	4		
会計学原理特論演習Ⅱ	4		
会計学特論	4	Ph.D 博士(経営学) 教授 梶原 晃	
会計学特論演習Ⅰ	4		
会計学特論演習Ⅱ	4		
財務諸表論特論	4	教授 田淵 正信	
管理会計論特論	4	博士(経営学) 教授 李 建	
管理会計論特論演習Ⅰ	4		
管理会計論特論演習Ⅱ	4		
情報会計論特論	4		本年度不開講
情報会計論特論演習Ⅰ	4		
情報会計論特論演習Ⅱ	4		
税務会計論特論	4	博士(経営学) 教授 川端 保至	
税務会計論特論演習Ⅰ	4		
税務会計論特論演習Ⅱ	4		
財務会計論特論	4	博士(経済学) 准教授 宮宇地 俊岳	
監査論特論	4	博士(経営学) 准教授 藤原 英賢	
民法特論	4		本年度不開講
民法特論演習Ⅰ	4		
民法特論演習Ⅱ	4		
商法特論	4	博士(法学) 教授 徐 治文	
商法特論演習Ⅰ	4		
商法特論演習Ⅱ	4		
経済法特論	4		本年度不開講
税法学特論	4		本年度不開講
国際法務特論	4		本年度不開講
企業法務特論	4	准教授 水野 浩児	
産業社会心理学特論	4	博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
産業社会心理学特論演習Ⅰ	4		
産業社会心理学特論演習Ⅱ	4		
産業組織心理学特論	4	教授 藤田 正	
産業組織心理学特論演習Ⅰ	4		
産業組織心理学特論演習Ⅱ	4		
産業心理解析特論	4	教授 原田 章	
産業心理解析特論演習Ⅰ	4		
産業心理解析特論演習Ⅱ	4		
広告心理学特論	4	博士(人間科学) 准教授 長岡 千賀	
コミュニティ心理学特論	4	博士(人間科学) 准教授 石盛 真徳	
コミュニティ心理学特論演習Ⅰ	4		
コミュニティ心理学特論演習Ⅱ	4		

【経営学研究科経営学専攻博士後期課程科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営学特殊研究	4	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
経営史特殊研究	4		本年度不開講
企業論特殊研究	4	博士(農学) 教授 八木 俊輔	
国際比較経営論特殊研究	4		本年度不開講
国際経営論特殊研究	4	経営学博士 教授 L.S.de Silva	
経営管理論特殊研究	4		本年度不開講
マーケティング論特殊研究	4	教授 池田 信寛	
環境経営論特殊研究	4		本年度不開講
オペレーションズ・リサーチ特殊研究	4		本年度不開講
情報科学特殊研究	4	博士(工学) 准教授 中野 統英	
システム科学特殊研究	4	工学博士 教授 福田 得夫	
社会情報学特殊研究	4	博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
社会情報システム特殊研究	4	博士(情報学) 准教授 井出 明	
経営情報論特殊研究	4		本年度不開講
会計学原理特殊研究	4	博士(経済学) 准教授 山下 克之	
会計学特殊研究	4	Ph.D 博士(経営学) 教授 梶原 晃	
税務会計論特殊研究	4	博士(経営学) 教授 川端 保至	
民法特殊研究	4		本年度不開講
商法特殊研究	4	博士(法学) 教授 徐 治文	
産業社会心理学特殊研究	4	博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
産業組織心理学特殊研究	4	教授 藤田 正	
産業心理解析特殊研究	4	教授 原田 章	
コミュニティ心理学特殊研究	4	博士(人間科学) 准教授 石盛 真徳	
研究演習	12	博士(情報学) 准教授 井出 明	
		博士(経営学) 教授 植藤 正志	
		Ph.D 博士(経営学) 教授 梶原 晃	
		博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
		博士(経営学) 教授 川端 保至	
		博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
		博士(法学) 教授 徐 治文	
		経営学博士 教授 L.S.de Silva	
		教授 原田 章	
		工学博士 教授 福田 得夫	
		教授 藤田 正	

心理学研究科

【心理学研究科心理学専攻開講科目表】2012年度入学生に適用

【臨床心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	臨床心理学特論1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理学特論2	2	中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論2	2	吉村 晋平 講師 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習1	2	辻 深 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理実習A B	2	中村 このゆ 教授 馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ
選択必修	A 臨床心理学研究法特論1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	1年次以上	前期	
		2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	同	後期	
		2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)
	B 人格心理学特論 認知心理学特論 教育心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	後期	(隔年開講)
		2	石王 敦子 教授	同	前期	
		2	三川 俊樹 教授	同	不開講	
	C 社会心理学特論 犯罪心理学特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
		2	荒井 崇史 講師	同	不開講	
	D 臨床心理関連行政論 精神医学特論 神経生理学特論 障害者(児)心理学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期	
		2	田中 秀明 准教授	同	後期	
		2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)
	E 投映法特論 臨床心理地域援助特論 心理療法特論1 心理療法特論2 学校臨床心理学特論	2	高瀬 由嗣 講師	同	後期	集中
		2	森田 喜治 講師	同	前期	
		2	米山 直樹 講師	同	前期	集中(隔年開講) 臨床心理学コースのみ
		2	川畑 直人 講師	同	後期	集中(隔年開講) 臨床心理学コースのみ
選択必修	臨床心理学研究法演習Ⅰ1 臨床心理学研究法演習Ⅰ2 臨床心理学研究法演習Ⅱ1 臨床心理学研究法演習Ⅱ2	1	中鹿 彰 教授 辻 深 准教授	1年次	前期	
		1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	同	後期	
		1	馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期	
		1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期	
	A B C D E F H 臨床心理学コース演習1	1	中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		1	中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		1	中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		1	中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		1	中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 深 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
	進路指導特論 言語発達支援論 学校カウンセリング特論 育児支援特論 保育支援特論 生涯教育心理学演習 生涯発達心理学演習 心理アセスメント演習1 心理アセスメント演習2 上級社会心理学演習 上級集団力学演習	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
		2	落合 正行 教授	同	不開講	(隔年開講)
		2	三川 俊樹 教授	同	前期	
		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
		2	石王 敦子 教授	同	後期	(隔年開講)
		2	河崎 美保 講師	同	不開講	
		2	落合 正行 教授	同	不開講	(隔年開講)
	心理アセスメント演習1 心理アセスメント演習2 上級社会心理学演習 上級集団力学演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	
		2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	
		2	東 正訓 教授	同	前期	
	上級社会心理学演習 上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期	

上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。

【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分		授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	必	A 生涯発達・生涯教育心理学コース演習1	1	駿地 眞由美 准教授 石王 敦子 教 授 三川 俊樹 教 授 田中 秀明 准教授	2年次	不開講 前期 不開講 前期	(修士論文指導)
		C					
		D					
		E					
	修	A 生涯発達・生涯教育心理学コース演習2	1	駿地 眞由美 准教授 石王 敦子 教 授 三川 俊樹 教 授 田中 秀明 准教授	同	不開講 後期 不開講 後期	(修士論文指導)
		C					
		D					
		E					
選択	記 憶 と 言 語	2	石王 敦子 教 授	1年次以上	不開講	(隔年開講)	
	認 知 心 理 学 特 論	2	石王 敦子 教 授	同	前期		
	臨 床 発 達 心 理 学 特 論	2	落合 正行 教 授	同	前期	(隔年開講)	
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	前期		
	神 経 生 理 学 特 論	2	田中 秀明 准教授	同	後期		
	人 格 心 理 学 特 論	2	駿地 眞由美 准教授	同	後期	(隔年開講)	
	言 語 発 達 特 論	2	落合 正行 教 授	同	前期	(隔年開講)	
	言 語 発 達 支 援 論	2	落合 正行 教 授	同	不開講	(隔年開講)	
	育 児 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	同	不開講	(隔年開講)	
	保 育 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	同	後期	(隔年開講)	
	教 育 心 理 学 特 論	2	三川 俊樹 教 授	同	不開講	(隔年開講)	
	進 路 指 導 特 論	2	三川 俊樹 教 授	同	後期	(隔年開講)	
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教 授	同	前期		
	生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 講師	同	不開講		
	生涯発達心理学演習	2	落合 正行 教 授	同	不開講		
	心理アセスメント演習1	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講		
	心理アセスメント演習2	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講		
必修	臨 床 発 達 心 理 実 習	2	駿地 眞由美 准教授 落合 正行 教 授 石王 敦子 教 授 三川 俊樹 教 授 田中 秀明 准教授	同	通年		
	以上の科目から、16単位以上を修得すること。						
選択	択	精 神 医 学 特 論	2	溝部 宏二 教 授	1年次以上	後期	
		障害者（児）心理学特論	2	中鹿 彰 教 授	同	前期	(隔年開講)
		社 会 心 理 学 特 論	2	東 正訓 教 授	同	不開講	(隔年開講)
		環 境 心 理 学 特 論	2		同		(隔年開講)
		犯 罪 心 理 学 特 論	2	荒井 崇史 講 師 東 正訓 教 授	同	不開講	(隔年開講)
		対 人 行 動 学 特 論	2	金政 祐司 准教授	同	不開講	(隔年開講)
		心 理 統 計 法 特 論	2	東 正訓 教 授	同	前期	(隔年開講)
		集 団 力 学 特 論	2	浦 光博 教 授	同	前期	(隔年開講)
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。							

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

【社会・環境・犯罪心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅰ	A	金政 祐司 准教授	1年次	通年		
		B	浦 光博 教授				
		C	東 正訓 教授				
		D	荒井 崇史 講師				
	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅱ	A	金政 祐司 准教授	2年次	通年	(修士論文指導)	
		B	浦 光博 教授		不開講		
		C	東 正訓 教授		通年		
		D	荒井 崇史 講師				
選択	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)	
	環境心理学特論	2		同		(隔年開講)	
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	不開講		
	対人行動学特論	2	金政 祐司 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)	
	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	前期	(隔年開講)	
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。						
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期		
	上級環境心理学演習	2		同			
	上級犯罪心理学演習	2	荒井 崇史 講師	同	前期		
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 准教授	同	前期		
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期		
	以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。						
	選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
		障害者（児）心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)
		記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
認知心理学特論		2	石王 敦子 教授	同	前期		
臨床発達心理学特論		2	落合 正行 教授	同	前期	(隔年開講)	
教育臨床心理学特論		2	永野 浩二 准教授	同	前期	(隔年開講)	
神経生理学特論		2	田中 秀明 准教授	同	後期		
人格心理学特論		2	駿地 眞由美 准教授	同	後期	(隔年開講)	
言語発達特論		2	落合 正行 教授	同	前期	(隔年開講)	
言語発達支援論		2	落合 正行 教授	同	不開講	(隔年開講)	
育児支援特論		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
保育支援特論		2	石王 敦子 教授	同	後期	(隔年開講)	
教育心理学特論		2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
進路指導特論		2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)	
学校カウンセリング特論		2	三川 俊樹 教授	同	前期	(隔年開講)	
選択		生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 講師	同	不開講	
	生涯発達心理学演習	2	落合 正行 教授	同	不開講		
	心理アセスメント演習1	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講		
	心理アセスメント演習2	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講		
	臨床発達心理実習	2	駿地 眞由美 准教授 落合 正行 教授 石王 敦子 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	同	通年		
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。							

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

臨床心理士受験資格に関する指定科目

区分	開講科目名	単位	担当者	備 考
必修	臨床心理学特論 1	2	中村 このゆ 教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理学特論 2	2	中鹿 彰 教授	後期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論 1	2	永野 浩二 准教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論 2	2	吉村 晋平 講師 中鹿 彰 教授	後期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習 1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	後期 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	2 時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理実習 A B	2	中村 このゆ 教授 馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2 時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ
選択必修	A	臨床心理学研究法特論 1	2 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	臨床心理学コース専攻生のみ 前期
	A	臨床心理学研究法特論 2	2 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	臨床心理学コース専攻生のみ 後期
	B	心理統計法特論	2 東 正訓 教授	前期(隔年開講)
		人格心理学特論	2 駿地 眞由美 准教授	後期(隔年開講)
		認知心理学特論	2 石王 敦子 教授	前期
		教育心理学特論	2 三川 俊樹 教授	不開講
	C	社会心理学特論	2 東 正訓 教授	不開講 (隔年開講)
		犯罪心理学特論	2 荒井 崇史 講師	不開講
	D	臨床心理関連行政論	2 東 正訓 教授	不開講
		精神医学特論	2 溝部 宏二 教授	後期
	E	神経生理学特論	2 田中 秀明 准教授	後期
		障害者(児)心理学特論	2 中鹿 彰 教授	前期(隔年開講)
		投映法特論	2 高瀬 由嗣 講師	集中
		臨床心理地域援助特論	2 森田 喜治 講師	前期
		心理療法特論 1	2 米山 直樹 講師	前期(隔年開講) 臨床心理学コースのみ
		心理療法特論 2	2 川畑 直人 講師	後期(隔年開講) 臨床心理学コースのみ
選択必修	臨床心理学研究法演習 I	1 A	中鹿 彰 教授	前期
		1 B	辻 潔 准教授	
		1 A	永野 浩二 准教授	
		1 B	吉村 晋平 講師	
		1 A	馬場 天信 准教授	
		1 B	溝部 宏二 教授	
	臨床心理学研究法演習 II	1 A	中村 このゆ 教授	後期
		1 B	溝部 宏二 教授	
		1 A	中村 このゆ 教授	
		1 B	中鹿 彰 教授	
		1 A	辻 潔 准教授	
		1 B	永野 浩二 准教授	
	臨床心理学コース演習 1	A	中村 このゆ 教授	前期(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		B	吉村 晋平 講師	
		C	中村 このゆ 教授	
		D	中鹿 彰 教授	
		E	辻 潔 准教授	
		F	永野 浩二 准教授	
	臨床心理学コース演習 2	A	馬場 天信 准教授	後期(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
		B	中村 このゆ 教授	
		C	吉村 晋平 講師	
		D	中村 このゆ 教授	
		E	中鹿 彰 教授	
		F	辻 潔 准教授	
	臨床心理学コース演習 2	G	永野 浩二 准教授	
		H	馬場 天信 准教授	

上記の A～E の科目群から、それぞれ 2 単位以上、計 10 単位以上を修得し、選択必修の区分から計 14 単位以上を修得すること。

区分	開講科目名	単位	担当者	備 考
選 択	進 路 指 導 特 論	2	三川 俊樹 教 授	後期（隔年開講）
	言 語 発 達 支 援 論	2	落合 正行 教 授	不開講（隔年開講）
	学 校 カ ウ ン セ リ ン グ 特 論	2	三川 俊樹 教 授	前期（隔年開講）
	育 児 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	不開講（隔年開講）
	保 育 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	後期（隔年開講）
	生 涯 教 育 心 理 学 演 習	2	河崎 美保 講 師	不開講
	生 涯 発 達 心 理 学 演 習	2	落合 正行 教 授	不開講
	心 理 ア セ ス メ ン ト 演 習 1	2	駿地 眞由美 准教授	不開講
	心 理 ア セ ス メ ン ト 演 習 2	2	駿地 眞由美 准教授	不開講
	上 級 社 会 心 理 学 演 習	2	東 正訓 教 授	前期
	上 級 集 団 力 学 演 習	2	浦 光博 教 授	後期
上記の必修科目、選択必修科目及び選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。				

【臨床心理士受験資格】

- ① 臨床心理学コースで修士課程を修了した者
- ② 上記の指定科目の修得要件を充たしていること
- ③ 臨床心理学に関連したテーマと内容の修士論文を提出していること

以上の全ての要件を充たしていなければならない。

2013年度より変更があった部分

経済学研究科

【経済学研究科経済学専攻（博士後期課程）科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
理 論 経 済 学 特 殊 研 究	4	博士(経済学) 教 授 橋本 圭司	
国 際 経 済 論 特 殊 研 究	4	博士(経済学) 教 授 林原 正之	
日 本 経 済 史 特 殊 研 究	4	経済学博士 教 授 畠山 秀樹	
経 済 政 策 特 殊 研 究 I	4	経済学博士 教 授 村上 亨	
経 済 政 策 特 殊 研 究 II	4	教 授 奥井 克美	
産 業 組 織 論 特 殊 研 究	4	経済学博士 教 授 箱田 昌平	
日 本 経 済 論 特 殊 研 究	4		本年度不開講
農 業 経 済 論 特 殊 研 究	4		本年度不開講
財 政 学 特 殊 研 究	4	博士(経済学) 教 授 衣笠 達夫	
租 税 論 特 殊 研 究	4		本年度不開講
国 際 金 融 論 特 殊 研 究	4	博士(経済学) 教 授 松本 直樹	
経 済 数 学 特 殊 研 究	4		本年度不開講
社 会 保 障 特 殊 研 究	4		本年度不開講
福 祉 社 会 論 特 殊 研 究	4	博士(経済学) 教 授 李 義昭	
研 究 演 習	12	博士(経済学) 教 授 衣笠 達夫	
		博士(経済学) 教 授 橋本 圭司	
		経済学博士 教 授 畠山 秀樹	
		博士(経済学) 教 授 林原 正之	
		博士(経済学) 教 授 松本 直樹	
		経済学博士 教 授 村上 亨	

経営学研究科

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営学原理特論	4		本年度不開講
経営学特論	4	博士(経済学) 教授 西岡 健夫	
経営学特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
経営学特論演習Ⅱ	4		本年度不開講
経営史特論	4	博士(経営学)	
経営史特論演習Ⅰ	4	教授 植藤 正志	
経営史特論演習Ⅱ	4		
企業論特論	4	博士(農学)	
企業論特論演習Ⅰ	4	教授 八木 俊輔	
企業論特論演習Ⅱ	4		
経営管理論特論	4	博士(商学) 准教授 村上 喜郁	
経営管理論特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
経営管理論特論演習Ⅱ	4		本年度不開講
人的資源管理論特論	4	教授 地代 憲弘	
人的資源管理論特論演習Ⅰ	4	博士(経営学)	
人的資源管理論特論演習Ⅱ	4	准教授 朽尾 安伸	
マーケティング論特論	4		
マーケティング論特論演習Ⅰ	4	教授 池田 信寛	
マーケティング論特論演習Ⅱ	4		
マーケティング情報システム論特論	4	博士(経営学) 准教授 朴 修賢	
財務管理論特論	4	准教授 岡崎 利美	
環境経営論特論	4		
環境経営論特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
環境経営論特論演習Ⅱ	4		
国際経営論特論	4	経営学博士	
国際経営論特論演習Ⅰ	4	教授 L.S.de Silva	
国際経営論特論演習Ⅱ	4		
国際関係論特論	4	博士(創造都市)	
国際関係論特論特論演習Ⅰ	4	教授 中村 都	
国際関係論特論特論演習Ⅱ	4		
異文化間コミュニケーション特論	4		
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅰ	4	教授 L.J.Viswat	
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅱ	4		
経営統計学特論	4	博士(経済学)	
経営統計学特論演習Ⅰ	4	教授 坂上 佳隆	
経営統計学特論演習Ⅱ	4		
オペレーションズ・リサーチ特論	4		本年度不開講
情報科学特論	4	博士(工学)	
情報科学特論演習Ⅰ	4	准教授 中野 統英	
情報科学特論演習Ⅱ	4		
システム科学特論	4	工学博士	
システム科学特論演習Ⅰ	4	教授 福田 得夫	
システム科学特論演習Ⅱ	4		
社会情報システム特論	4	博士(情報学)	
社会情報システム特論演習Ⅰ	4	准教授 井出 明	
社会情報システム特論演習Ⅱ	4		

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2012年度入学生に適用

授 業 科 目	単位	担 当 教 員	備 考
経営情報論特論	4		本年度不開講
経営情報論特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
経営情報論特論演習Ⅱ	4	博士(経済学) 講師 井戸田博樹	
ERPビジネスプロセス特論	4	客員教授 酒井 哲夫	
社会情報学特論	4	博士(国際公共政策)	
社会情報学特論演習Ⅰ	4	教授 篠原 健	
社会情報学特論演習Ⅱ	4		
会計学原理特論	4	博士(経済学) 准教授 山下 克之	
会計学原理特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
会計学原理特論演習Ⅱ	4		本年度不開講
会計学特論	4	Ph.D 博士(経営学)	
会計学特論演習Ⅰ	4	教授 梶原 晃	
会計学特論演習Ⅱ	4		
財務諸表論特論	4	教授 田淵 正信	
管理会計論特論	4	博士(経営学)	
管理会計論特論演習Ⅰ	4	教授 李 建	
管理会計論特論演習Ⅱ	4		
情報会計論特論	4		本年度不開講
情報会計論特論演習Ⅰ	4		
情報会計論特論演習Ⅱ	4		
税務会計論特論	4		本年度不開講
税務会計論特論演習Ⅰ	4		
税務会計論特論演習Ⅱ	4		
民法特論	4	博士(法学) 講師 高森 哉子	
民法特論演習Ⅰ	4		本年度不開講
民法特論演習Ⅱ	4	博士(法学) 講師 高森 哉子	
商法特論	4	博士(法学)	
商法特論演習Ⅰ	4	教授 徐 治文	
商法特論演習Ⅱ	4		
経済法特論	4		本年度不開講
税法学特論	4		本年度不開講
国際法務特論	4		本年度不開講
産業社会心理学特論	4	博士(人間科学)	
産業社会心理学特論演習Ⅰ	4	教授 金川 智恵	
産業社会心理学特論演習Ⅱ	4		
産業組織心理学特論	4		
産業組織心理学特論演習Ⅰ	4	教授 藤田 正	
産業組織心理学特論演習Ⅱ	4		
産業心理解析特論	4		
産業心理解析特論演習Ⅰ	4	教授 原田 章	
産業心理解析特論演習Ⅱ	4		
広告心理学特論	4	博士(人間科学) 准教授 長岡 千賀	

【経営学研究科経営学専攻博士後期課程科目表】2012
年度生までに適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営学特殊研究	4	博士(経済学) 教授 西岡 健夫	
経営史特殊研究	4	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
国際比較経営論特殊研究	4		本年度不開講
国際経営論特殊研究	4	経営学博士 教授 L.S.de Silva	
経営管理論特殊研究	4		本年度不開講
マーケティング論特殊研究	4	教授 池田 信寛	
環境経営論特殊研究	4		本年度不開講
オペレーションズ・リサーチ特殊研究	4		本年度不開講
情報科学特殊研究	4		本年度不開講
システム科学特殊研究	4	工学博士 教授 福田 得夫	
社会情報学特殊研究	4	博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
社会情報システム特殊研究	4	博士(情報学) 准教授 井出 明	
経営情報論特殊研究	4		本年度不開講
会計学特殊研究	4	Ph.D 博士(経営学) 教授 梶原 晃	
税務会計論特殊研究	4		本年度不開講
民法特殊研究	4	博士(法学) 講師 高森 哉子	
商法特殊研究	4	博士(法学) 教授 徐 治文	
産業社会心理学特殊研究	4	博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
産業組織心理学特殊研究	4	教授 藤田 正	
産業心理解析特殊研究	4	教授 原田 章	
研究演習	12	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
		博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
		博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
		博士(法学) 教授 徐 治文	
		経営学博士 教授 L.S.de Silva	
		教授 原田 章	
		工学博士 教授 福田 得夫	
		教授 藤田 正	

心理学研究科

【心理学研究科心理学専攻開講科目表】2012年度入学生に適用

【臨床心理学コース】

履修区分		授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考			
必修		臨床心理学特論1	2	中村 このゆ	教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理学特論2	2	橋本 秀美	教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理面接特論1	2	倉戸 由紀子	教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理面接特論2	2	永野 浩二	准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理アセスメント演習1	2	辻 馬場 深天	准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理アセスメント演習2	2	中村 彰	教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理基礎実習	2	中村 彰 辻 永野 浩二 吉村 晋平	教授 准教授 講師	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ		
	A B C	臨床心理実習	2	倉戸 由紀子 橋本 秀美 馬場 深天 溝部 宏二	教授 教授 教授 教授	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ		
		選択必修	A	臨床心理学研究法特論1	2	倉戸 由紀子 中村 彰 橋本 秀美 辻 馬場 深天 永野 浩二 馬場 深天 吉村 晋平	教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	1年次以上	前期	
				臨床心理学研究法特論2	2	倉戸 由紀子 中村 彰 橋本 秀美 辻 馬場 深天 永野 浩二 馬場 深天 吉村 晋平	教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	同	後期	
心理統計法特論	2			東 正訓	教授	同	不開講	(隔年開講)		
必修	B	人格心理学特論	2	(不開講)		同	不開講	(隔年開講)		
		教育心理学特論	2	石王 敦子	教授	同	不開講			
		社会心理学特論	2	三川 俊樹	教授	同	後期			
		犯罪心理学特論	2	東 正訓	教授	同	後期	(隔年開講)		
		臨床心理関連行政論	2	荒井 崇史 東 正訓	講師 教授	同	後期			
		D	精神医学特論	2	溝部 宏二	教授	同	後期		
			精神経生心理学特論	2	田中 秀明	准教授	同	後期		
			障害者(児)心理学特論	2	中村 彰	教授	同	不開講	(隔年開講)	
		E	投映法特論	2	八尋 華那雄	講師	同	後期	集中	
			臨床心理地域援助特論	2	森田 喜治	講師	同	前期		
心理療法特論1	2		(不開講)		同	不開講	集中(隔年開講)臨床心理学コースのみ			
必修	C	心理療法特論2	2	佐野 直哉	講師	同	不開講	集中(隔年開講)臨床心理学コースのみ		
		学校臨床心理学特論	2	森田 喜治	講師	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ		
		心理療法実習1	1	(不開講)		1年次	後期	臨床心理学コース専攻生で、臨床心理基礎実習を		
		心理療法実習2	1	加藤 敬	講師	2年次	前期	習得した者のみ 学外スーパービジョン		
		臨床心理学研究法演習Ⅰ1	1	中村 彰	教授	1年次	前期			
		臨床心理学研究法演習Ⅰ2	1	永野 浩二	准教授	同	後期			
		臨床心理学研究法演習Ⅱ1	1	吉村 晋平	講師	同	後期			
		臨床心理学研究法演習Ⅱ2	1	倉戸 由紀子 橋本 秀美	教授 教授	2年次	前期			
		臨床心理学コース演習1	A B C D E F H	1	中村 彰 橋本 秀美 辻 馬場 深天 永野 浩二 馬場 深天	教授 教授 教授 准教授 准教授	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
				臨床心理学コース演習2	1	倉戸 由紀子 中村 彰 橋本 秀美 辻 馬場 深天 永野 浩二 馬場 深天	教授 教授 教授 教授 准教授 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。										
選択必修	D	進路指導特論	2	三川 俊樹	教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)		
		言語発達支援特論	2	落合 正行	教授	同	前期	(隔年開講)		
		学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹	教授	同	前期			
		育児支援特論	2	石王 敦子	教授	同	前期	(隔年開講)		
		保育支援特論	2	石王 敦子	教授	同	不開講	(隔年開講)		
		生涯教育心理学演習	2	河崎 美保	講師	同	後期			
		生涯発達心理学演習	2	落合 正行	教授	同	後期			
		心理アセスメント演習1	2	駿地 眞由美	准教授	同	前期			
		心理アセスメント演習2	2	駿地 眞由美	准教授	同	後期			
		上級社会心理学演習	2	東 正訓	教授	同	前期			
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。										

【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分	授業科目		単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	生涯発達・生涯教育心理学コース演習1	A C D E	2	駿地 眞由美 准教授 石王 敦子 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	2年次	前期	(修士論文指導)
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習2	A C D E	2	駿地 眞由美 准教授 石王 敦子 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	同	後期	(修士論文指導)
選択必修	記憶と言語		2	石王 敦子 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	認知心理学特論		2	石王 敦子 教授	同	不開講	
	臨床発達心理学特論		2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論		2	永野 浩二 准教授	同	不開講	
	神経生理学特論		2	田中 秀明 准教授	同	後期	
	人格心理学特論		2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達特論		2	落合 正行 教授	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論		2	落合 正行 教授	同	前期	(隔年開講)
	育児支援特論		2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
	保育支援特論		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	教育心理学特論		2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	進路指導特論		2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論		2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習		2	河崎 美保 講師	同	後期	
	生涯発達心理学演習		2	落合 正行 教授	同	後期	
	心理アセスメント演習1		2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	
	心理アセスメント演習2		2	駿地 眞由美 准教授	同	後期	
	臨床発達心理実習		2	駿地 眞由美 准教授 落合 正行 教授 石王 敦子 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 河崎 美保 講師	同	通年	
	以上の科目から、16単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論		2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論		2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会心理学特論		2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
	環境心理学特論		2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論		2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	後期	
	対人行動学特論		2	金政 祐司 准教授	同	前期	(隔年開講)
	心理統計法特論		2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

【社会・環境・犯罪心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅰ ACD	2	金政 祐司 准教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 教授	1年次	通年	
	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅱ ACD	2	金政 祐司 准教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 教授	2年次	通年	(修士論文指導)
選択必修	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	環境心理学特論	2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	後期	
	対人行動学特論	2	金政 祐司 准教授	同	前期	(隔年開講)
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。					
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期	
	上級環境心理学演習	2	(不開講)	同	不開講	
	上級犯罪心理学演習	2	荒井 崇史 講師	同	前期	
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 准教授	同	前期	
選択	以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。					
	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)
	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	後期	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	
	臨床発達心理学特論	2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	不開講	
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	後期	
	認知発達支援論	2	(不開講)	同	不開講	
	人格心理学特論	2	(不開講)	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達特論	2	落合 正行 教授	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論	2	落合 正行 教授	同	前期	(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 講師	同	後期	
	生涯発達心理学演習	2	落合 正行 講師	同	後期	
	心理アセスメント演習1	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	
	心理アセスメント演習2	2	駿地 眞由美 准教授	同	後期	
	臨床発達心理実習	2	駿地 眞由美 准教授 落合 正行 教授 石王 敦子 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 河崎 美保 講師	同	通年	

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

臨床心理士受験資格に関する指定科目

区分		開講科目名	単位	担当者	備 考		
必修	必	臨床心理学特論 1	2	中村 このゆ 教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理学特論 2	2	橋本 秀美 教授	後期 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理面接特論 1	2	倉戸 由紀子 教授 橋本 秀美 教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理面接特論 2	2	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	後期 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理アセスメント演習 1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	前期 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理アセスメント演習 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	後期 臨床心理学コース専攻生のみ		
	修	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ		
		臨床心理実習	A B C	2	倉戸 由紀子 教授 中村 このゆ 教授 橋本 秀美 教授 馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ	
選択必修	A	臨床心理学研究法特論 1	2	倉戸 由紀子 教授 中村 このゆ 教授 橋本 秀美 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	前期		
		臨床心理学研究法特論 2	2	倉戸 由紀子 教授 中村 このゆ 教授 橋本 秀美 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師	後期		
		心理統計法特論	2	東 正訓 教授	不開講(隔年開講)		
	B	人格心理学特論	2	(不開講)	不開講(隔年開講)		
		認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	不開講		
		教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	後期		
	C	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	後期 (隔年開講)		
		犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	後期		
		臨床心理関連行政論	2	田中 耕二郎 教授	後期		
	D	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	後期		
		経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	後期		
		障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	不開講 (隔年開講)		
	E	投映法特論	2	八尋 華那夫 講師	後期集中		
		臨床心理地域援助特論	2	森田 喜治 講師	前期		
		心理療法特論 1	2	(不開講)	不開講(隔年開講) 臨床心理学コースのみ		
	選択必修		心理療法実習 1	1	(不開講)	後期 { 臨床心理学コース専攻生で、臨床心理基礎	
心理療法実習 2			1	加藤 敬 講師	前期 { 実習を修得した者のみ、学外スーパービジョン		
臨床心理学研究法演習Ⅰ 1		1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	前期			
臨床心理学研究法演習Ⅰ 2		1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	後期			
臨床心理学研究法演習Ⅱ 1		1	倉戸 由紀子 教授 橋本 秀美 教授	前期			
臨床心理学研究法演習Ⅱ 2		1	中村 このゆ 教授 馬場 天信 准教授	後期			
臨床心理学コース演習 1		A B C D E F H	1	倉戸 由紀子 教授 中村 このゆ 教授 橋本 秀美 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	前期 (修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ		
臨床心理学コース演習 2				A B C D E F H	1	倉戸 由紀子 教授 中村 このゆ 教授 橋本 秀美 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	後期 (修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ

上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。

上記の A～E の科目群から、それぞれ 2 単位以上、計 10 単位以上を修得し、選択必修の区分から計 14 単位以上を修得すること。

区分	開講科目名	単位	担当者	備 考
選 択	進 路 指 導 特 論	2	三川 俊樹 教 授	不開講（隔年開講）
	言 語 発 達 支 援 論	2	落合 正行 教 授	前期（隔年開講）
	学 校 カ ウ ン セ リ ン グ 特 論	2	三川 俊樹 教 授	前期
	育 児 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	前期（隔年開講）
	保 育 支 援 特 論	2	石王 敦子 教 授	不開講（隔年開講）
	生 涯 教 育 心 理 学 演 習	2	河崎 美保 講 師	後期
	生 涯 発 達 心 理 学 演 習	2	落合 正行 教 授	後期
	心 理 ア セ ス メ ン ト 演 習 1	2	駿地 眞由美 准教授	前期
	心 理 ア セ ス メ ン ト 演 習 2	2	駿地 眞由美 准教授	後期
	上 級 社 会 心 理 学 演 習	2	東 正訓 教 授	前期
上記の必修科目、選択必修科目及び選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。				

【臨床心理士受験資格】

- ① 臨床心理学コースで修士課程を修了した者
- ② 上記の指定科目の修得要件を充たしていること
- ③ 臨床心理学に関連したテーマと内容の修士論文を提出していること

以上の全ての要件を充たしていなければならない。

資格取得

2017年度より変更があった部分

【社会教育主事の資格取得に関する規程一部変更】 2012年度入学生に適用

第2条 前条の科目は、次のとおりとする。

法定科目名及び 最低修得単位数		本学開講科目名及び単位数		履修方法
生涯学習概論	4	社会教育概論1	2	必修
		社会教育概論2	2	必修
社会教育計画	4	社会教育計画1	2	必修
		社会教育計画2	2	必修
社会教育課題研究	4	社会教育課題研究1	2	必修
		社会教育課題研究2	2	必修
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	社会問題論	2	6科目以上 12単位以上選択
		人権教育論	2	
		人権問題論	2	
		比較教育学	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育行政	2	
		博物館概論	2	
		博物館教育論	2	
		博物館情報・メディア論	2	
		職業指導論	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		余暇とレクリエーション	2	
		教育原論	2	
		教育心理学	2	
		教育行政学	2	
		教育方法学	2	

(略)

2015年度より変更があった部分

【学芸員資格取得に関する履修規程一部改正】 2006～2014年度入学生に適用

(下線部は改正箇所)

第1条 (略)

第2条 前条に定める科目は、次のとおりとする。ただし、年度により開講しない科目がある。

	法定科目名及び 最低修得単位数	本学開講科目名及び単位数	配当年次	履修方法		
必修科目	(略)					
選択科目	民俗学	4	くらしと文化 文化人類学	2 2	1年次以上 2年次以上	2分野以上に またがって 8単位以上選 択
	生物学	4	生物行動学	2	2年次以上	
			基礎生態学	2	3年次以上	
			生態・環境論	2	3年次以上	
			生態学フィールドワーク 1	2	3年次以上	
			生態学フィールドワーク 2	2	3年次以上	
			生物の科学	2	1年次以上	
			生物の進化	2	1年次以上	
			生物の多様性	2	1年次以上	
			<u>生物学1</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
			<u>生物学2</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
			<u>自然科学概論</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	

第3条 (略)

第4条 (略)

第5条 (略)

附 則

この規程は、2015年4月1日から施行する。

2013年度より変更があった部分

【社会教育主事の資格取得に関する履修規程一部改正】2012年度以降の入学生に適用

(下線部は改正箇所)

第1条 (略)

第2条 前条の科目は、次のとおりとする。

法定科目名及び最低修得単位数		本学開講科目及び単位数		履修方法	
生涯学習概論	4	社会教育概論1	2	必修	
		社会教育概論2	2	必修	
社会教育計画	4	社会教育計画1	2	必修	
		社会教育計画2	2	必修	
社会教育課題研究	4	社会教育課題研究1	2	必修	
		社会教育課題研究2	2	必修	
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	社会問題論	2	6科目以上12単位以上選択	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		人権教育論	2		
		比較教育学	2		
		社会教育行政	2		
		博物館概論	2		
		博物館教育論	2		
		博物館情報・メディア論	2		
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		職業指導論	2		
		余暇とレクリエーション	2		
		教育原論	2		
		教育心理学	2		
		教育行政学	2		
	教育方法学	2			

社会教育特講は、Ⅰ、Ⅱ及びⅢにわたって履修することが望ましい。

第3条 (略)

附 則

この規程は、2013年4月1日から施行する。

規程等

「経済学部関連規程等」

2018年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】～2014年度入学生に適用

別表□（第9条関係）

1 共通科目

共通科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

(1) 経済学科

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済原論	4		2	
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		プログラム基礎演習1	2		2	
		プログラム基礎演習2	2		2	
		コース基礎演習1	2		2	
		コース基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ-1	2		3	
		演習Ⅰ-2	2		3	
		プログラム演習Ⅰ-1	2		3	
		プログラム演習Ⅰ-2	2		3	
		コース演習Ⅰ-1	2		3	
		コース演習Ⅰ-2	2		3	
		演習Ⅱ-1	2		4	
		演習Ⅱ-2	2		4	
		プログラム演習Ⅱ-1	2		4	
		プログラム演習Ⅱ-2	2		4	
		コース演習Ⅱ-1	2		4	
		コース演習Ⅱ-2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学		4	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		マクロ経済学		4	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		計量経済学		4	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
		経済成長論1		2	3	
		経済成長論2		2	3	
		行動経済学1		2	3	
		行動経済学2		2	3	
	経済政策	経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		財政学		4	2	
		公共経済学		4	2	

		金融論		4	2	
		国際貿易論		4	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		生活経済論1		2	2	
		生活経済論2		2	2	
		消費経済論1		2	2	
		消費経済論2		2	2	
		消費者保護論		2	2	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		地方財政論		4	3	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		社会保障		4	3	
	数理・情報	経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		経済情報処理		4	2	
		経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		ソフトウェア論		4	2	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4	2	
選択B	経済理論・経済史	社会思想史		4	1	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史1		2	2	
		経済学史2		2	2	
		経済学史		4	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		日本経済史		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		外国経済史		2	2	
		経済理論・経済史特殊講義		2	2	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		オーストラリア経済論1		2	2	
		オーストラリア経済論2		2	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		アメリカ経済論		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		アジア経済論		2	2	
		海外事情1		2	2	
		海外事情2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		金融ビジネス論1		2	2	
		金融ビジネス論2		2	2	
		地域経済論1		2	2	
		地域経済論2		2	2	
		経済政策特殊講義		2	2	
		外国経済特殊講義		2	2	

		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
	数理・情報	データ分析ソフトウェア		2	2	
		経済データ分析		2	2	
		リスクと向き合う経済学		2	2	
		数理・情報特殊講義		2	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		経済統計学		4	3	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		意思決定論		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	3	
		経済学特殊講義2		2	3	
		経済学特殊講義3		2	3	
		経済学特殊講義4		2	3	
		経済学特殊講義5		2	3	
		経済学特殊講義6		2	3	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	
選択B	法学	民法(総則)		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		法学・政治学特殊講義		2	2	
		税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法		2	3	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		企業経済論1		2	2	
		企業経済論2		2	2	
		中小企業論		2	2	
		証券経済論1		2	2	
		証券経済論2		2	2	
		ビジネス英語1		2	2	
		ビジネス英語2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		現代企業論1		2	2	
		現代企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	

		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
		貿易実務1		2	3	
		貿易実務2		2	3	
		国際取引論1		2	3	
		国際取引論2		2	3	
		貿易経営実務1		2	3	
		貿易経営実務2		2	3	
		国際経営論		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4	2	目

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目

- ・「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
- ・「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
- ・「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。
- ・「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。
- ・「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
- ・「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
- ・「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
- ・「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
- ・「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。
- ・「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。
- ・「国際経営論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。
- ・「国際経営論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。
- ・「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
- ・「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
- ・「経済原論Ⅰ」を修得した場合、「経済原論」を履修することはできない。
- ・「マクロ経済学1」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「マクロ経済学2」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学1」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学2」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「財政学1」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「財政学2」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「経済統計学1」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「経済統計学2」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「企業経済論1」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。
- ・「企業経済論2」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。

(2) ヒューマンエコノミー学科

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済原論	4		2	
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		プログラム基礎演習1	2		2	
		プログラム基礎演習2	2		2	
		コース基礎演習1	2		2	
		コース基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ-1	2		3	
		演習Ⅰ-2	2		3	
		プログラム演習Ⅰ-1	2		3	
		プログラム演習Ⅰ-2	2		3	
		コース演習Ⅰ-1	2		3	
		コース演習Ⅰ-2	2		3	
		演習Ⅱ-1	2		4	
		演習Ⅱ-2	2		4	
		プログラム演習Ⅱ-1	2		4	
		プログラム演習Ⅱ-2	2		4	
		コース演習Ⅱ-1	2		4	
		コース演習Ⅱ-2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		社会思想史		4	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学1		2	2	
		国際経済学2		2	2	
		国際経済学		4	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		日本経済史		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		外国経済史		2	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		マクロ経済学		4	2	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
		経済成長論1		2	3	
		経済成長論2		2	3	
		行動経済学1		2	3	
		行動経済学2		2	3	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2	1	
		ヒューマンエコノミー概論2		2	1	
		経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		財政学		4	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		金融論		4	2	
		公共経済学		4	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		生活経済論1		2	2	
		生活経済論2		2	2	
		消費経済論1		2	2	
		消費経済論2		2	2	

		消費者保護論		2	2	
		社会保障		4	3	
		地方財政論		4	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
選択A	数理・情報	経済情報処理		4	2	28単位以上
		経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		データ分析ソフトウェア		2	2	
		経済データ分析		2	2	
		リスクと向き合う経済学		2	2	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
	法学	税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法		2	3	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4	2	
選択B	経済理論・経済史	経済学史1		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史2		2	2	
		経済学史		4	2	
		経済理論・経済史特殊講義		2	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		計量経済学		4	3	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		オーストラリア経済論1		2	2	
		オーストラリア経済論2		2	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		アメリカ経済論		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		アジア経済論		2	2	
		海外事情1		2	2	
		海外事情2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		国際貿易論		4	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		地域開発論1		2	2	
		地域開発論2		2	2	
		アジア論1		2	2	
		アジア論2		2	2	
		金融ビジネス論1		2	2	
		金融ビジネス論2		2	2	
		地域経済論1		2	2	
		地域経済論2		2	2	
		経済政策特殊講義		2	2	
		外国経済特殊講義		2	2	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		経済地理1		2	3	

選択B		経済地理2		2	3	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
	数理・情報	経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		ソフトウェア論		4	2	
		数理・情報特殊講義		2	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		経済統計学		4	3	
		オペレーション・リサーチ1		2	3	
		オペレーション・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		意思決定論		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	2	
		経済学特殊講義2		2	2	
		経済学特殊講義3		2	2	
		経済学特殊講義4		2	2	
		経済学特殊講義5		2	2	
		経済学特殊講義6		2	2	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	
	法学	民法(総則)		2	2	
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		法学・政治学特殊講義		2	2	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		企業経済論1		2	2	
		企業経済論2		2	2	
		中小企業論		2	2	
		証券経済論1		2	2	
		証券経済論2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		現代企業論1		2	2	
		現代企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4	2	

- 「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目
- ・「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。
 - ・「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。
 - ・「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
 - ・「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
 - ・「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
 - ・「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
 - ・「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
 - ・「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
 - ・「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。
 - ・「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。
 - ・「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
 - ・「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
 - ・「経済原論Ⅰ」を修得した場合、「経済原論」を履修することはできない。
 - ・「国際経済学1」を修得した場合、「国際経済学」を履修することはできない。
 - ・「国際経済学2」を修得した場合、「国際経済学」を履修することはできない。
 - ・「マクロ経済学1」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
 - ・「マクロ経済学2」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
 - ・「財政学1」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
 - ・「財政学2」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
 - ・「計量経済学1」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
 - ・「計量経済学2」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
 - ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
 - ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
 - ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
 - ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
 - ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
 - ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
 - ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
 - ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
 - ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
 - ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
 - ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
 - ・「経済統計学1」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
 - ・「経済統計学2」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
 - ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
 - ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
 - ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
 - ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
 - ・「企業経済論1」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。
 - ・「企業経済論2」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。

【経済学科履修細則一部変更】2014 年度以前入学生に適用

経済学科履修細則

(略)

履修単位制限

7 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業の要件とならない科目の単位数についても、制限を受けない。その他、成績評価が「認定」として単位付与される科目についてもこの制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

(略)

履修登録の方法

9 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。
- (3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。
- (4) UNIVERSAL PASSPORT により、必ず登録内容の確認をすること。
- (5) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。
- (6) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

履修希望登録

4 授業科目のうち事前に履修許可（履修希望登録）を必要とする授業科目は、所定の履修希望登録を行い、その結果により履修登録をすること。

(略)

体育科目

履修及び単位の修得方法

2 実技科目は、所定の履修希望登録を行い、その結果により履修登録をすること。

(略)

【ヒューマンエコノミー学科履修細則一部変更】2014 年度以前入学生に適用

ヒューマンエコノミー学科履修細則

(略)

履修単位制限

7 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業の要件とならない科目の単位数についても、制限を受けない。その他、成績評価が「認定」として単位付与される科目についてもこの制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

(略)

履修登録の方法

9 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。
- (3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。
- (4) UNIVERSAL PASSPORT により、必ず登録内容の確認をすること。
- (5) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。
- (6) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

履修希望登録

4 授業科目のうち事前に履修許可（履修希望登録）を必要とする授業科目は、所定の履修希望登録を行い、その結果により履修登録をすること。

(略)

2017年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

別表Ⅰ（第9条関係）

1 共通科目

共通科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

（1）経済学科

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済原論	4		2	
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		プログラム基礎演習1	2		2	
		プログラム基礎演習2	2		2	
		コース基礎演習1	2		2	
		コース基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ－1	2		3	
		演習Ⅰ－2	2		3	
		プログラム演習Ⅰ－1	2		3	
		プログラム演習Ⅰ－2	2		3	
		コース演習Ⅰ－1	2		3	
		コース演習Ⅰ－2	2		3	
		演習Ⅱ－1	2		4	
		演習Ⅱ－2	2		4	
		プログラム演習Ⅱ－1	2		4	
		プログラム演習Ⅱ－2	2		4	
		コース演習Ⅱ－1	2		4	
		コース演習Ⅱ－2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学		4	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		マクロ経済学		4	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		計量経済学		4	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
		経済成長論1		2	3	
		経済成長論2		2	3	
		行動経済学1		2	3	
		行動経済学2		2	3	
	経済政策	経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		財政学		4	2	
		公共経済学		4	2	

選択B		金融論		4	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		国際貿易論		4	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		生活経済論1		2	2	
		生活経済論2		2	2	
		消費経済論1		2	2	
		消費経済論2		2	2	
		消費者保護論		2	2	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		地方財政論		4	3	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		社会保障		4	3	
	数理・情報	経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		経済情報処理		4	2	
		経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		ソフトウェア論		4	2	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	
		国際事情		4	2	
	経済理論・経済史	社会思想史		4	1	
		経済学史1		2	2	
		経済学史2		2	2	
		経済学史		4	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		日本経済史		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		外国経済史		2	2	
		経済理論・経済史特殊講義		2	2	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		オーストラリア経済論1		2	2	
		オーストラリア経済論2		2	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		アメリカ経済論		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		アジア経済論		2	2	
		海外事情1		2	2	

		海外事情2		2	2
		貿易政策1		2	2
		貿易政策2		2	2
		オーストラリア産業論1		2	2
		オーストラリア産業論2		2	2
		食料経済論1		2	2
		食料経済論2		2	2
		環境経済学1		2	2
		環境経済学2		2	2
		国際経済政策1		2	2
		国際経済政策2		2	2
		金融ビジネス論1		2	2
		金融ビジネス論2		2	2
		地域経済論1		2	2
		地域経済論2		2	2
		経済政策特殊講義		2	2
		外国経済特殊講義		2	2
		経済地理1		2	3
		経済地理2		2	3
		開発経済学1		2	3
		開発経済学2		2	3
		地球環境論1		2	3
		地球環境論2		2	3
		グローバル人材の経済学1		2	3
		グローバル人材の経済学2		2	3
		福祉社会論1		2	3
		福祉社会論2		2	3
	数理・情報	データ分析ソフトウェア		2	2
		経済データ分析		2	2
		リスクと向き合う経済学		2	2
		数理・情報特殊講義		2	2
		数理統計学		4	3
		経済統計学1		2	3
		経済統計学2		2	3
		経済統計学		4	3
		ファイナンス論1		2	3
		ファイナンス論2		2	3
		オペレーション・リサーチ1		2	3
		オペレーション・リサーチ2		2	3
		意思決定論1		2	3
		意思決定論2		2	3
		意思決定論		2	3
		経営情報論1		2	3
		経営情報論2		2	3
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	3
		経済学特殊講義2		2	3
		経済学特殊講義3		2	3
		経済学特殊講義4		2	3
		経済学特殊講義5		2	3
		経済学特殊講義6		2	3
		経済学特殊講義7		2	2
		経済学特殊講義8		2	2
		経済学特殊講義9		2	2
		経済学特殊講義10		2	2

選択B	法学	民法(総則)		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		法学・政治学特殊講義		2	2	
		税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法		2	3	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		企業経済論1		2	2	
		企業経済論2		2	2	
		証券経済論1		2	2	
		証券経済論2		2	2	
		ビジネス英語1		2	2	
		ビジネス英語2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		現代企業論1		2	2	
		現代企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
		貿易実務1		2	3	
		貿易実務2		2	3	
		国際取引論1		2	3	
		国際取引論2		2	3	
		貿易経営実務1		2	3	
		貿易経営実務2		2	3	
		国際経営論		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4	2	

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目

- ・「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
- ・「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
- ・「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。
- ・「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。
- ・「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
- ・「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
- ・「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
- ・「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
- ・「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。
- ・「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。
- ・「国際経営論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。
- ・「国際経営論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。
- ・「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
- ・「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
- ・「経済原論Ⅰ」を修得した場合、「経済原論」を履修することはできない。
- ・「マクロ経済学1」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「マクロ経済学2」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学1」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学2」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「財政学1」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「財政学2」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「経済統計学1」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「経済統計学2」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。

(2) ヒューマンエコノミー学科

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済原論	4		2	
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		プログラム基礎演習1	2		2	
		プログラム基礎演習2	2		2	
		コース基礎演習1	2		2	
		コース基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰー1	2		3	
		演習Ⅰー2	2		3	
		プログラム演習Ⅰー1	2		3	
		プログラム演習Ⅰー2	2		3	
		コース演習Ⅰー1	2		3	
		コース演習Ⅰー2	2		3	
		演習Ⅱー1	2		4	
		演習Ⅱー2	2		4	
		プログラム演習Ⅱー1	2		4	
		プログラム演習Ⅱー2	2		4	
		コース演習Ⅱー1	2		4	
		コース演習Ⅱー2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		社会思想史		4	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学1		2	2	
		国際経済学2		2	2	
		国際経済学		4	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		日本経済史		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		外国経済史		2	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		マクロ経済学		4	2	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
		経済成長論1		2	3	
		経済成長論2		2	3	
		行動経済学1		2	3	
		行動経済学2		2	3	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2	1	
		ヒューマンエコノミー概論2		2	1	
		経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		財政学		4	2	
		労使関係論1		2	2	

		労使関係論2		2	2	
		金融論		4	2	
		公共経済学		4	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		生活経済論1		2	2	
		生活経済論2		2	2	
		消費経済論1		2	2	
		消費経済論2		2	2	
		消費者保護論		2	2	
		社会保障		4	3	
		地方財政論		4	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
選択A	数理・情報	経済情報処理		4	2	28単位以上
		経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		データ分析ソフトウェア		2	2	
		経済データ分析		2	2	
		リスクと向き合う経済学		2	2	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
	法学	税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法		2	3	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	
		国際事情		4	2	
選択B	経済理論・経済史	経済学史1		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史2		2	2	
		経済学史		4	2	
		経済理論・経済史特殊講義		2	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		計量経済学		4	3	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		オーストラリア経済論1		2	2	
		オーストラリア経済論2		2	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		アメリカ経済論		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		アジア経済論		2	2	
		海外事情1		2	2	

		海外事情2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		国際貿易論		4	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		地域開発論1		2	2	
		地域開発論2		2	2	
		アジア論1		2	2	
		アジア論2		2	2	
		金融ビジネス論1		2	2	
		金融ビジネス論2		2	2	
		地域経済論1		2	2	
		地域経済論2		2	2	
		経済政策特殊講義		2	2	
		外国経済特殊講義		2	2	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
選択B	数理・情報	経済数学1		2	1	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		ソフトウェア論		4	2	
		数理・情報特殊講義		2	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		経済統計学		4	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		意思決定論		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	2	
		経済学特殊講義2		2	2	
		経済学特殊講義3		2	2	
		経済学特殊講義4		2	2	
		経済学特殊講義5		2	2	
		経済学特殊講義6		2	2	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	
	法学	民法(総則)		2	2	
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		法学・政治学特殊講義		2	2	
		社会保障法		2	3	

経営学	入門簿記		2	1	大学が認めた留学生専用科目
	初級簿記		2	1	
	企業経済論1		2	2	
	企業経済論2		2	2	
	証券経済論1		2	2	
	証券経済論2		2	2	
	国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
	国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
	国際ビジネスコミュニケーション		2	2	
	中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
	中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
	経営学概論1		2	2	
	経営学概論2		2	2	
	現代企業論1		2	2	
	現代企業論2		2	2	
	マーケティング論1		2	2	
	マーケティング論2		2	2	
	会計学原理1		2	2	
	会計学原理2		2	2	
	ERPビジネスプロセス1		2	3	
	ERPビジネスプロセス2		2	3	
	ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
	ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
	教職ゼミⅡ		2	3	
国際	国際特別演習		4	2	
	国際表現演習		4	2	

- 「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目
- ・「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。
 - ・「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。
 - ・「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
 - ・「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。
 - ・「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
 - ・「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。
 - ・「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
 - ・「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。
 - ・「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。
 - ・「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。
 - ・「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
 - ・「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。
 - ・「経済原論Ⅰ」を修得した場合、「経済原論」を履修することはできない。
 - ・「国際経済学1」を修得した場合、「国際経済学」を履修することはできない。
 - ・「国際経済学2」を修得した場合、「国際経済学」を履修することはできない。

- ・「マクロ経済学1」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「マクロ経済学2」を修得した場合、「マクロ経済学」を履修することはできない。
- ・「財政学1」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「財政学2」を修得した場合、「財政学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学1」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「計量経済学2」を修得した場合、「計量経済学」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「経済統計学1」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「経済統計学2」を修得した場合、「経済統計学」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。

2016年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】2008～2015 年度入学生に適用

- 第 32 条 本大学の第 3 年次へ編入学又は他大学から本大学に転学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とし、選考の上、これを許可する。
- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者
 - (5) 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
 - (6) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者(学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

2

(略)

【経済学部経済学科科目表】2011年度～2013年度入学生に適用

(1)経済学科

必修	16単位
選択A	28単位以上
選択B	選択A及び選択B合わせて60単位以上
卒業必要単位数	76単位以上

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ－1	2		3	
		演習Ⅰ－2	2		3	
		演習Ⅱ－1	2		4	
		演習Ⅱ－2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学		4	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
	経済政策	経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		公共経済学		4	2	
		金融論		4	2	
		国際貿易論		4	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		地方財政論		4	3	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
	数理・情報	労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		社会保障		4	3	
		経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		経済情報処理		4	2	
	国際	経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		ソフトウェア論		4	2	
		国際コミュニケーション論		4	2	
		国際事情		4	2	

大学が認めた留学生専用科目

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	経済理論・経済史	社会思想史		4	1	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史1		2	2	
		経済学史2		2	2	
		経済学史		4	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		海外事情1		2	2	
		海外事情2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		金融ビジネス論1		2	2	
		金融ビジネス論2		2	2	
		地域経済論1		2	2	
		地域経済論2		2	2	
		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
	数理・情報	データ分析ソフトウェア		2	2	
		リスクと向き合う経済学		2	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	3	
		経済学特殊講義2		2	3	
		経済学特殊講義3		2	3	
		経済学特殊講義4		2	3	
		経済学特殊講義5		2	3	
		経済学特殊講義6		2	3	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	法学	民法(総則)		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法1		2	3	
		労働法2		2	3	
		労働法		2	3	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		企業経済論1		2	2	
		企業経済論2		2	2	
		証券経済論1		2	2	
		証券経済論2		2	2	
		ビジネス英語1		2	2	
		ビジネス英語2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		現代企業論1		2	2	
		現代企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
		貿易実務1		2	3	
		貿易実務2		2	3	
		国際取引論1		2	3	
		国際取引論2		2	3	
		貿易経営実務1		2	3	
		貿易経営実務2		2	3	
		国際経営論1		2	3	
		国際経営論2		2	3	
		国際経営論		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4	2	

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目

「比較公共政策1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策1」を履修することはできない。

「比較公共政策2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策2」を履修することはできない。

「産業社会関係論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論1」を履修することはできない。

「産業社会関係論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論2」を履修することはできない。

「国際労働経済論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学1」を履修することはできない。

「国際労働経済論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学2」を履修することはできない。

「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。

「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。

「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。

「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。

「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。

「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。

「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。

「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。

「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。

「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。

「国際経営論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。

「国際経営論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「国際経営論」を履修することはできない。

「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。

「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。

【経済学部ヒューマンエコノミー学科科目表】2011年度～2013年度入学生に適用

(2)ヒューマンエコノミー学科

必修	16単位
選択A	28単位以上
選択B	選択A及び選択B合わせて60単位以上
卒業必要単位数	76単位以上

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ－1	2		3	
		演習Ⅰ－2	2		3	
		演習Ⅱ－1	2		4	
		演習Ⅱ－2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		社会思想史		4	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学1		2	2	
		国際経済学2		2	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2	1	
		ヒューマンエコノミー概論2		2	1	
		経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		金融論		4	2	
		公共経済学		4	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		社会保障		4	3	
		地方財政論		4	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
	数理・情報	経済情報処理		4	2	
		経済シミュレーションゲーム		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		データ分析ソフトウェア		2	2	
		リスクと向き合う経済学		2	2	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択A	法学	税法1		2	3	28単位以上
		税法2		2	3	
		労働法1		2	3	
		労働法2		2	3	
		労働法		2	3	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4	2	
選択B	経済理論・経済史	経済学史1		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史2		2	2	
	経済政策	経済学史		4	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		幸福の経済学1		2	2	
		幸福の経済学2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		海外事情1		2	2	
		海外事情2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		国際貿易論		4	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		地域開発論1		2	2	
		地域開発論2		2	2	
		アジア論1		2	2	
		アジア論2		2	2	
		金融ビジネス論1		2	2	
		金融ビジネス論2		2	2	
		地域経済論1		2	2	
		地域経済論2		2	2	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
	数理・情報	経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済数学		4	1	
		ソフトウェア論		4	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	2	
		経済学特殊講義2		2	2	
		経済学特殊講義3		2	2	
		経済学特殊講義4		2	2	
		経済学特殊講義5		2	2	
		経済学特殊講義6		2	2	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	法学	民法(総則)		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		行政法		2	2	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		企業経済論1		2	2	
		企業経済論2		2	2	
		証券経済論1		2	2	
		証券経済論2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		現代企業論1		2	2	
		現代企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4	2	

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目
「比較公共政策1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策1」を履修することはできない。
「比較公共政策2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策2」を履修することはできない。
「産業社会関係論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論1」を履修することはできない。
「産業社会関係論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論2」を履修することはできない。
「国際労働経済論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学1」を履修することはできない。
「国際労働経済論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学2」を履修することはできない。

「経済シミュレーション」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済シミュレーションゲーム」を履修することはできない。

「経済データ分析」(2015年度まで開講)を修得した場合、「リスクと向き合う経済学」を履修することはできない。

「労働法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。

「労働法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「労働法」を履修することはできない。

「経済数学1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。

「経済数学2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済数学」を履修することはできない。

「行政法1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。

「行政法2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「行政法」を履修することはできない。

「企業論1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論1」を履修することはできない。

「企業論2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「現代企業論2」を履修することはできない。

「経済学史1」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。

「経済学史2」(2015年度まで開講)を修得した場合、「経済学史」を履修することはできない。

3. 副専攻

副専攻科目については、別に定める。

2015年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】 2008～2014年度入学生に適用

第 30 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

【経済学科履修細則一部変更】2014 年度以前入学生に適用

I 一般的事項

履修関係諸規則

(略)

履修単位制限

7 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業の要件とならない科目の単位数についても、制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

スポーツフィールド実習 I

スポーツフィールド実習Ⅱ

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

【ヒューマンエコノミー学科履修細則一部変更】2014 年度以前入学生に適用

I 一般的事項

履修関係諸規則

(略)

履修単位制限

7 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業の要件とならない科目の単位数についても、制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

スポーツフィールド実習Ⅰ

スポーツフィールド実習Ⅱ

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

2014年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】2008～2013 年度生に適用

第10条 本学部における授業科目の履修については、次のとおりとする。

経済学科

履修 区分	授業科目	分野	卒業に必要な単位数		
必修	学科科目	経済学	16 単位		76 単位以上 <

	総合科目	追大 UI 科目	卒業に必要な単位として認める
		追大プロジェクト科目	最大 8 単位までを卒業に必要な単位として認める
		国際交流科目	最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める
		別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は最大 4 単位まで卒業に必要な単位として認める	
		大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位は最大 4 単位まで卒業に必要な単位として認める	

授業科目	分野	必要な単位数
副専攻科目	履修可能な副専攻については別に定める	20 単位までを卒業に必要な単位として認める

- ① 必修の学科科目は、経済学分野の(経済原論Ⅰ・経済学基礎演習Ⅰ・経済学基礎演習Ⅱ・演習Ⅰ—Ⅰ・演習Ⅰ—Ⅱ・演習Ⅱ—Ⅰ・演習Ⅱ—Ⅱ)16 単位を指定年次に修得すること。
- ② 選択 A の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、及び国際分野から、28 単位以上を修得すること。
- ③ 選択 A 及び選択 B の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、特殊講義、法学、経営学、資格・キャリア及び国際の分野から、合計 60 単位以上を修得すること。
- ④ 上記の必修、選択 A 及び選択 B の学科科目は、合計 76 単位以上修得すること。
- ⑤ 全履の新入生演習は、1 年次に全員履修すること。
- ⑥ 選択 C の基本科目は、12 単位以上を修得すること。
- また、キャリアデザイン論は、1 年次に全員履修すること。
- なお、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者の履修については別に定める。

⑦ 選択 C の外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうち、いずれか 1 の外国語 8 単位以上を第 1 年次及び第 2 年次に修得すること。

なお、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国語科目として日本語 8 単位を修得しなければならない。

⑧ 選択 C の体育科目は、2 単位以上を修得すること。

⑨ 選択 C の総合科目のうち、「追大 UI」科目については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については最大 8 単位までを、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については、各分野各々最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

⑩ 副専攻科目は、修了要件単位を 20 単位とし、最大 20 単位を卒業に必要な単位として認める。

⑪ 卒業に必要な単位数は、124 単位以上とする。

ヒューマンエコノミー学科

履修区分	授業科目	分野	卒業に必要な単位数		
必修	学科科目	経済学	16 単位	76 単位以上	124 単位以上
選択・A	学科科目	経済理論・経済史	28 単位以上		
		経済政策			
		数理・情報			
		法学			
		国際			

選択・B	学科科目	経済理論・経済史	選択の A・B を合わせて 60 単位以上		
		経済政策			
		数理・情報			
		特殊講義			
		法学			
		経営学			
		資格・キャリア			
		国際			
全履		新入生演習	全員履修科目(卒業に必要な単位として認める)		
選択・C	基本科目		12 単位以上「キャリアデザイン論」は 1 年次に全員履修とする		
		外国語科目	英語	いずれか 1 の外国語 8 単位以上 日本語は外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者に適用	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中国語				
	日本語				
	体育科目	講義	2 単位以上		
		実技			
総合科目	追大 UI 科目	卒業に必要な単位として認める			
	追大プロジェクト科目	最大 8 単位までを卒業に必要な単位として認める			
	国際交流科目	最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める			
	別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は最大 4 単位まで卒業に必要な単位として認める				
	大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位は最大 4 単位まで卒業に必要な単位として認める				

授業科目	分野	必要な単位数
副専攻科目	履修可能な副専攻について いは別に定める	20 単位までを卒業に必要な単位として認める

① 必修の学科科目は、経済学分野の(経済原論Ⅰ・経済学基礎演習Ⅰ・経済学基礎演習Ⅱ・演習Ⅰ—Ⅰ・演習Ⅰ—Ⅱ・演習Ⅱ—Ⅰ・演習Ⅱ—Ⅱ)16 単位を指定年次に修得すること。

② 選択 A の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、法学及び国際分野から、28 単位以上を修得すること。

③ 選択 A 及び選択 B の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、特殊講義、法学、経営学、資格・キャリア及び国際の分野から、合計 60 単位以上を修得すること。

④ 上記の必修、選択 A 及び選択 B の学科科目は、合計 76 単位以上修得すること。

⑤ 全履の新入生演習は、1 年次に全員履修すること。

⑥ 選択 C の基本科目は、12 単位以上を修得すること。

また、キャリアデザイン論は、1 年次に全員履修すること。

なお、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者の履修については別に定める。

⑦ 選択 C の外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうち、いずれか 1 の外国語 8 単位以上を第 1 年次及び第 2 年次に修得すること。

なお、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国語科目として日本語 8 単位を修得しなければならない。

⑧ 選択 C の体育科目は、2 単位以上を修得すること。

⑨ 選択 C の総合科目のうち、「追大 UI」科目については全てのの単位を、「追大プロジェクト科目」については最大 8 単位までを、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については、各分野各々最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

⑩ 副専攻科目は、修了要件単位を 20 単位とし、最大 20 単位を卒業に必要な単位として認める。

⑪ 卒業に必要な単位数は、124 単位以上とする。

(略)

第 17 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 外国語については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(再試験)

第26条 卒業見込者で別に定める要件を満たす学生に対しては、願い出によって再試験を行う。

(再試験の受験料)

第 27 条 再試験の受験者は、別に定める受験料を納めなければならない。

(以下条数繰り下げ)

【経済学部経済学科科目表】2011年度～2013年度入学生に適用

(1)経済学科

必修	16単位
選択A	28単位以上
選択B	選択A及び選択B合わせて60単位以上
卒業必要単位数	76単位以上

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ－1	2		3	
		演習Ⅰ－2	2		3	
		演習Ⅱ－1	2		4	
		演習Ⅱ－2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学		4	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
	経済政策	経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		比較公共政策1		2	2	
		比較公共政策2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		公共経済学		4	2	
		金融論		4	2	
		国際貿易論		4	2	
		産業社会関係論1		2	2	
		産業社会関係論2		2	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		地方財政論		4	3	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		社会保障		4	3	
	数理・情報	経済数学1		2	1	
		経済数学2		2	1	
		経済情報処理		4	2	
		経済シミュレーション		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		ソフトウェア論		4	2	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	
		国際事情		4	2	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	経済理論・経済史	社会思想史		4	1	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史1		2	2	
		経済学史2		2	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		オーストラリア経済論		4	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		国際労働経済論1		2	3	
		国際労働経済論2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	
	数理・情報	データ分析ソフトウェア		2	2	
		経済データ分析		2	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	3	
		経済学特殊講義2		2	3	
		経済学特殊講義3		2	3	
		経済学特殊講義4		2	3	
		経済学特殊講義5		2	3	
		経済学特殊講義6		2	3	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	
	法学	民法(総則)		2	2	
		民法(物権法)		2	2	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	法学	商法(総則・商行為)		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法1		2	3	
		労働法2		2	3	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		ビジネス英語1		2	2	
		ビジネス英語2		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		企業論1		2	2	
		企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
		貿易実務1		2	3	
		貿易実務2		2	3	
		国際取引論1		2	3	
		国際取引論2		2	3	
		貿易経営実務1		2	3	
		貿易経営実務2		2	3	
		国際経営論1		2	3	
		国際経営論2		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	
		国際表現演習		4	2	

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目
「比較公共政策1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策1」を履修することはできない。
「比較公共政策2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策2」を履修することはできない。
「産業社会関係論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論1」を履修することはできない。
「産業社会関係論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論2」を履修することはできない。
「国際労働経済論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学1」を履修することはできない。
「国際労働経済論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学2」を履修することはできない。

【経済学部ヒューマンエコノミー学科科目表】2011年度～2013年度入学生に適用

(2)ヒューマンエコノミー学科

必修	16単位
選択A	28単位以上
選択B	選択A及び選択B合わせて60単位以上
卒業必要単位数	76単位以上

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
必修	経済学	経済原論Ⅰ	4		1	16単位
		経済学基礎演習1	2		2	
		経済学基礎演習2	2		2	
		演習Ⅰ－1	2		3	
		演習Ⅰ－2	2		3	
		演習Ⅱ－1	2		4	
		演習Ⅱ－2	2		4	
選択A	経済理論・経済史	経済史1		2	1	28単位以上
		経済史2		2	1	
		社会思想史		4	1	
		経済原論Ⅱ		4	2	
		国際経済学1		2	2	
		国際経済学2		2	2	
		日本経済史1		2	2	
		日本経済史2		2	2	
		外国経済史1		2	2	
		外国経済史2		2	2	
		国際マクロ経済学1		2	2	
		国際マクロ経済学2		2	2	
		外書講読1		2	2	
		外書講読2		2	2	
		ミクロ経済学		4	3	
		マクロ経済学1		2	3	
		マクロ経済学2		2	3	
		経済変動論1		2	3	
		経済変動論2		2	3	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2	1	
		ヒューマンエコノミー概論2		2	1	
		経済政策		4	2	
		日本経済論1		2	2	
		日本経済論2		2	2	
		財政学1		2	2	
		財政学2		2	2	
		産業社会関係論1		2	2	
		産業社会関係論2		2	2	
		労使関係論1		2	2	
		労使関係論2		2	2	
		金融論		4	2	
		公共経済学		4	2	
		食料経済論1		2	2	
		食料経済論2		2	2	
		比較公共政策1		2	2	
		比較公共政策2		2	2	
		公共政策1		2	2	
		公共政策2		2	2	
		環境経済学1		2	2	
		環境経済学2		2	2	
		社会保障		4	3	
		地方財政論		4	3	
		労働経済学1		2	3	
		労働経済学2		2	3	
		地球環境論1		2	3	
		地球環境論2		2	3	
		産業組織論1		2	3	
		産業組織論2		2	3	
		福祉社会論1		2	3	
		福祉社会論2		2	3	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択A	数理・情報	経済情報処理		4	2	28単位以上
		経済シミュレーション		2	2	
		統計学総論1		2	2	
		統計学総論2		2	2	
		データ分析ソフトウェア		2	2	
		経済データ分析		2	2	
		ファイナンス論1		2	3	
		ファイナンス論2		2	3	
	法学	税法1		2	3	
		税法2		2	3	
		労働法1		2	3	
		労働法2		2	3	
	国際	国際コミュニケーション論		4	2	
		国際事情		4	2	
選択B	経済理論・経済史	経済学史1		2	2	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済学史2		2	2	
		計量経済学1		2	3	
		計量経済学2		2	3	
	経済政策	租税論		4	1	
		地域と暮らし1		2	1	
		地域と暮らし2		2	1	
		貿易政策1		2	2	
		貿易政策2		2	2	
		オーストラリア経済論		4	2	
		アメリカ経済論1		2	2	
		アメリカ経済論2		2	2	
		ヨーロッパ経済論1		2	2	
		ヨーロッパ経済論2		2	2	
		アジア経済論1		2	2	
		アジア経済論2		2	2	
		オーストラリア産業論1		2	2	
		オーストラリア産業論2		2	2	
		国際貿易論		4	2	
		国際経済政策1		2	2	
		国際経済政策2		2	2	
		地域開発論1		2	2	
		地域開発論2		2	2	
		アジア論1		2	2	
		アジア論2		2	2	
		国際金融論1		2	3	
		国際金融論2		2	3	
		開発経済学1		2	3	
		開発経済学2		2	3	
		経済体制論1		2	3	
		経済体制論2		2	3	
		経済地理1		2	3	
		経済地理2		2	3	
		国際労働経済論1		2	3	
		国際労働経済論2		2	3	
		グローバル人材の経済学1		2	3	
		グローバル人材の経済学2		2	3	

履修区分	分野	授業科目	単位数		配当年次	備 考
			必修	選択		
選択B	数理・情報	経済数学1		2	1	選択A及び選択B 合わせて60単位 以上
		経済数学2		2	1	
		ソフトウェア論		4	2	
		数理統計学		4	3	
		経済統計学1		2	3	
		経済統計学2		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ1		2	3	
		オペレーションズ・リサーチ2		2	3	
		意思決定論1		2	3	
		意思決定論2		2	3	
		経営情報論1		2	3	
		経営情報論2		2	3	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	2	
		経済学特殊講義2		2	2	
		経済学特殊講義3		2	2	
		経済学特殊講義4		2	2	
		経済学特殊講義5		2	2	
		経済学特殊講義6		2	2	
		経済学特殊講義7		2	2	
		経済学特殊講義8		2	2	
		経済学特殊講義9		2	2	
		経済学特殊講義10		2	2	
	法学	民法(総則)		2	2	
		民法(物権法)		2	2	
		商法(総則・商行為)		2	2	
		会社法1		2	2	
		市場競争法		2	2	
		行政法1		2	2	
		行政法2		2	2	
		社会保障法		2	3	
	経営学	入門簿記		2	1	
		初級簿記		2	1	
		国際ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		国際ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション1		2	2	
		中国語ビジネスコミュニケーション2		2	2	
		経営学概論1		2	2	
		経営学概論2		2	2	
		企業論1		2	2	
		企業論2		2	2	
		マーケティング論1		2	2	
		マーケティング論2		2	2	
		会計学原理1		2	2	
		会計学原理2		2	2	
		ERPビジネスプロセス1		2	3	
		ERPビジネスプロセス2		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習1		2	3	
		ERPビジネスプロセス演習2		2	3	
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2	2	
		教職ゼミⅡ		2	3	
	国際	国際特別演習		4	2	
		国際表現演習		4	2	

「国際コミュニケーション論」「国際事情」「国際特別演習」「国際表現演習」は大学が認めた留学生専用科目
「比較公共政策1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策1」を履修することはできない。
「比較公共政策2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「公共政策2」を履修することはできない。
「産業社会関係論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論1」を履修することはできない。
「産業社会関係論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「労使関係論2」を履修することはできない。
「国際労働経済論1」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学1」を履修することはできない。
「国際労働経済論2」(2013年度まで開講)を修得した場合、「グローバル人材の経済学2」を履修することはできない。

3. 副専攻

副専攻科目については、別に定める。

【経済学科履修細則一部変更】2008 年度～2013 年度入学生に適用

Ⅱ 共通科目

(略)

総合科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経済学部規程第 9 条の別表 1 に掲げられている総合科目は、「追大 U I 科目」については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については、最大 8 単位までを、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については、各分野各々最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。
- 2 学科共通履修細則の総合科目の項を参照すること。

Ⅲ 学科科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経済学部規程第 9 条の別表 I に掲げられている学科科目は、同第 10 条に定める履修方法にしたがって、次のとおり履修し、所定の単位を修得すること。
 - (1) 必修の学科科目は、経済学分野の（経済原論 I ・経済学基礎演習 1 ・経済学基礎演習 2 ・演習 I -1 ・演習 I -2 ・演習 II -1 ・演習 II -2）16 単位を指定年次に修得すること。
 - (2) 選択 A の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報及び国際分野の指定科目から、28 単位以上を修得すること。
 - (3) 選択 A 及び選択 B の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、特殊講義、法学、経営学、資格・キャリア及び国際の分野から、合計 60 単位以上を修得すること。
 - (4) 上記の必修（16 単位）及び選択 A ・B（60 単位）の学科科目は、合計 76 単位以上修得すること。

授業科目の区別

(略)

【ヒューマンエコノミー学科履修細則一部改正】2008～2013 年度入学生に適用

Ⅱ 共通科目

(略)

総合科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経済学部規程第 9 条の別表 1 に掲げられている総合科目は、「追大 U I 科目」については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については、最大 8 単位までを、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については、各分野各々最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。
- 2 学科共通履修細則の総合科目の項を参照すること。

Ⅲ 学科科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経済学部規程第 9 条の別表 I に掲げられている学科科目は、同第 10 条に定める履修方法にしたがって、次のとおり履修し、所定の単位を修得すること。
 - (1) 必修の学科科目は、経済学分野の（経済原論 I・経済学基礎演習 1・経済学基礎演習 2・演習 I-1・演習 I-2・演習 II-1・演習 II-2）16 単位を指定年次に修得すること。
 - (2) 選択 A の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、法学及び国際分野の指定科目から、28 単位以上を修得すること。
 - (3) 選択 A 及び選択 B の学科科目は、経済理論・経済史、経済政策、数理・情報、特殊講義、法学、経営学、資格・キャリア及び国際の分野から、合計 60 単位以上を修得すること。
 - (4) 上記の必修（16 単位）及び選択 A・B（60 単位）の学科科目は、合計 76 単位以上修得すること。

授業科目の区別

(略)

2013年度より変更があった部分

経済学部規程一部変更 2012－2005 年度入学生に適用

(学年及び学期)

第4条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

規程等

「経営学部関連規程等」

2018年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)

(入学)

第29条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

(略)

別表Ⅰ(第9条関係)

1 共通 科目

共通科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

(1) 経営学科

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
地域経済論	<u>アメリカ経済論</u>			<u>2</u>	2	
	アメリカ経済論1			2	2	
	アメリカ経済論2			2	2	
	<u>ヨーロッパ経済論</u>			<u>2</u>	2	
	ヨーロッパ経済論1			2	2	
	ヨーロッパ経済論2			2	2	
	<u>アジア経済論</u>			<u>2</u>	2	
	アジア経済論1			2	2	
	アジア経済論2			2	2	
	オーストラリア経済論			4	2	
	<u>オーストラリア経済論1</u>			<u>2</u>	2	
	<u>オーストラリア経済論2</u>			<u>2</u>	2	
	日本経済論1			2	2	
	日本経済論2			2	2	
	韓国の文化と社会1			2	2	
	韓国の文化と社会2			2	2	
	現代韓国事情			2	2	

(略)

(2) マーケティング学科

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
地域経済論	<u>アメリカ経済論</u>			<u>2</u>	2	
	アメリカ経済論1			2	2	
	アメリカ経済論2			2	2	
	<u>ヨーロッパ経済論</u>			<u>2</u>	2	
	ヨーロッパ経済論1			2	2	
	ヨーロッパ経済論2			2	2	
	<u>アジア経済論</u>			<u>2</u>	2	
	アジア経済論1			2	2	
	アジア経済論2			2	2	
	オーストラリア経済論			4	2	
	<u>オーストラリア経済論1</u>			<u>2</u>	2	
	<u>オーストラリア経済論2</u>			<u>2</u>	2	
	日本経済論1			2	2	
	日本経済論2			2	2	
	韓国の文化と社会1			2	2	
	韓国の文化と社会2			2	2	
	現代韓国事情			2	2	

(略)

【経営学科履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

経営学科履修細則

I 一般的事項

(略)

履修登録の方法

7 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。
(削る)

(3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。

(4) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。

(5) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。
(略)

【マーケティング学科履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

マーケティング学科履修細則

I 一般的事項

(略)

履修登録の方法

7 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。

(削る)

(3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。

(4) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。

(5) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

2017年度より変更があった部分

【経営学部規定一部変更】 2012年度入学生に適用

別表Ⅰ（第9条関係）

1 共通科目

共通科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

(1) 経営学科

分野	授業科目	単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
学科基礎A	(略)	(略)			(略)	(略)
学科基礎B	(略)	(略)			(略)	(略)
演習	(略)	(略)			(略)	(略)
経営学	(略)	(略)			(略)	(略)
	意思決定論 2			2	2	
	意思決定論			2	3	
	リスク・マネジメント 1			2	3	
	リスク・マネジメント論 1			2	3	
	リスク・マネジメント 2			2	3	
	リスク・マネジメント論 2			2	3	
会計学	(略)	(略)			(略)	
	経営分析論 1			2	3	
	経営分析論			2	3	
	経営分析論 2			2	3	
	企業価値評価論			2	3	
	監査論 1			2	3	
	国際会計学 1			2	3	
	国際会計学 2			2	3	
	国際会計論			2	3	
	(略)	(略)			(略)	
(略)	(略)	(略)			(略)	
国際マーケティング	国際経営論 1			2	2	30 単位まで卒業に必要な単位として認める
	国際経営論 2			2	2	
	国際経営論			2	2	
	国際マーケティング論 1			2	3	
	(略)	(略)			(略)	
	BRICs 経営論 1			2	3	
	BRICs 企業論 1			2	3	
	BRICs 経営論 2			2	3	

情報マーケティング	BRICs 企業論 2			2	3
	多国籍企業論 1			2	3
	(略)	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	NPO マネジメント			2	3
	CSR 経営論			2	3
	情報と職業			2	2
起業マーケティング	(略)	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	医療・福祉ビジネス論 1			2	3
	サービスマーケティング論			2	3
	医療・福祉ビジネス論 2			2	3
ビジネス心理	医療マーケティング論			2	3
	(略)	(略)			(略)
	消費行動研究論 1			2	2
	消費行動研究論 2			2	2
	ビジネス心理実習 2			4	2
	リーダーシップ論			2	2
	リスクコミュニケーション論 1			2	3
	リスクコミュニケーション論			2	3
	リスクコミュニケーション論 2			2	3
	コミュニティ心理学			2	3
	(略)	(略)			(略)
	ビジネス心理研究法演習 1			2	3
	ビジネス心理研究法演習 2			2	3
	ビジネス心理実習 1			4	3
マーケティング特殊講義	(略)	(略)			(略)
(略)	(略)	(略)			(略)

(2) マーケティング学科

分野	授業科目	(略) 単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
学科基礎 A	(略)	(略)			(略)	(略)
学科基礎 B	(略)	(略)			(略)	(略)
演習	(略)	(略)			(略)	(略)
国際マーケティング	国際経営論 1			2	2	選択必修及び選択の分野を合わせて 48 単位以上
	国際経営論 2			2	2	
	国際経営論			2	2	
	異文化間コミュニケーション 1			2	2	
	(略)	(略)			(略)	

	BRICs 経営論 1			2	3	
	BRICs 企業論 1			2	3	
	BRICs 経営論 2			2	3	
	BRICs 企業論 2			2	3	
	多国籍企業論 1			2	3	
	(略)	(略)		(略)		
情報マーケティング	(略)	(略)		(略)		
	NPO マネジメント			2	3	
	CSR 経営論			2	3	
	情報と職業			2	2	
	(略)	(略)		(略)		
起業マーケティング	(略)	(略)		(略)		
	医療・福祉ビジネス論 1			2	3	
	サービスマーケティング論			2	3	
	医療・福祉ビジネス論 1			2	3	
	医療マーケティング論			2	3	
ビジネス心理	(略)	(略)		(略)		
	消費行動研究論 1			2	2	
	消費行動研究論 2			2	2	
	ビジネス心理実習 2			4	2	
	リーダーシップ論			2	2	
	リスクコミュニケーション論 1			2	3	
	リスクコミュニケーション論			2	3	
	リスクコミュニケーション論 2			2	3	
	コミュニティ心理学			2	3	
	(略)	(略)		(略)		
	ビジネス心理研究法演習 1			2	3	
	ビジネス心理研究法演習 2			2	3	
	ビジネス心理実習 1			4	3	
マーケティング特殊講義	(略)	(略)		(略)		
(略)	(略)	(略)		(略)		
経営学	(略)	(略)		(略)		(略)
	意思決定論 2			2	2	
	意思決定論			2	3	
	リスク・マネジメント 1			2	3	
	リスク・マネジメント論 1			2	3	
	リスク・マネジメント 2			2	3	
	リスク・マネジメント論 2			2	3	

会計学	(略)	(略)		(略)
	経営分析論 1		2	3
	経営分析論		<u>2</u>	<u>3</u>
	経営分析論 2		2	3
	企業価値評価論		<u>2</u>	<u>3</u>
	監査論 1		2	3
	国際会計学 1		2	3
	国際会計学 2		2	3
	国際会計論		<u>2</u>	<u>3</u>
	(略)	(略)		(略)
(略)	(略)	(略)		(略)

【経営学科履修細則一部変更】 2012 年度入学生に適用

I 一般的事項

発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

① (略)

② (略)

卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年 次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
学 期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2. 00～2. 49	2. 50～2. 99	3. 00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)

【マーケティング学科履修細則一部変更】 2012 年度入学生に適用

I 一般的事項

発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

① (略)

② (略)

卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年 次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
学 期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)

第3条 本学部の各学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
経営学科	<u>220</u> 名	7名	<u>894</u> 名
マーケティング学科	<u>220</u> 名	6名	<u>892</u> 名
計	<u>440</u> 名	13名	<u>1,786</u> 名

(略)

第32条 本大学の第3年次へ編入学又は他大学から本大学に転学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とし、選考の上、これを許可する。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

2

(略)

(略)

別表Ⅰ（第9条関係）

1 共通科目

（略）

(5) 総合科目

分類	授業科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
追大UI科目	学び論		2	1	
	追手門UI論		2	1	
	笑学入門		2	1	
	北摂を学ぶ		2	1	
	(略)				
追大プロジェクト科目	(略)				(略)
	経営力インターンシップ2		2	2・3	
	キャリア数学1		2	2	
	キャリア数学2		2	2	
	文章論演習		2	2	
	キャリア英語		2	2	
	社会科学概論1		2	2	
	キャリア形成論1		2	2	
スポーツキャリア科目	(略)				(略)
国際交流科目	(略)				(略)
(略)					

2 学科科目

(1) 経営学科

（略）

分野	授業科目	単位数			配 当 年 次	備考
		必修	選択 必修	選択		
学科基礎 A	(略)					
学科基礎 B	経営管理論 1		2		2	1・2 セットで 8 単位以上(経営倫 理・経営組織(経 営組織論)で 1 セ ット、民法(総 則)・民法(物権 法)で 1 セット、 商法(総則・商行 為)・会社法 1 で 1 セットとする)
	(略)					
	経営組織		2		2	
	経営組織論		2		2	
	会計学原理 1		2		2	
	(略)					
演習	(略)					
経営学	(略)					(略)

		企業論 2			2	2		
		現代企業論 1			2	2		
		現代企業論 2			2	2		
		マーケティング論 1			2	2		
		(略)						
会計学		(略)						
法学		(略)						
		行政法 2			2	2		
		行政法			2	2		
		会社法 2			2	2		
		(略)						
		労働法 2			2	3		
		労働法			2	2		
		社会保障法			2	3		
		(略)						
		(略)						
経営外国語		経営実務英語 2			2	2		
		ビジネスコミュニケーション 1			2	2		
		ビジネスコミュニケーション 2			2	2		
		経営外国文献講読 1			2	2		
		(略)						
		(略)						
経営特殊講義		(略)						
経済学								
国際マーケティング		(略)					(略)	
情報マーケティング		(略)						
起業マーケティング		(略)						
		ベンチャービジネス論 2			2	2		
		ベンチャー経営論			2	2		
		中小企業経営論 1			2	2		
		(略)						
ビジネス心理		(略)						
		産業心理学概論 2			2	1		
		ビジネス心理基礎 1			2	2		
		ビジネス心理基礎 2			2	2		
		心理解析法 1			2	2		
		心理解析法 2			2	2		
		ビジネス心理統計解析 1			2	2		
		ビジネス心理統計解析 2			2	2		
		消費行動研究論 1			2	2		
		(略)						
		産業組織心理学 2			2	3		

	<u>ブランディングの心理学</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	<u>コミュニケーションの科学</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	消費者心理学 1			2	3	
	消費者心理学 2			2	3	
	<u>経営における心理学 1</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	<u>経営における心理学 2</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	広告心理学			2	3	
	(略)					
マーケティング特殊講義	(略)					
地域経済論	(略)					
資格・キャリア関連	(略)					

(2) マーケティング学科

(略)

分野	授業科目	単位数			配 当 年 次	備考
		必修	選択 必修	選択 択		
学科基礎 A	(略)					
学科基礎 B	(略)					1・2セットで8単位以上（経営倫理・経営組織（経営組織論）で1セット、心理解析法1（ビジネス心理統計解析 1）・心理解析法 2（ビジネス心理統計解析 2）で1セットとする）
	産業心理学概論 2		2		1	
	<u>ビジネス心理基礎 1</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	<u>ビジネス心理基礎 2</u>			<u>2</u>	<u>2</u>	
	経営数学 1		2		2	
	(略)					
	経営組織		2		2	
	経営組織論		<u>2</u>		<u>2</u>	
	マーケティング論 1		2		2	
	(略)					
	心理解析法 2		2		2	
	<u>ビジネス心理統計解析 1</u>		<u>2</u>		<u>2</u>	
<u>ビジネス心理統計解析 2</u>		<u>2</u>		<u>2</u>		
演習	(略)					
国際マーケティング	(略)					(略)
情報マーケティング	(略)					
企業マーケティング	(略)					
	ベンチャービジネス論 2			2	2	
	<u>ベンチャー経営論</u>			2	2	
	中小企業経営論 1			2	2	
	(略)					

ビジネス心理	(略)				
	産業組織心理学 2			2	3
	<u>ブランディングの心理学</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	<u>コミュニケーションの科学</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	消費者心理学 1			2	3
	消費者心理学 2			2	3
	<u>経営における心理学 1</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	<u>経営における心理学 2</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	広告心理学			2	3
	(略)				
マーケティング特殊講義	(略)				
経営外国語	(略)				
	経営実務英語 2			2	2
	<u>ビジネスコミュニケーション 1</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	<u>ビジネスコミュニケーション 2</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	経営外国文献講読 1			2	2
	(略)				
地域経済論	(略)				
経営学	(略)				
	企業論 2			2	2
	<u>現代企業論 1</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	<u>現代企業論 2</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	経営統計			2	2
	(略)				
会計学	(略)				
法学	(略)				
	行政法 2			2	2
	<u>行政法</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	会社法 2			2	2
	(略)				
	労働法 2			2	2
	<u>労働法</u>			<u>2</u>	<u>2</u>
	社会保障法			2	2
	(略)				
	(略)				
経営特殊講義	(略)				
経済学	(略)				
資格・キャリア関連	(略)				

2015年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】2008～2014年度入学生に適用

第30条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

第34条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

第58条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

別表Ⅰ（第9条関係）

1 共通科目

(略)

2 学科科目

(1) 経営学科

(略)

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
資格・キャリア 関連	ビジネスマナー 1			1	1	
	ビジネスマナー 2			1	1	
	教職ゼミ I			2	2	
	教職ゼミ II			2	3	
(略)						

(2) マーケティング学科

(略)

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
資格・キャリア 関連	ビジネスマナー 1			1	1	
	ビジネスマナー 2			1	1	
	教職ゼミ I			2	2	
	教職ゼミ II			2	3	
(略)						

【経営学科履修細則一部変更】 2014年度以前入学生に適用

I 一般的事項

(略)

履修単位制限

6 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、上記の制限を受けない。

また、資格取得に関する授業科目等のうち、卒業要件とならない授業科目の単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習1

インターンシップ実習2

インターンシップ実習3

インターンシップ実習4

リーダーズプログラム1

リーダーズプログラム2

リーダーズプログラム3

リーダーズプログラム4

リーダーズプログラム5

リーダーズプログラム6

リーダーズプログラム7

リーダーズプログラム8

リーダーズプログラム9

リーダーズプログラム10

リーダーズプログラム11

スポーツフィールド実習Ⅰ

スポーツフィールド実習Ⅱ

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

【マーケティング学科履修細則一部変更】 2014年度以前入学生に適用

I 一般的事項

(略)

履修単位制限

6 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、上記の制限を受けない。

また、資格取得に関する授業科目等のうち、卒業要件とならない授業科目の単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習1

インターンシップ実習2

インターンシップ実習3

インターンシップ実習4

リーダーズプログラム1

リーダーズプログラム2

リーダーズプログラム3

リーダーズプログラム4

リーダーズプログラム5

リーダーズプログラム6

リーダーズプログラム7

リーダーズプログラム8

リーダーズプログラム9

リーダーズプログラム10

リーダーズプログラム11

スポーツフィールド実習Ⅰ

スポーツフィールド実習Ⅱ

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

2014年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】2013～2008 年度生に適用

第10条 本学部における授業科目の履修については次のとおりとする。

経営学科

(略)

副専攻

(略)

⑧選択の総合科目は、「追大UI科目」については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については最大8単位まで、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については各々最大4単位を卒業に必要な単位として認める。

(略)

マーケティング学科

(略)

副専攻

(略)

⑧選択の総合科目は、「追大UI科目」については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については最大8単位まで、「国際交流科目」「放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合」及び「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合」については各々最大4単位を卒業に必要な単位として認める。

(略)

(単位の計算)

第17条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目には45時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 外国語については、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

2 前項に規定する授業は文部科学大臣が別に定めるところにより、多彩なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(再試験)

第26条 卒業見込者で別に定める要件を満たす学生に対しては、願い出によって再試験を行う。

(再試験の受験料)

第27条 再試験の受験者は、別に定める受験料を納めなければならない。

(卒業及び学位)

第28条

(略)

(以下、条数を繰り下げ。)

【経営学部規程 別表Ⅰ（第9条関係）一部変更】2013～2007年度生に適用

1 共通科目

(略)

2 学科科目

(1) 経営学科

必修	28単位
選択必修	8単位以上
選択	選択必修を合わせて48単位以上
卒業必要単位数	76単位以上

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
経営外国語	経営実務英語 1			2	2	大学が認めた留学生 生専用科目
	経営実務英語 2			2	2	
	経営外国文献講読 1			2	2	
	経営外国文献講読 2			2	2	
	国際共同演習 1			4	2	
	国際共同演習 2			4	2	
	経営実務英語 3			2	3	
	経営実務英語 4			2	3	
	国際コミュニケーション論			4	2	
	国際特別演習			4	2	
	国際事情			4	2	
	国際表現演習			4	2	
(略)						
地域経済論	アメリカ経済論 1			2	2	
	アメリカ経済論 2			2	2	
	ヨーロッパ経済論 1			2	2	
	ヨーロッパ経済論 2			2	2	
	アジア経済論 1			2	2	
	アジア経済論 2			2	2	
	オーストラリア経済論			4	2	
	オーストラリア産業論 1			2	2	
	オーストラリア産業論 2			2	2	
	日本経済論 1			2	2	
	日本経済論 2			2	2	
	韓国の文化と社会 1			2	2	
	韓国の文化と社会 2			2	2	
	現代韓国事情			2	2	
資格・キャリア 関連	教職ゼミⅠ			2	2	
	教職ゼミⅡ			2	3	

(2) マーケティング学科

必修	28 単位
選択必修	8 単位以上
選択	選択必修を合わせて 48 単位以上
卒業必要単位数	76 単位以上

分野	授業科目	単位数			配当 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
(略)						
経営外国語	経営実務英語 1			2	2	大学が認めた留学 生専用科目
	経営実務英語 2			2	2	
	経営外国文献講読 1			2	2	
	経営外国文献講読 2			2	2	
	国際共同演習 1			4	2	
	国際共同演習 2			4	2	
	経営実務英語 3			2	3	
	経営実務英語 4			2	3	
	国際コミュニケーション論			4	2	
	国際特別演習			4	2	
	国際事情			4	2	
	国際表現演習			4	2	
(略)						
経済学	経済原論 1			2	1	
	経済原論 2			2	1	
	経済政策 1			2	2	
	経済政策 2			2	2	
	国際経済学 1			2	2	
	国際経済学 2			2	2	
	財政学 1			2	2	
	財政学 2			2	2	
資格・キャリア 関連	教職ゼミⅠ			2	2	
	教職ゼミⅡ			2	3	

【経営学科履修細則一部変更】2013 年～2007 年度生に適用

Ⅲ 学科科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経営学部規程第9条の別表Ⅰに掲げられている学科科目は、同第10条に定める履修方法にしたがって、次のとおり履修し、所定の単位を修得すること。

(略)

- ④選択の学科科目のうち、国際マーケティング、情報マーケティング、起業マーケティング、ビジネス心理、マーケティング特殊講義、地域経済論及び資格・キャリア関連の分野については、合わせて30単位までを卒業に必要な単位として認める。

【マーケティング学科履修細則一部変更】2013 年～2007 年度生に適用

Ⅲ 学科科目

履修及び単位の修得方法

- 1 経営学部規程第9条の別表Ⅰに掲げられている学科科目は、同第10条に定める履修方法にしたがって、次のとおり履修し、所定の単位を修得すること。

(略)

- ④選択の学科科目のうち、経営学、会計学、法学、経営特殊講義、経済学及び資格・キャリア関連の分野については、合わせて30単位までを卒業に必要な単位として認める。

2013年度より変更があった部分

経営学部規程一部変更 2012－2006 年度入学生に適用

(学年及び学期)

第4条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

規程等

「心理学部関連規程等」

2018年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】2012年度～2014年度入学生に適用

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	研究	特論演習	2					○	○	6単位
			卒業研究	1	2					○	
			卒業研究	2	2					○	
選択	科目	論文	卒業論文			4				○	
(略)											
選	学	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	2単位以上
			心理学総合科目1		2			○	○	○	
			心理学総合科目2		2			○	○	○	
			心理学総合科目		2			○	○	○	
		学一般科目	心理学概論1		2		○	○	○	○	14単位以上
			倫理学概論1		2			○	○	○	
			倫理学概論2		2			○	○	○	
			心理学の歴史		2				○	○	
		認知・脳科学系概論科目	心理学体系論		2				○	○	
			認知・脳科学入門		2		○	○	○	○	
			認知・脳科学概論		2		○	○	○	○	
			感覚・認知心理学		2			○	○	○	
		生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	認知・心理学		2			○	○	○	
			生理心理学		2			○	○	○	
			神経・生理心理学		2			○	○	○	
			生物行動学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	認知神経心理学		2				○	○	
			感情心理学		2				○	○	
			環境心理学		2				○	○	
			社会認知神経科学		2				○	○	
		生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○	
			生涯発達・生涯教育心理学概論		2		○	○	○	○	
			生涯発達心理学		2			○	○	○	
			発達心理学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	教育心理学		2			○	○	○	
			子ども学		2			○	○	○	
			カウンセリング心理学		2			○	○	○	
			家族心理学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	比較心理学		2			○	○	○	
			言語発達心理学		2				○	○	
			学習・言語心理学		2				○	○	
			学校心理学		2				○	○	
		臨床心理学系概論科目	教育・学校心理学		2				○	○	
			キャリアガイダンス		2				○	○	
			実験発達心理学		2				○	○	
			臨床心理学入門		2		○	○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	臨床心理学概論		2		○	○	○	○	
			臨床心理学基礎論		2			○	○	○	
			心理学的支援法		2			○	○	○	
			パーソナリティ心理学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	感情・人格心理学		2			○	○	○	
			生育史心理学		2			○	○	○	
			精神分析学		2			○	○	○	
			精神医学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	精神疾患とその治療		2			○	○	○	
			心理療		2			○	○	○	
			発達障害論		2				○	○	
			障害者・障害児心理学		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	障害福祉心理学		2			○	○	○	
			介護心理学		2			○	○	○	
			遊戯療法論		2			○	○	○	
			認知行動療法論		2			○	○	○	
		臨床心理学系概論科目	メンタルヘルス論		2			○	○	○	
			健康・医療心理学		2			○	○	○	
			心理検査学		2				○	○	
			心理検査法		2				○	○	
		臨床心理学系概論科目	心理的アセスメント		2			○	○	○	

必修	科目	社会・犯罪系概論科	社会・犯罪心理学入門		2		○	○	○	○	
			社会・犯罪心理学概論		2		○	○	○	○	
			社会心理学		2			○	○	○	
			文化心理学		2			○	○	○	
			犯罪心理学		2			○	○	○	
			司法・犯罪心理学		2			○	○	○	
			対人行動論		2			○	○	○	
			集団力学		2			○	○	○	
		産業・組織心理学		2			○	○	○		
		(略)									
		演習系	感覚心理学演習		2			○	○	○	2単位以上
			認知心理学演習		2			○	○	○	
			認知神経心理学演習		2			○	○	○	
			行動論演習		2			○	○	○	
			生涯発達心理学演習		2			○	○	○	
			生涯教育心理学演習		2			○	○	○	
			臨床心理面接演習1		2			○	○	○	
			臨床心理面接演習2		2			○	○	○	
	臨床心理査定演習			2			○	○	○		
	社会心理学演習			2			○	○	○		
	犯罪心理学演習		2			○	○	○			
	集団力学演習		2			○	○	○			
	実践演習	心理現場へのインターンシップ		2				○	○	2単位以上	
		心理実践インターンシップ1		2				○	○		
		心理実習1		2				○	○		
		心理実践インターンシップ2		2				○	○		
		心理実習2		2				○	○		
		メンタルケア演習		2				○	○		
		チャイルドサポート演習		2				○	○		
	ビジネスリサーチ演習		2				○	○			
	研究法・技法	心理統計法1		2			○	○	○	○	6単位以上
		心理学統計法1		2			○	○	○	○	
		心理統計法2※1		2			○	○	○	○	
		心理学統計法2※2		2			○	○	○	○	
		レポート・論文の書き方		2				○	○	○	
		プレゼンテーション法		2				○	○	○	
		心理測定法		2				○	○	○	
		心理学的データ解析		2				○	○	○	
		心理学研究方法		2				○	○	○	
		面接調査法		2				○	○	○	
		質問紙調査法		2				○	○	○	
		実験心理学演習1		2				○	○	○	
		実験心理学演習2		2				○	○	○	
		心理検査法演習1		2					○	○	
		心理検査法演習2		2					○	○	
		心理療法演習1		2					○	○	
		心理療法演習2		2					○	○	
		心理療法演習3		2					○	○	
		心理療法演習4		2					○	○	
		心理療法演習5		2					○	○	
	心理療法演習6		2					○	○		
	心理療法演習7		2					○	○		
(略)											

※1 「心理統計法 2」は、「心理統計法 1」を修得した者が履修できる。

※2 「心理学統計法 2」は、「心理学統計法 1」を修得した者が履修できる。

2017年度より変更があった部分

別表Ⅰ 心理学科開講科目表											
(略)											
履修区分	科目	授業科目	単位			配当年次				要件	
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
選 択 必 修	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	2単位以上	
		心理学総合科目1		2			○	○	○		
		心理学総合科目2		2			○	○	○		
		心理学総合科目		2			○	○	○		
		心理学概論1		2		○	○	○	○		
	(略)										
	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○	14単位以上	
		生涯発達心理学		2			○	○	○		
		教 育 心 理 学		2			○	○	○		
		こども学		2			○	○	○		
		カウンセリング心理学		2			○	○	○		
		家族心理学		2			○	○	○		
		比較心理学		2			○	○	○		
		言語発達心理学		2				○	○		
		学校心理学		2				○	○		
		キャリアガイダンス		2				○	○		
		実験発達心理学		2				○	○		
	(略)										
	演習	感覚心理学演習		2			○	○	○	2単位以上	
		認知心理学演習		2				○	○		
		認知神経心理学演習		2				○	○		
		行動論演習		2			○	○	○		
		生涯発達心理学演習		2			○	○	○		
		生涯教育心理学演習		2			○	○	○		
		臨床心理面接演習1		2			○	○	○		
		臨床心理面接演習2		2				○	○		
		臨床心理査定演習		2			○	○	○		
		社会心理学演習		2			○	○	○		
	実習	犯罪心理学演習		2			○	○	○	2単位以上	
		集団力学演習		2			○	○	○		
	(略)										
	講読	初級心理学外書講読		2		○	○	○	○	2単位以上	
		中級心理学外書講読		2			○	○	○		
		感覚心理学講読		2		○	○	○	○		
		認知心理学講読		2				○	○		
		認知神経心理学講読		2		○	○	○	○		
		生涯発達心理学講読		2		○	○	○	○		
		生涯教育心理学講読		2				○	○		
		発達心理学講読		2				○	○		
		臨床心理基礎論講読		2		○	○	○	○		

【心理学科履修細則一部変更】2012年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

第10条 学科科目は、必修科目及び選択科目(選択必修科目、選択科目)に分ける。なお、心理学の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
心理学科	66 単位

2 各学科における学科科目及び単位数は、別表Ⅰのとおりとする。

別表Ⅰ 心理学部心理学科開講科目表

履修区分		科目	授 業 科 目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	研究	特 論 演 習	2					○		6 単位
			卒 業 研 究 1	2						○	
			卒 業 研 究 2	2						○	
選択	学科科目	論文	卒 業 論 文			4				○	
全員履修			新 入 生 演 習			2	○				
選択必修	共通科目	基本科目	心理学履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。								学科履修細則及び学科共通履修細則参照
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。								学科共通履修細則参照
		体育科目	2単位以上を修得すること。								
選択	学	総合科目	心 理 学 の 総 合 的 理 解		2		○	○	○	○	2単位以上
			心 理 学 総 合 科 目 1		2			○	○	○	
			心 理 学 総 合 科 目 2		2			○	○	○	
選択	学	一般概論心理学系	人 間 学 基 礎 論		2			○	○	○	14単位以上
			倫 理 学 概 論 1		2			○	○	○	
			倫 理 学 概 論 2		2			○	○	○	
選択	学	知・脳科学系	心 理 学 の 歴 史		2				○	○	
			心 理 学 体 系 論		2				○	○	
			ジ ェ ン ダ ー の 人 間 学		2				○	○	
選択	学	知・脳科学系	認 知 ・ 脳 科 学 入 門		2		○	○	○	○	
			感 覚 心 理 学		2			○	○	○	
			認 知 心 理 学		2			○	○	○	
選択	学	知・脳科学系	生 理 心 理 学		2			○	○	○	
			生 物 行 動 学		2			○	○	○	
			認 知 神 経 心 理 学		2				○	○	
選択	学	知・脳科学系	感 情 心 理 学		2				○	○	
			環 境 心 理 学		2				○	○	
			社 会 認 知 神 経 科 学		2				○	○	
必修	科	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○	14単位以上
			生涯発達心理学		2			○	○	○	
			教 育 心 理 学		2			○	○	○	
必修	科	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	子 ど も 学		2			○	○	○	
			カ ウ ン セ リ ン グ 心 理 学		2			○	○	○	
			家 族 心 理 学		2			○	○	○	
必修	科	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	言 語 発 達 心 理 学		2				○	○	
			学 校 心 理 学		2				○	○	
			キ ャ リ ア ガ イ ダ ン ス		2				○	○	
必修	科	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	実 験 発 達 心 理 学		2				○	○	
			臨 床 心 理 学 入 門		2		○	○	○	○	
			臨 床 心 理 学 基 礎 論		2			○	○	○	
必修	目	臨床心理学系概論科目	パ ー ソ ナ リ テ ィ 心 理 学		2			○	○	○	
			生 育 史 心 理 学		2			○	○	○	
			精 神 分 析 学		2			○	○	○	
必修	目	臨床心理学系概論科目	精 神 医 学		2			○	○	○	
			心 理 療 法		2			○	○	○	
			発 達 障 害 論		2			○	○	○	
必修	目	臨床心理学系概論科目	障 害 福 祉 心 理 学		2			○	○	○	
			介 護 心 理 学		2			○	○	○	
			遊 戯 療 法 論		2			○	○	○	
必修	目	臨床心理学系概論科目	認 知 行 動 療 法 論		2			○	○	○	
			メ ン タ ル ヘ ル ス 論		2			○	○	○	
			心 理 検 査 学		2				○	○	
必修	目	臨床心理学系概論科目	心 理 検 査 法		2			○	○	○	

選 択 必 修	学 科	講 義	初級心理学外書講読	2		○	○	○	○	2単位以上			
			中級心理学外書講読	2			○	○	○		○		
			感覚心理学講読	2			○	○	○		○		
			認知心理学講読	2					○		○		
			認知神経心理学講読	2			○	○	○		○		
			生涯発達心理学講読	2			○	○	○		○		
			生涯教育心理学講読	2					○		○		
			臨床心理基礎論講読	2			○	○	○		○		
			臨床心理面接講読	2			○	○	○		○		
			心理療法学講読	2					○		○		
			臨床心理技法講読	2					○		○		
			臨床心理学講読	2					○		○		
			社会心理学講読	2					○		○		
			犯罪心理学講読	2			○	○	○		○		
			修 目	留 学	国際コミュニケーション論	4			○		○	○	大学が認めた留学生は、最大16単位までを卒業に必要な単位として認める
					国際特別演習	4			○		○	○	
国際事情	4					○	○	○					
国際表現演習	4					○	○	○					
上記の学科科目の中から6 6 単位以上													
選 択	学 科	関 連 科 目	教職ゼミⅠ			2		○	○	○	2単位以上		
			教職ゼミⅡ			2			○	○			
			現代文化論			2			○	○			
			現代社会論			2			○	○			
			歴史社会学			2			○	○			
			メディア文化論			2		○	○	○			
			メディア環境論			2			○	○			
			支配と抵抗の社会学			2			○	○			
			宗教文化論			2		○	○	○			
			サブカルチャー論			2		○	○	○			
			コミュニケーション論			2	○	○	○	○			
			コミュニケーションの社会学			2		○	○	○			
			スポーツ社会学			2		○	○	○			
			社会学史			2			○	○			
			社会学理論			2			○	○			
			家族文化論			2		○	○	○			
			家族社会学			2		○	○	○			
			ジェンダーの社会学			2			○	○			
			環境倫理学			2		○	○	○			
			都市文化論			2			○	○			
			文化人類学			2			○	○			
			基礎生態学			2			○	○			
			生態・環境論			2			○	○			
			人間関係論			2		○	○	○			
			社会福祉概論1			2		○	○	○			
			社会福祉概論2			2		○	○	○			
			老人福祉論			2			○	○			
			障害福祉学			2		○	○	○			
			児童福祉論			2			○	○			
			地域福祉論			2		○	○	○			
			現代文化の諸相			2	○	○	○	○			
			モードとスタイル			2	○	○	○	○			
			映像文化論			2		○	○	○			
			路上観察学			2		○	○	○			
			消費文化論			2		○	○	○			
			ポップカルチャー			2		○	○	○			
アート環境論			2			○	○						
ライフスタイル論			2		○	○	○						
逸脱論			2		○	○	○						
ライフコース論			2		○	○	○						
身体文化論			2			○	○						
エイジングの社会学			2			○	○						
仕事と遊びの社会学			2			○	○						
学校の社会学			2		○	○	○						
福祉文化論			2		○	○	○						
組織論			2			○	○						
ソーシャルワーク論			2			○	○						
ERPビジネスプロセス1			2			○	○						
ERPビジネスプロセス2			2			○	○						
ERPビジネスプロセス演習1			2			○	○						
ERPビジネスプロセス演習2			2			○	○						
選 択	共 通 科 目	総合科目	基本科目(選択必修科目とする科目を除く)								学科共通履修細則参照		
			外国語科目(選択必修科目とする科目を除く)										
			体育科目(選択必修科目とする科目を除く)										
			追大UI科目は全ての単位を、追大プロジェクト科目は最大8単位までを、国際交流科目は最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合については、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。										

【心理学科履修細則一部変更】 2014年度以前入学生に適用

((略))

Ⅱ 共通科目

1 新入生演習

- 1) 新入生演習は、1年生全員が履修するものとする。修得した単位は卒業要件単位として認める。
- 2) 学科共通履修細則の新入生演習の項を参照すること。

((略))

Ⅲ 学科科目

- 1) 心理学科における学科科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分かれる。また、学科科目には、学年指定のある科目があるので、心理学部規程を参照し、所定の方法により単位を修得しなければならない。

((略))

- 3) 選択科目については、心理学部規程を参照すること。また、心理学科が開設する学科科目のうち、最低修得単位数（66単位）を超えて修得した科目の単位は、卒業要件単位として認める。

((略))

2015年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】 2008～2014 年度入学生に適用

(授業科目及び履修方法)

(略)

第 9 条

(略)

3 共通科目のうち、外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語あるいは中国語のうちから、4 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生、及び帰国生徒のうち指定された者は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。

(略)

(科目修了の認定)

第 19 条 科目修了の認定は、試験によるほか、平素の成績を考慮して行う。

(略)

(入学)

(略)

第 28 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(退学)

(略)

第 38 条 前条により退学した者又は除籍された者が同一の学科に再入学を願い出た時は、退学又は除籍後 2 年以内に限り、選考の上、許可することがある。ただし、学則第 66 条第 1 号の規定により除籍された者は、再入学を許可しない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

【心理学科履修細則一部変更】2008～2013年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目についてもこの制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、卒業論文は春学期の履修制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1
インターンシップ実習 2
インターンシップ実習 3
インターンシップ実習 4
リーダーズプログラム 1
リーダーズプログラム 2
リーダーズプログラム 3
リーダーズプログラム 4
リーダーズプログラム 5
リーダーズプログラム 6
リーダーズプログラム 7
リーダーズプログラム 8
リーダーズプログラム 9
リーダーズプログラム 10
リーダーズプログラム 11
交換留学インド
交換留学オーストラリア
交換留学アメリカ
交換留学中国
交換留学タイ
交換留学イギリス
交換留学韓国
交換留学オランダ
交換留学ドイツ
交換留学台湾
交換留学スペイン
海外セミナー
短期海外セミナー
国際現地研修
海外インターンシップ

(略)

II 共通科目

(略)

2 基本科目

1) 基本科目は、16 単位以上を修得しなければならない。

なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、日本事情 1・2・3・4 を含めて 16 単位以上を修得しなければならない。

(略)

3 外国語科目

- 1) 外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語及び中国語の中から、4 単位以上を修得しなければならない。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。

(略)

5 総合科目

- 1) 総合科目のうち、追大 UI 科目については全ての単位を、追大プロジェクト科目については最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目については、全ての単位を、国際交流科目については最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。
- 2) 学科共通履修細則の総合科目の項を参照すること。

(略)

【心理学部心理学科科目表】 2012年度入学生に適用

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件	
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	学科科目	研究	特論演習	2					○		6単位	
			卒業研究	1	2					○		
			卒業研究	2	2					○		
選択		論文	卒業論文			4				○		
全員履修			新入生演習			2	○					
選択必修	共通科目	基本科目	心理学科履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。									学科履修細則及び学科共通履修細則参照
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。									学科共通履修細則参照
		体育科目	2単位以上を修得すること。									
選択必修	学科科目	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	2単位以上	
			心理学総合科目1		2			○	○	○		
			心理学総合科目2		2			○	○	○		
		一般概論心理学系	人間学基礎論		2			○	○	○	14単位以上	
			倫理学概論1		2			○	○	○		
			倫理学概論2		2			○	○	○		
			心理学の歴史		2				○	○		
			心理学体系論		2				○	○		
			ジェンダーの人間学		2				○	○		
		知・脳科学系	認知・脳科学入門		2		○	○	○	○		
			感覚心理学		2			○	○	○		
			認知心理学		2			○	○	○		
			生理心理学		2			○	○	○		
			生物行動学		2			○	○	○		
			認知神経心理学		2				○	○		
			感情心理学		2				○	○		
			環境心理学		2				○	○		
			社会認知神経科学		2				○	○		
		生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○		
			生涯発達心理学		2			○	○	○		
			教育心理学		2			○	○	○		
			子ども学		2			○	○	○		
			カウンセリング心理学		2			○	○	○		
			家族心理学		2			○	○	○		
			言語発達心理学		2				○	○		
			学校心理学		2				○	○		
			キャリアガイダンス		2				○	○		
			実験発達心理学		2				○	○		
		臨床心理学系概論科目	臨床心理学入門		2		○	○	○	○		
			臨床心理学基礎論		2			○	○	○		
			パーソナリティ心理学		2			○	○	○		
			生育史心理学		2			○	○	○		
			精神分析学		2			○	○	○		
			精神医学		2			○	○	○		
			心理療法学		2			○	○	○		
			発達障害論		2			○	○	○		
			障害福祉心理学		2			○	○	○		
			介護心理学		2			○	○	○		
			遊戯療法学		2			○	○	○		
			メンタルヘルス論		2			○	○	○		
			心理検査学		2				○	○		
		社会概論犯罪系	社会・犯罪心理学入門		2		○	○	○	○		
			社会心理学		2			○	○	○		
			文化心理学		2			○	○	○		
			犯罪心理学		2			○	○	○		
			対人行動論		2			○	○	○		
			集団力		2			○	○	○		

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件	
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
選択必修	心理学	特講	感覚心理学特講		2				○	○	2単位以上	
			認知心理学特講		2				○	○		
			認知神経心理学特講		2				○	○		
			生涯発達心理学特講		2				○	○		
			生涯教育心理学特講		2				○	○		
			心理療法特講1		2				○	○		
			心理療法特講2		2				○	○		
			臨床心理面接特講1		2				○	○		
			臨床心理面接特講2		2				○	○		
			臨床心理査定特講1		2				○	○		
			臨床心理査定特講2		2				○	○		
			社会心理学特講		2				○	○		
			犯罪心理学特講		2				○	○		
		集団力学特講		2				○	○			
		ライフスタイル演習	ライフスタイル演習1		2			○				
	ライフスタイル演習2			2				○				
	心理学	演習系	感覚心理学演習		2				○	○	○	2単位以上
			認知心理学演習		2				○	○	○	
			認知神経心理学演習		2				○	○	○	
			生涯発達心理学演習		2				○	○	○	
			生涯教育心理学演習		2				○	○	○	
			臨床心理面接演習1		2				○	○	○	
			臨床心理面接演習2		2				○	○	○	
			臨床心理査定演習		2				○	○	○	
			社会心理学演習		2				○	○	○	
			犯罪心理学演習		2				○	○	○	
		集団力学演習		2				○	○	○		
		実践演習	心理現場へのインターンシップ		2					○	○	2単位以上
			メンタルケア演習		2					○	○	
			チャイルドサポート演習		2					○	○	
			ビジネスリサーチ演習		2					○	○	
	心理学	研究法・技法	心理統計法1		2			○	○	○	○	6単位以上
			心理統計法2		2			○	○	○	○	
			心理統計法		2			○	○	○	○	
			レポート・論文の書き方		2				○	○	○	
			プレゼンテーション法		2				○	○	○	
			心理測定法		2				○	○	○	
			心理学的データ解析		2				○	○	○	
			心理学研究法		2				○	○	○	
			面接調査法		2				○	○	○	
			質問紙調査法		2				○	○	○	
			実験心理学演習1		2				○	○	○	
実験心理学演習2				2				○	○	○		
心理検査法演習1				2					○	○		
心理検査法演習2				2					○	○		
心理療法演習1				2					○	○		
心理療法演習2				2					○	○		
心理療法演習3				2					○	○		
心理療法演習4				2					○	○		
心理療法演習5			2					○	○			
心理療法演習6			2					○	○			
心理学		講読	初級心理学外書講読		2			○	○	○	○	2単位以上
	中級心理学外書講読			2				○	○	○		
	感覚心理学講読			2			○	○	○	○		
	認知心理学講読			2					○	○		
	認知神経心理学講読			2			○	○	○	○		
	生涯発達心理学講読			2			○	○	○	○		
	生涯教育心理学講読			2					○	○		
	臨床心理基礎論講読			2			○	○	○	○		
	臨床心理面接講読			2			○	○	○	○		
	心理療法講読			2					○	○		
	臨床心理技法講読			2					○	○		
	社会心理学講読			2					○	○		
	犯罪心理学講読			2			○	○	○	○		

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件				
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4					
選択必修	学科科目	留学	国際コミュニケーション論		4			○	○	○	大学が認めた留学生は、最大16単位までを卒業に必要な単位として認める				
			国際特別演習		4			○	○	○					
			国際事情		4			○	○	○					
			国際表現演習		4			○	○	○					
上記の学科科目の中から66単位以上															
選択	学科	関連科目	教職ゼミⅠ			2		○	○	○					
			教職ゼミⅡ			2			○	○		○			
			現代文化論			2				○		○			
			現代社会論			2				○		○			
			歴史社会学			2				○		○			
			メディア文化論			2		○		○		○			
			メディア環境論			2				○		○			
			支配と抵抗の社会学			2						○	○		
			宗教文化論			2			○	○		○			
			サブカルチャー論			2			○	○		○			
			コミュニケーション論			2	○		○	○		○			
			コミュニケーションの社会学			2			○	○		○			
			スポーツ社会学			2			○	○		○			
			社会学史			2						○	○		
			社会学理論			2						○	○		
			家族文化論			2				○		○	○		
			家族社会学			2				○		○	○		
			ジェンダーの社会学			2						○	○		
			環境倫理学			2				○		○	○		
			都市文化論			2						○	○		
			文化人類学			2							○	○	
			基礎生態学			2							○	○	
			生態・環境論			2							○	○	
			人間関係論			2						○	○	○	
			社会福祉概論1			2						○	○	○	
			社会福祉概論2			2						○	○	○	
			老人福祉論			2							○	○	
			障害福祉学			2						○	○	○	
			児童福祉論			2							○	○	
			地域福祉論			2						○	○	○	
			現代文化の諸相			2			○	○		○	○	○	
			モードとスタイル			2			○	○		○	○	○	
			映像文化論			2						○	○	○	
			路上観察学			2						○	○	○	
			消費文化論			2							○	○	○
			ポップカルチャー			2						○	○	○	
			アート環境論			2							○	○	
			ライフスタイル論			2							○	○	○
			逸脱論			2							○	○	○
			ライフコース論			2							○	○	○
			身体文化論			2								○	○
			エイジングの社会学			2								○	○
			仕事と遊びの社会学			2								○	○
			学校の社会学			2							○	○	○
			福祉文化論			2							○	○	○
			組織論			2								○	○
ソーシャルワーク論			2							○	○				
ERPビジネスプロセス1			2							○	○				
ERPビジネスプロセス2			2							○	○				
ERPビジネスプロセス演習1			2							○	○				
ERPビジネスプロセス演習2			2							○	○				
選択	共通科目	基本科目(選択必修科目とする科目を除く)									学科共通履修細則参照				
		外国語科目(選択必修科目とする科目を除く)													
		体育科目(選択必修科目とする科目を除く)													
		総合科目	追大UI科目は全ての単位を、追大プロジェクト科目は最大8単位までを、国際交流科目は最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合については、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。												

2014年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】 2006～2013年度入学生に適用

(単位の計算)

第14条 (略)

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(追試験の受験料)

第23条 (略)

(再試験)

第24条 卒業見込者で別に定める要件を満たす学生に対しては、願い出によって再試験を行う。

(再試験の受験料)

第25条 再試験の受験者は、別に定める受験料を納めなければならない。

(卒業及び学位)

第26条 (略)

(以下、条数を繰り下げ。)

【心理学部心理学科科目表】2012年度入学生に適用

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	研究	特論演習	2					○		6単位
			卒業研究	1	2					○	
			卒業研究	2	2					○	
選択		論文	卒業論文			4				○	
全員履修			新入生演習			2	○				
選択必修	共通科目	基本科目	心理学科履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。								学科履修細則及び学科共通履修細則参照
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。								学科共通履修細則参照
		体育科目	2単位以上を修得すること。								
選択必修	学科科目	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	2単位以上
			心理学総合科目1		2			○	○	○	
			心理学総合科目2		2			○	○	○	
		一般概論心理学系	人間学基礎論		2			○	○	○	14単位以上
			倫理学概論1		2			○	○	○	
			倫理学概論2		2			○	○	○	
			心理学の歴史		2				○	○	
			心理学体系論		2				○	○	
			ジェンダーの人間学		2				○	○	
		認知・脳科学系	認知・脳科学入門		2		○	○	○	○	
			感覚心理学		2			○	○	○	
			認知心理学		2			○	○	○	
			生理心理学		2			○	○	○	
			生物行動学		2			○	○	○	
			認知神経心理学		2				○	○	
			感情心理学		2				○	○	
			環境心理学		2				○	○	
		生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○	
			生涯発達心理学		2			○	○	○	
			教育心理学		2			○	○	○	
			子ども心理学		2			○	○	○	
			カウンセリング心理学		2			○	○	○	
			家族心理学		2			○	○	○	
			言語発達心理学		2				○	○	
			学校心理学		2				○	○	
			キャリアガイダンス		2				○	○	
		臨床心理学系概論科目	臨床心理学入門		2		○	○	○	○	
			臨床心理学基礎論		2			○	○	○	
			パーソナリティ心理学		2			○	○	○	
			生育史心理学		2			○	○	○	
			精神分析学		2			○	○	○	
			精神医学		2			○	○	○	
			心理療法学		2			○	○	○	
			発達障害論		2			○	○	○	
			障害福祉心理学		2			○	○	○	
			介護心理学		2			○	○	○	
			遊戯療法学		2			○	○	○	
			メンタルヘルス論		2			○	○	○	
			心理検査学		2				○	○	
		社会・犯罪心理学系	社会・犯罪心理学入門		2		○	○	○	○	
			社会心理学		2			○	○	○	
			文化心理学		2			○	○	○	
			犯罪心理学		2			○	○	○	
			対人行動論		2			○	○	○	
			集団力学		2			○	○	○	

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件						
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4							
選	択	学	特講	感覚心理学特講		2					○	○	2単位以上				
				認知心理学特講		2					○	○					
				認知神経心理学特講		2					○	○					
				生涯発達心理学特講		2					○	○					
				生涯教育心理学特講		2					○	○					
				心理療法特講 1		2					○	○					
				心理療法特講 2		2					○	○					
				臨床心理面接特講 1		2					○	○					
				臨床心理面接特講 2		2					○	○					
				臨床心理査定特講 1		2					○	○					
				臨床心理査定特講 2		2					○	○					
				社会心理学特講		2					○	○					
				犯罪心理学特講		2					○	○					
				集団力学特講		2					○	○					
ライフスタイル演習	ライフスタイル演習 1		2			○				2単位以上							
	ライフスタイル演習 2		2				○										
必	択	科	系	演習	感覚心理学演習		2				○	○	○	2単位以上			
					認知心理学演習		2					○	○		○		
					認知神経心理学演習		2					○	○		○		
					生涯発達心理学演習		2					○	○		○		
					生涯教育心理学演習		2					○	○		○		
					臨床心理面接演習 1		2					○	○		○		
					臨床心理面接演習 2		2					○	○		○		
					臨床心理査定演習		2					○	○		○		
					社会心理学演習		2					○	○		○		
					犯罪心理学演習		2					○	○		○		
					集団力学演習		2					○	○		○		
					実践演習	心理現場へのインターンシップ		2							○	○	2単位以上
						メンタルケア演習		2							○	○	
						チャイルドサポート演習		2							○	○	
ビジネスリサーチ演習		2							○	○							
修	目	科	研究法・技法	心理統計法 1		2				○	○	○	○	6単位以上			
				心理統計法 2		2					○	○	○		○		
				心理統計法		2					○	○	○		○		
				レポート・論文の書き方		2						○	○		○		
				プレゼンテーション法		2						○	○		○		
				心理測定法		2						○	○		○		
				心理学的データ解析		2						○	○		○		
				心理学研究法		2						○	○		○		
				面接調査法		2						○	○		○		
				質問紙調査法		2						○	○		○		
				実験心理学演習 1		2						○	○		○		
				実験心理学演習 2		2						○	○		○		
				心理検査法演習 1		2							○		○		
				心理検査法演習 2		2							○		○		
				心理療法演習 1		2							○		○		
				心理療法演習 2		2							○		○		
				心理療法演習 3		2							○		○		
				心理療法演習 4		2							○		○		
				心理療法演習 5		2							○		○		
				心理療法演習 6		2							○		○		
講読	初級心理学外書講読		2				○	○	○	○	2単位以上						
	中級心理学外書講読		2					○	○	○							
	感覚心理学講読		2				○	○	○	○							
	認知心理学講読		2						○	○							
	認知神経心理学講読		2				○	○	○	○							
	生涯発達心理学講読		2				○	○	○	○							
	生涯教育心理学講読		2						○	○							
	臨床心理基礎論講読		2				○	○	○	○							
	臨床心理面接講読		2				○	○	○	○							
	心理療法講読		2						○	○							
	臨床心理技法講読		2						○	○							
社会心理学講読		2						○	○								
犯罪心理学講読		2				○	○	○	○								

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件	
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
選択必修	学科科目	留学	国際コミュニケーション論		4			○	○	○	大学が認めた留学生は、最大16単位までを卒業に必要な単位として認める	
			国際特別演習		4			○	○	○		
			国際事情		4			○	○	○		
			国際表現演習		4			○	○	○		
上記の学科科目の中から66単位以上												
選択	学科科目	関連科目	教職ゼミⅠ			2		○	○	○		
			教職ゼミⅡ			2			○	○		
			現代文化論			2			○	○		
			現代社会学			2			○	○		
			歴史社会学			2				○		○
			メデイア文化論			2		○	○	○		
			メデイア環境論			2			○	○		
			支配と抵抗の社会学			2			○	○		
			宗教文化論			2		○	○	○		
			サブカルチャー論			2		○	○	○		
			コミュニケーション論			2	○	○	○	○		
			コミュニケーションの社会学			2		○	○	○		
			スポーツ社会学			2		○	○	○		
			社会学史			2			○	○		
			社会学理論			2			○	○		
			家族文化論			2		○	○	○		
			家族社会学			2		○	○	○		
			ジェンダーの社会学			2			○	○		
			環境倫理学			2		○	○	○		
			都市文化論			2			○	○		
			文化人類学			2			○	○		
			基礎生態学			2			○	○		
			生態・環境論			2			○	○		
			人間関係論			2		○	○	○		
			社会福祉概論1			2		○	○	○		
			社会福祉概論2			2		○	○	○		
			老人福祉論			2			○	○		
			障害福祉学			2		○	○	○		
			児童福祉論			2			○	○		
			地域福祉論			2		○	○	○		
			現代文化の諸相			2	○	○	○	○		
			モードとスタイル			2	○	○	○	○		
			映像文化論			2		○	○	○		
			路上観察学			2		○	○	○		
			消費文化論			2		○	○	○		
			ポップカルチャー論			2		○	○	○		
			ライフ環境論			2			○	○		
			ライフスタイル論			2		○	○	○		
			逸脱論			2		○	○	○		
			ライフコース論			2		○	○	○		
			身体文化論			2			○	○		
			エイジングの社会学			2			○	○		
仕事と遊びの社会学			2			○	○					
学校の社会学			2		○	○	○					
福祉文化論			2		○	○	○					
福祉組織論			2			○	○					
ソーシャルワーク論			2			○	○					
ERPビジネスプロセス1			2			○	○					
ERPビジネスプロセス2			2			○	○					
ERPビジネスプロセス演習1			2			○	○					
ERPビジネスプロセス演習2			2			○	○					
選択	共通科目	基本科目(選択必修科目とする科目を除く)									学科共通履修細則参照	
		外国語科目(選択必修科目とする科目を除く)										
		体育科目(選択必修科目とする科目を除く)										
		総合科目	追大UI科目はすべての単位を、追大プロジェクト科目は最大8単位までを、国際交流科目は最大4単位までを、放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合は各最大4単位までを卒業要件単位として認める。									

2013年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】 2006～2012年度入学生に適用

(学年及び学期)

第4条 (略)

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

別表Ⅰ 心理学科開講科目表 [2012年度入学生に適用]

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	研究	特論演習	2					○		6単位
			卒業研究	1	2					○	
			卒業研究	2	2					○	
選択		論文	卒業論文			4				○	
全員履修			新入生演習			2	○				
選択必修	共通科目	基本科目	心理学科履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。								学科履修細則及び学科共通履修細則参照
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。								学科共通履修細則参照
		体育科目	2単位以上を修得すること。								
選択必修	学科科目	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	2単位以上
			心理学総合科目1		2			○	○	○	
			心理学総合科目2		2			○	○	○	
		一般概論心理学系	人間学基礎論		2			○	○	○	14単位以上
			倫理学概論1		2			○	○	○	
			倫理学概論2		2			○	○	○	
			心理学の歴史		2				○	○	
			心理学体系論		2				○	○	
			ジェンダーの人間学		2				○	○	
		認知・概論心理学系	認知・脳科学入門		2		○	○	○	○	
			感覚心理学		2			○	○	○	
			認知心理学		2			○	○	○	
			生理心理学		2			○	○	○	
			生物行動学		2			○	○	○	
			認知神経心理学		2				○	○	
			感情心理学		2				○	○	
			環境心理学		2				○	○	
		生涯発達・心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2		○	○	○	○	
			生涯発達心理学		2			○	○	○	
			教育心理学		2			○	○	○	
			子ども心理学		2			○	○	○	
			カウンセリング心理学		2			○	○	○	
			家族心理学		2			○	○	○	
			言語発達心理学		2				○	○	
			学校心理学		2				○	○	
			キャリアガイダンス		2				○	○	
		臨床心理学系概論科目	臨床心理学入門		2		○	○	○	○	
			臨床心理学基礎論		2			○	○	○	
			パーソナリティ心理学		2			○	○	○	
			生育史心理学		2			○	○	○	
			精神分析学		2			○	○	○	
			精神医学		2			○	○	○	
			心理療法学		2			○	○	○	
			発達障害論		2			○	○	○	
			障害福祉心理学		2			○	○	○	
			介護心理学		2			○	○	○	
			遊戯療法学		2			○	○	○	
			メンタルヘルス論		2			○	○	○	
			心理検査学		2				○	○	
		社会・犯罪心理学系概論科目	社会・犯罪心理学入門		2		○	○	○	○	
			社会心理学		2			○	○	○	
			文化心理学		2			○	○	○	
			犯罪心理学		2			○	○	○	
			対人行動論		2			○	○	○	

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
選	学	特講	感覚心理学特講		2				○	○	2単位以上
			認知心理学特講		2				○	○	
			認知神経心理学特講		2				○	○	
			生涯発達心理学特講		2				○	○	
			生涯教育心理学特講		2				○	○	
			心理療法特講 1		2				○	○	
			心理療法特講 2		2				○	○	
			臨床心理面接特講 1		2				○	○	
			臨床心理面接特講 2		2				○	○	
			臨床心理査定特講 1		2				○	○	
			臨床心理査定特講 2		2				○	○	
			社会心理学特講		2				○	○	
			犯罪心理学特講		2				○	○	
択	科	ライフスタイル	ライフスタイル演習 1		2		○				2単位以上
			ライフスタイル演習 2		2			○			
		演習系	感覚心理学演習		2			○	○	○	2単位以上
			認知心理学演習		2			○	○	○	
			認知神経心理学演習		2			○	○	○	
			生涯発達心理学演習		2			○	○	○	
			生涯教育心理学演習		2			○	○	○	
			臨床心理面接演習 1		2			○	○	○	
			臨床心理面接演習 2		2			○	○	○	
			臨床心理査定演習		2			○	○	○	
		実践演習	社会心理学演習		2			○	○	○	2単位以上
			犯罪心理学演習		2			○	○	○	
			心理現場へのインターンシップ		2				○	○	
			メンタルケア演習		2				○	○	
必	科	研究法・技法	チャイルドサポート演習		2				○	○	6単位以上
			ビジネスリサーチ演習		2				○	○	
			心理統計法 1		2		○	○	○	○	
			心理統計法 2		2		○	○	○	○	
			心理統計法		2		○	○	○	○	
			レポート・論文の書き方		2			○	○	○	
			プレゼンテーション法		2			○	○	○	
			心理測定法		2			○	○	○	
			心理学的データ解析		2			○	○	○	
			心理学研究法		2			○	○	○	
			面接調査法		2			○	○	○	
			実験心理学演習 1		2			○	○	○	
修	目	講読	実験心理学演習 2		2			○	○	○	2単位以上
			心理検査法演習 1		2				○	○	
			心理検査法演習 2		2				○	○	
			心理療法演習 1		2				○	○	
			心理療法演習 2		2				○	○	
			心理療法演習 3		2				○	○	
			初級心理学外書講読		2		○	○	○	○	
			中級心理学外書講読		2			○	○	○	
			感覚心理学講読		2		○	○	○	○	
			認知心理学講読		2				○	○	
			認知神経心理学講読		2		○	○	○	○	
			生涯発達心理学講読		2		○	○	○	○	
			生涯教育心理学講読		2				○	○	
			臨床心理基礎論講読		2		○	○	○	○	
			臨床心理面接講読		2		○	○	○	○	
			心理療法講読		2				○	○	
			臨床心理技法講読		2				○	○	
			社会心理学講読		2				○	○	
			犯罪心理学講読		2		○	○	○	○	

履修区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
選択	学科目	他学部開講科目	現代文化論			2			○	○	学科共通履修細則参照
			現代社会論			2			○	○	
			歴史社会学			2			○	○	
			メディア・ア文化論			2		○	○	○	
			メディア・ア環境論			2			○	○	
			支配と抵抗の社会学			2			○	○	
			宗教文化論			2		○	○	○	
			サブカルチャー論			2		○	○	○	
			コミュニケーション論			2	○	○	○	○	
			コミュニケーションの社会学			2		○	○	○	
			スポーツ社会学			2		○	○	○	
			社会学史			2			○	○	
			社会学理論			2			○	○	
			家族文化論			2		○	○	○	
			家族社会学			2		○	○	○	
			ジェンダーの社会学			2			○	○	
			環境倫理学			2		○	○	○	
			都市文化論			2			○	○	
			文化人類学			2			○	○	
			基礎生態学			2			○	○	
			生態・環境論			2			○	○	
			人間関係論			2		○	○	○	
			社会福祉概論 1			2		○	○	○	
			社会福祉概論 2			2		○	○	○	
			老人福祉論			2			○	○	
			障害学			2		○	○	○	
			児童福祉論			2			○	○	
			地域福祉論			2		○	○	○	
			現代文化の諸相			2	○	○	○	○	
			モードとスタイル			2	○	○	○	○	
			映像文化論			2		○	○	○	
			路上観察学			2		○	○	○	
			消費文化論			2		○	○	○	
			ポップカルチャー論			2		○	○	○	
			オート環境論			2			○	○	
			ライフスタイル論			2		○	○	○	
逸脱論			2		○	○	○				
ライフコース論			2		○	○	○				
身体文化論			2			○	○				
エイジングの社会学			2			○	○				
仕事と遊びの社会学			2			○	○				
学校の社会学			2		○	○	○				
福祉文化論			2		○	○	○				
組織論			2			○	○				
ソーシャルワーク論			2			○	○				
ERPビジネスプロセス 1			2			○	○				
ERPビジネスプロセス 2			2			○	○				
ERPビジネスプロセス演習 1			2			○	○				
ERPビジネスプロセス演習 2			2			○	○				
選択	共通科目	基本科目(選択必修科目とする科目を除く)								学科共通履修細則参照	
		外国語科目(選択必修科目とする科目を除く)									
		体育科目(選択必修科目とする科目を除く)									
		総合科目	追大UI科目はすべての単位を、追大プロジェクト科目は最大8単位までを、国際交流科目は最大4単位までを、放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合は各最大4単位までを卒業要件単位として認める。								

規程等

「社会学部関連規程等」

2018年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)

(入学)

第25条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

第26条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、学部会議の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(委員会)

第54条 本学部に必要な応じ各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は、別に定める。

(略)

(その他)

第59条 学則及びこの規程に定めのない事項については、学部会議がこれを定める。

附 則

この規程は、2017年7月1日から施行する。

【社会学部規程一部変更】2012年度入学生に適用

別表 I

社会学学科科目表

履修 区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	演習	表現演習	2			○	○	○	○	14単位
			基礎演習1	2				○	○	○	
			基礎演習2	2				○	○	○	
			専門演習1	2					○	○	
			専門演習2	2					○	○	
			卒論演習1	2						○	
			卒論演習2	2						○	
		論文	卒業論文	6							○
(略)											

【社会学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

別表 I

社会学科科目表

履修 区分	科 目	授 業 科 目	単 位			配当年次				要件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3	4	
選択 必修	学 科 目 群	メディア文化論		2			○	○	○	選択 必修 から 46単 位以 上
		サブカルチャー論		2			○	○	○	
		映像文化論		2			○	○	○	
		路上観察学		2			○	○	○	
		消費文化論		2			○	○	○	
		ポップカルチャー		2			○	○	○	
		文化記号論		2			○	○	○	
		スポーツ社会学		2			○	○	○	
		文化社会学特殊講義 1		2			○	○	○	
		文化社会学特殊講義 2		2		○		○	○	
		現代文化論		2				○	○	
		メディア環境論		2				○	○	
		モノと技術の社会学		2				○	○	
		アート環境論		2				○	○	
		都市文化論		2				○	○	
		知識社会学		2				○	○	
		情報社会学		2		○		○	○	
		流行の社会学		2			○	○	○	
		現代メディア論		2			○	○	○	
		マスコミ論		2			○	○	○	
		メディア・文化芸能演習 1		2			○	○	○	
		メディア・文化芸能演習 2		2			○	○	○	
		芸能と社会		2			○	○	○	
		上方芸能論		2			○	○	○	
		社会と健康		2			○	○	○	
		スポーツ・健康演習 1		2			○	○	○	
		スポーツ・健康演習 2		2			○	○	○	
		スポーツ文化論		2			○	○	○	
		食と農の社会学		2			○	○	○	
		リスク社会論		2				○	○	
		マンガ・アニメの社会学		2				○	○	
		コント・漫才・落語の社会学		2				○	○	
		メディア・文化芸能特殊研究		2				○	○	
		広告の社会学		2				○	○	
		スポーツマネジメント特論		2				○	○	
		スポーツ・健康特殊研究		2				○	○	
		和食文化論		2				○	○	
		生涯スポーツ論		2				○	○	

選択必修	学科科目	社会環境群	近代性の社会学	2			○	○	○	選択必修から46単位以上
			宗教文化論	2			○	○	○	
			学校の社会学	2			○	○	○	
			福祉文化論	2			○	○	○	
			地域福祉論	2			○	○	○	
			環境倫理学	2			○	○	○	
			社会問題論	2			○	○	○	
			現代社会特殊講義 1	2			○	○	○	
			現代社会特殊講義 2	2			○	○	○	
			現代社会論	2				○	○	
			組織論	2				○	○	
			ソーシャルワーク論	2				○	○	
			境界性の社会学	2				○	○	
			場所と移動の社会学	2				○	○	
			グローバル化の社会学	2				○	○	
			文化人類学	2				○	○	
			歴史社会学	2				○	○	
			基礎生態学	2				○	○	
			生態・環境論	2				○	○	
			グローバル社会論	2			○	○	○	
			現代社会論演習 1	2			○	○	○	
			現代社会論演習 2	2			○	○	○	
			都市社会論	2			○	○	○	
			消費社会論	2			○	○	○	
			福祉社会学	2			○	○	○	
			社会問題リサーチ演習 1	2			○	○	○	
			社会問題リサーチ演習 2	2			○	○	○	
			環境社会学	2				○	○	
			現代社会特殊研究	2				○	○	
			社会問題リサーチ特殊研究	2				○	○	
			医療社会学	2				○	○	

2017年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

別表 I

社会学科科目表

履修 区分	科 目	授 業 科 目	単位			配当年次				要件	
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
(略)											
選択必修	学科科目	現代文化群	メディア文化論		2			○	○	○	
			サブカルチャー論		2			○	○	○	
			映像文化論		2			○	○	○	
			路上観察学		2			○	○	○	
			消費文化論		2			○	○	○	
			ポップカルチャー		2			○	○	○	
			文化記号論		2			○	○	○	
			スポーツ社会学		2			○	○	○	
			文化社会学特殊講義1		2			○	○	○	
			文化社会学特殊講義2		2			○	○	○	
			現代文化論		2				○	○	
			メディア環境論		2				○	○	
			モノと技術の社会学		2				○	○	
			アート環境論		2				○	○	
			都市文化論		2				○	○	
			知識社会学		2				○	○	
			情報社会学		2				○	○	○
			流行の社会学		2				○	○	○
			現代メディア論		2				○	○	○
			マスコミ論		2				○	○	○
			メディア・文化芸能演習1		2				○	○	○
			メディア・文化芸能演習2		2				○	○	○
			芸能と社会		2				○	○	○
			上方芸能論		2				○	○	○
			社会と健康		2				○	○	○
			スポーツ・健康演習1		2				○	○	○
			スポーツ・健康演習2		2				○	○	○
			スポーツ文化論		2				○	○	○
			食と農の社会学		2				○	○	○

【社会学科履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2014年度以前入学生に適用

(略)

第8条 社会学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりである。

学科	単位数
社会学科	124 単位

なお、共通科目及び学科科目の最低修得単位数は、社会学部規程に定める。

(略)

第10条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、社会学科における学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
社会学科	66 単位

2 社会学科における学科科目及び単位数は、社会学部規程に定める。

(略)

別表Ⅰ 社会学科 開講科目表

履修区分		科 目	授 業 科 目	単位	配当年次				備 考	
					1	2	3	4		
必修	学 科 目	演 習	表現演習	2	○				新入生演習と同じクラスを選択する。	
			基礎演習 1	2		○			指定クラス	
			基礎演習 2	2		○				
			専門演習 1	2			○		指定クラス	
			専門演習 2	2			○			
			卒論演習 1	2				○	指定クラス	
			卒論演習 2	2				○		
			卒業論文	6				○		
		全員履修		新入生演習	2	○				指定クラス
選択必修	共通科目	基本科目	社会科学履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。						学科履修細則及び各学科共通履修細則参照	
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語						学科共通履修細則参照	
		体育科目	2単位以上を修得すること。						学科共通履修細則参照	

[illegible]

【社会学科履修細則一部変更】 2014年度以前入学生に適用

(略)

Ⅱ 共通科目

1 新入生演習

(略)

2) 学科共通履修細則の新入生演習の項を参照すること。

(略)

Ⅲ 学科科目

1) 社会学科における学科科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分かれる。また、学科科目には、学年指定のある科目があるので、社会学部規程を参照し、所定の方法により単位を修得しなければならない。

(略)

4) 選択必修科目（入門科目、実践科目、理論科目、現代文化群、人間関係群、社会環境群および国際）は、46単位以上を修得しなければならない。科目の配当年次については、社会学部規程を参照すること。

5) 選択科目については、社会学部規程を参照すること。また、社会学科が開設する学科科目のうち、最低修得単位数（66単位）を超えて修得した科目の単位は、卒業要件単位として認める。

(略)

2015年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2008～2014 年度入学生に適用

(授業科目及び履修方法)

(略)

第 9 条

(略)

- 3 共通科目のうち、外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語あるいは中国語のうちから、
4 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生、及び帰国生徒の
うち指定された者は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。

(略)

(科目修了の認定)

第 19 条 科目修了の認定は、試験によるほか、平素の成績を考慮して行う。

(略)

(入学)

(略)

第 28 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(退学)

(略)

第 38 条 前条により退学した者又は除籍された者が同一の学科に再入学を願い出た時は、退学又は除籍後 2 年以内に限り、選考の上、許可することがある。ただし、学則第 66 条第 1 号の規定により除籍された者は、再入学を許可しない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

【社会学科履修細則一部変更】２００８～２０１３年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目についてもこの制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、卒業論文は春学期の履修制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

スポーツフィールド実習 I

スポーツフィールド実習 II

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

(略)

II 共通科目

(略)

2 基本科目

- 1) 基本科目は、16 単位以上を修得しなければならない。

なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、日本事情 1・2・3・4 を含めて 16 単位以上を修得しなければならない。

(略)

3 外国語科目

- 1) 外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語及び中国語の中から、4 単位以上を修得しなければならない。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された学生は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。

(略)

5 総合科目

- 1) 総合科目のうち、追大 UI 科目については全ての単位を、追大プロジェクト科目については最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目については、全ての単位を、国際交流科目については最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

- 2) 学科共通履修細則の総合科目の項を参照すること。

(略)

別表 I 社会学科科目表

履修区分	科目	授業科目	単位	配当年次				要件
				1	2	3	4	
(略)								
選択	共通科目	総合科目	追大 UI 科目は全ての単位を、追大プロジェクト科目は最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目は全ての単位を、国際交流科目は最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。					

2014年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2006～2013年度入学生に適用

(単位の計算)

第14条 (略)

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(追試験の受験料)

第23条 (略)

(再試験)

第24条 卒業見込者で別に定める要件を満たす学生に対しては、願い出によって再試験を行う。

(再試験の受験料)

第25条 再試験の受験者は、別に定める受験料を納めなければならない。

(卒業及び学位)

第26条 (略)

(以下、条数を繰り下げ。)

【社会学科履修細則一部変更】 2006～2013年度入学生に適用

Ⅲ学科科目

(略)

- 4) 選択必修科目（入門科目、実践科目、理論科目、現代文化群、人間関係群、社会環境群および国際）は、46単位以上を修得しなければならない。科目の配当年次については、社会学科科目表を参照すること。

【社会学科科目表】2012年度入学生に適用

履修区分		科 目	授 業 科 目	単位	配当年次				備 考	
					1	2	3	4		
必修	学 科 科 目	演 習	表現演習	2	○				新入生演習と同じクラスを選択する。	
			基礎演習 1	2		○			指定クラス	
			基礎演習 2	2		○				
			専門演習 1	2			○		指定クラス	
			専門演習 2	2			○			
			卒論演習 1	2				○	指定クラス	
		卒論演習 2	2				○			
	論 文	卒業論文	6				○			
全員履修	共通科目	新入生演習	2	○				指定クラス		
選 択 必 修	学 科 科 目	基本科目	社会学科履修細則Ⅱ－2に従い、16単位以上を修得すること。							学科履修細則及び各学科共通履修細則参照
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語							学科共通履修細則参照
		体 育 科 目	2単位以上を修得すること。							
		入 門 科 目	文化と社会 1	2	○	○	○	○		
			文化と社会 2	2	○	○	○	○	○	
			現代文化の諸相	2	○	○	○	○	○	
			モードとスタイル	2	○	○	○	○	○	
			コミュニケーション論	2	○	○	○	○	○	
			社会のイメージ	2	○	○	○	○	○	
		実 践 科 目	文化社会学演習	2		○	○	○	○	
			社会探偵学演習	2		○	○	○	○	
			人間学演習 1	2		○	○	○	○	
			人間学演習 2	2		○	○	○	○	
			生態学フィールドワーク 1	2			○	○	○	
			生態学フィールドワーク 2	2			○	○	○	
			自主企画演習 1	2				○	○	
			自主企画演習 2	2					○	
		理 論 科 目	社会学的想像力	2		○	○	○	○	
			社会学的リテラシー	2		○	○	○	○	
			パラドックスの社会学	2			○	○	○	
			社会学史	2			○	○	○	
			社会学理論	2			○	○	○	
		現代文化群	メディア文化論	2		○	○	○	○	
			サブカルチャー論	2		○	○	○	○	
			映像文化論	2		○	○	○	○	
			路上観察学	2		○	○	○	○	
			消費文化論	2		○	○	○	○	
			ポップカルチャー	2		○	○	○	○	
			文化記号論	2		○	○	○	○	
			スポーツ社会学	2		○	○	○	○	
			文化社会学特殊講義 1	2		○	○	○	○	
			文化社会学特殊講義 2	2		○	○	○	○	
			現代文化論	2			○	○	○	
			メディア環境論	2			○	○	○	
			モノと技術の社会学	2			○	○	○	
			アート環境論	2			○	○	○	
			都市文化論	2			○	○	○	
		知識社会学	2			○	○	○		
		人間関係群	ライフスタイル論	2		○	○	○	○	
			コミュニケーションの社会学	2		○	○	○	○	
逸脱論	2			○	○	○	○			
家族文化論	2			○	○	○	○			
家族社会学	2			○	○	○	○			
ライフコース論	2			○	○	○	○			
自己と感情の社会学	2			○	○	○	○			
人間関係論	2			○	○	○	○			
人間学	2			○	○	○	○			
障害学	2			○	○	○	○			
人権教育論	2			○	○	○	○			
社会福祉学特殊講義 1	2			○	○	○	○			
社会福祉学特殊講義 2	2			○	○	○	○			
社会的行為論	2				○	○	○			
身体文化論	2				○	○	○			
ジェンダーの社会学	2				○	○	○			
エイジングの社会学	2				○	○	○			
支配と抵抗の社会学	2				○	○	○			
仕事と遊びの社会学	2				○	○	○			
人間形成論	2				○	○	○			
児童福祉論	2				○	○	○			
老人福祉論	2				○	○	○			

履修区分		科 目	授 業 科 目	単位	配当年次				備 考
					1	2	3	4	
選 択 必 修	学 科 目	社会環境群	近代性の社会学	2		○	○	○	
			宗教文化論	2		○	○	○	
			学校の社会学	2		○	○	○	
			福祉文化論	2		○	○	○	
			地域福祉論	2		○	○	○	
			環境倫理学	2		○	○	○	
			社会問題論	2		○	○	○	
			現代社会特殊講義 1	2		○	○	○	
			現代社会特殊講義 2	2		○	○	○	
			現代社会論	2			○	○	
			組織論	2			○	○	
			ソーシャルワーク論	2			○	○	
			境界性の社会学	2			○	○	
			場所と移動の社会学	2			○	○	
			グローバル化の社会学	2			○	○	
			文化人類学	2			○	○	
			歴史社会学	2			○	○	
			基礎生態学	2			○	○	
			生態・環境論	2			○	○	
		国 際	国際コミュニケーション論	4		○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
			国際特別演習	4		○	○	○	
			国際事情	4		○	○	○	
			国際表現演習	4		○	○	○	
上記の科目中から、46単位以上を修得すること。									
選 択	学 科 科 目	共通科目	基 本 科 目	(選択必修科目とする科目を除く)					学科共通履修細則参照
			外 国 語 科 目	(選択必修科目とする科目を除く)					
			体 育 科 目	(選択必修科目とする科目を除く)					
			総 合 科 目	追大UI科目はすべての単位を、追大プロジェクト科目は最大8単位までを、国際交流科目、放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合は、各々最大4単位までを卒業要件単位として認める。					
		学 科 科 目	社会学概論 1	2		○	○	○	他学部科目
			社会学概論 2	2		○	○	○	
			哲学概論 1	2		○	○	○	
			哲学概論 2	2		○	○	○	
			社会福祉概論 1	2		○	○	○	
			社会福祉概論 2	2		○	○	○	
			教職ゼミⅠ	2		○	○	○	
			教職ゼミⅡ	2			○	○	
			人間学基礎論	2		○	○	○	
			生物行動学	2		○	○	○	
			認知心理学	2		○	○	○	
			生涯発達心理学	2		○	○	○	
			パーソナリティ心理学	2		○	○	○	
			カウンセリング心理学	2		○	○	○	
			臨床心理学基礎論	2		○	○	○	
			精神医学	2		○	○	○	
			心理療法	2		○	○	○	
			メンタルヘルス論	2		○	○	○	
			社会心理学	2		○	○	○	
犯罪心理学	2			○	○	○			
障害福祉心理学	2			○	○	○			
介護心理学	2			○	○	○			
教育心理学	2			○	○	○			
子ども学	2			○	○	○			
家族心理学	2			○	○	○			
成育史心理学	2			○	○	○			
発達障害論	2			○	○	○			
文化心理学	2			○	○	○			
地球環境論 1	2				○	○			
地球環境論 2	2			○	○				

- 1) 上記の単位修得条件を満たした上で、学科科目の修得単位数が6 6 単位以上、かつ修得単位数の合計が1 2 4 単位以上でなければならない。
- 2) 本学科の定める選択必修単位数を超えて修得した単位は、卒業要件単位として認める（ただし、「総合科目」のうち、追大プロジェクト科目は8 単位までを、国際交流科目、放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合は各々4 単位まで）。

2013年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2006～2012年度入学生に適用

(学年及び学期)

第4条 (略)

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

規程等

「国際教養学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(学部・学科の目的)

第2条 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化（コモン・リベラル・アーツ）の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

2 国際教養学部は、国際教養学科とアジア学科を置く。

国際教養学科では、1) 21世紀の国際社会に広く通用する英語コミュニケーション能力を備えた人材、2) 異文化コミュニケーション能力の育成と異文化交流の促進、キャリア形成や資格を目指す実践英語学習などを通じて、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人の育成を目的とする。

アジア学科では、1) 中国語やアジア諸地域でコミュニケーションが可能な英語の実践力を有し、その他のアジア諸言語についても一定の知識をもつ人材、2) アジア諸地域に関する基礎知識のうえにフィールドワークなどの体験的・主体的学習を通じて、日本を含むアジア諸地域の社会と文化に深い理解を持ち、日本はもとより国際社会の多方面で活躍する教養人の育成を目的とする。

(学科及び定員)

第3条 本学部には置く学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
<u>国際教養学科</u>	<u>130名</u>	5名	<u>530名</u>
<u>アジア学科</u>	<u>100名</u>	5名	<u>410名</u>
計	230名	10名	940名

(略)

第8条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
<u>国際教養学科</u>	124単位
<u>アジア学科</u>	124単位

(略)

第 11 条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、各学科の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
国際教養学科	56単位
アジア学科	62単位

（略）

第 12 条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) 国際教養 学科

（略）

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。（国際教養 学科履修細則 II－2、II－3 参照）

(2) アジア 学科

（略）

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 8 単位を修得しなければならない。（アジア 学科履修細則 II－2、II－3 参照）

（略）

（単位の計算）

第 15 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 外国語科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (4) 卒業論文については、国際教養 学科 4 単位、アジア 学科 6 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

（略）

（卒業及び学位）

第 27 条 本大学に 4 年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとする。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

国際教養 学科 学士(国際教養学)

アジア 学科 学士(国際教養学)

(略)

第 54 条 入学金、授業料、教育充実費、研修指導費、履修料、聴講料、研究指導費の金額及び徴収については、別にこれを定める。

(略)

別表Ⅰ（第9条関係）

（1）国際教養 学科 開講科目表

区分			授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	必修	日本語能力強化科目	日本語ワークショップ	2				○	○	○		2単位
		専修英語	Reading 1 (EAP)	2			○	○	○	○		26単位
			Reading 2 (EAP)	2			○	○	○	○		
			Writing 1 (EAP)	2			○	○	○	○		
			Writing 2 (EAP)	2			○	○	○	○		
			英語発音クリニック	2			○	○	○	○		
			英語リーディング3	2				○	○	○		
			英語リーディング4	2				○	○	○		
			英語ライティング3	2				○	○	○		
			英語ライティング4	2				○	○	○		
			英語コミュニケーション1	2				○	○	○	科	
			英語コミュニケーション2	2				○	○	○	科	
			英語プレゼンテーション1	2					○	○		
			英語プレゼンテーション2	2					○	○		
	選択	専修中国語群	専修中国語初級講読1			2	○	○	○	○		専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。
			専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1			2		○	○	○		
			専修中国語中級講読2			2		○	○	○		
			専修中国語中級作文1			2		○	○	○		
			専修中国語中級作文2			2		○	○	○		
			専修中国語中級会話1			2		○	○	○		
			専修中国語中級会話2			2		○	○	○		
			専修総合中国語1			2			○	○		
			専修総合中国語2			2			○	○		
			専修中国語上級会話1			2			○	○		
			専修中国語上級会話2			2			○	○		
	選択必修A	実践英語	資格英語1		2				○	○		8単位以上
			資格英語2		2				○	○		
			資格英語3		2					○		
			資格英語4		2					○		
			トラベルイングリッシュ1		2				○	○		
			トラベルイングリッシュ2		2				○	○		
			観光ビジネス英語1		2				○	○		
			観光ビジネス英語2		2				○	○		
			秘書英語1		2				○	○		
			秘書英語2		2				○	○		
			通訳英語1		2				○	○		
			通訳英語2		2				○	○		
			国際事情		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国際表現演習		4			○	○	○		

区分			授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	必修	演習	Research Project 1	2					○	○		8単位
			Research Project 2	2					○	○		
			Research Project 3	2						○		
			Research Project 4	2						○		
	選択	論文	卒業論文		4					○		12単位以上
			イギリス文化講義		2			○	○	○	科	
			アメリカ文化講義		2			○	○	○	科	
			イギリス史		2			○	○	○	科	
			アメリカ史		2			○	○	○	科	
			英文学概論1		2			○	○	○	科	
			英文学概論2		2			○	○	○	科	
			米文学概論1		2			○	○	○	科	
			米文学概論2		2			○	○	○	科	
			英語学概論1		2			○	○	○	科	
			英語学概論2		2			○	○	○	科	
			英語学講義1		2			○	○	○	科	
			英語学講義2		2			○	○	○	科	
			英語音声学1		2			○	○	○	科	
			英語音声学2		2			○	○	○	科	
			英語コミュニケーション論1		2			○	○	○		
			英語コミュニケーション論2		2			○	○	○		
			情報科学各論1		2			○	○	○		
			情報科学各論2		2			○	○	○		
			言語情報処理概論1		2			○	○	○	科	
			言語情報処理概論2		2			○	○	○	科	
			ICTと英語研究		2			○	○	○		
			ICTと英語教育		2			○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1		2			○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2		2			○	○	○		
			日欧比較論1		2			○	○	○		
			日欧比較論2		2			○	○	○		
		現地演習	カナダ現地演習		4			○	○	○		現地演習と文化演習は、同一地域のものを必ずセットで履修すること。
			カナダ文化演習		4			○	○	○		
			中国語現地演習		4			○	○	○		
			中国語文化演習		4			○	○	○		
		講義	アジア論1		2			○	○	○		
			アジア論2		2			○	○	○		
			フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
			東洋史概説1		2			○	○	○		
			東洋史概説2		2			○	○	○		
			日本史概説1		2			○	○	○		
			日本史概説2		2			○	○	○		
			考古学概説1		2			○	○	○		
			考古学概説2		2			○	○	○		
			人文地理学概説1		2			○	○	○		
			人文地理学概説2		2			○	○	○		
			自然地理学概説1		2			○	○	○		
			自然地理学概説2		2			○	○	○		

区分			授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	選択必修B	講義	地誌学1		2			○	○	○		アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。
			地誌学2		2			○	○	○		
			アジア研究入門1		2			○	○	○		
			アジア研究入門2		2			○	○	○		
			東南アジアの社会1		2			○	○	○		
			東南アジアの社会2		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会1		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教1		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教2		2			○	○	○		
			近現代の中国		2			○	○	○		
			現代中国の文芸1		2			○	○	○		
			現代中国の文芸2		2			○	○	○		
			漢文学		2			○	○	○		
			日本文学史1		2			○	○	○		
			日本文学史2		2			○	○	○		
			日本文学概説1		2			○	○	○		
			日本文学概説2		2			○	○	○		
			中国の思想1		2				○	○		
			中国の思想2		2				○	○		
			西南アジアの歴史1		2				○	○		
			西南アジアの歴史2		2				○	○		
			中国の文学1		2				○	○		
			中国の文学2		2				○	○		
			日本の芸能と文学1		2				○	○		
			日本の芸能と文学2		2				○	○		
			比較社会史1		2				○	○		
			比較社会史2		2				○	○		
			現代アジアの諸問題1		2				○	○		
			現代アジアの諸問題2		2				○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
			アジアフィールドワーク1		4			○	○	○		
			アジア社会演習1		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
			アジア社会演習2		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
			アジア社会演習3		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
			アジア社会演習4		4			○	○	○		
			日本語のための古典1		2		○	○	○	○		
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○		
			日本語学1		2		○	○	○	○		
			日本語学2		2		○	○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		

区分			授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国語学1		2			○	○	○		
			国語学2		2			○	○	○		
			国語学史		2				○	○		
			日本語教育演習1		2				○	○		
			日本語教育演習2		2				○	○		
			アジア英語1		2				○	○		
			アジア英語2		2				○	○		
			日本語教育実習1		1					○		
			日本語教育実習2		1					○		
			国際コミュニケーション論		4			○	○	○		
			国際特別演習		4			○	○	○		
			教職ゼミⅠ		2			○	○	○		
			教職ゼミⅡ		2				○	○		
	選 択	講 義	西洋史概説1			2		○	○	○		
			西洋史概説2			2		○	○	○		
			応用日本語1			2		○	○	○		
			応用日本語2			2		○	○	○		
			心理学体系論			2			○	○		
			心理学の歴史			2			○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			哲学概論1			2		○	○	○		
			哲学概論2			2		○	○	○		
			認知心理学			2		○	○	○		
			文化人類学			2			○	○		
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
			現代韓国事情			2		○	○	○		

(略)

(2) アジア 学科 開講科目表

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	必修	講義	アジア論1	2				○	○	○		16単位
			アジア論2	2				○	○	○		
		演習	基礎演習1	2				○	○	○		
			基礎演習2	2				○	○	○		
			応用演習1	2					○	○		
			応用演習2	2					○	○		
			卒業演習1	2						○		
			卒業演習2	2						○		
	選択必修A	専修中国語群	専修中国語初級講読1		2		○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。
			専修中国語初級講読2		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2		2		○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級講読2		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文2		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話2		2			○	○	○	科	
			専修総合中国語1		2				○	○	科	
			専修総合中国語2		2				○	○	科	
			専修中国語上級会話1		2				○	○	科	
			専修中国語上級会話2		2				○	○	科	
		中国語現地演習	中国語現地演習		4			○	○	○		中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。
			中国語文化演習		4			○	○	○		
		専修英語群	Reading 1 (EAP)		2		○	○	○	○		
			Reading 2 (EAP)		2		○	○	○	○		
			Writing 1 (EAP)		2		○	○	○	○		
			Writing 2 (EAP)		2		○	○	○	○		
			英語発音クリニック		2		○	○	○	○		
			英語リーディング3		2			○	○	○		
			英語リーディング4		2			○	○	○		
			英語ライティング3		2			○	○	○		
			英語ライティング4		2			○	○	○		
			英語コミュニケーション1		2			○	○	○		
			英語コミュニケーション2		2			○	○	○		
			英語プレゼンテーション1		2				○	○		
			英語プレゼンテーション2		2				○	○		
		カナダ現地演習	カナダ現地演習		4			○	○	○		カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。
			カナダ文化演習		4			○	○	○		

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	選択必修B	論文									
		卒業論文		6					○		
		フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
		東洋史概説1		2			○	○	○	科	
		東洋史概説2		2			○	○	○	科	
		西洋史概説1		2			○	○	○	科	
		西洋史概説2		2			○	○	○	科	
		日本史概説1		2			○	○	○	科	
		日本史概説2		2			○	○	○	科	
		考古学概説1		2			○	○	○		
		考古学概説2		2			○	○	○		
		人文地理学概説1		2			○	○	○	科	
		人文地理学概説2		2			○	○	○	科	
		自然地理学概説1		2			○	○	○	科	
		自然地理学概説2		2			○	○	○	科	
		地誌学1		2			○	○	○	科	
		地誌学2		2			○	○	○	科	
		アジア研究入門1		2			○	○	○	科	
		アジア研究入門2		2			○	○	○	科	
		東南アジアの社会1		2			○	○	○		
		東南アジアの社会2		2			○	○	○		
		南・西南アジアの社会1		2			○	○	○	科	
		南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
		インドの思想と宗教1		2			○	○	○	科	
		インドの思想と宗教2		2			○	○	○	科	
		近現代の中国		2			○	○	○		
		現代中国の文芸1		2			○	○	○	科	
		現代中国の文芸2		2			○	○	○	科	
		漢文学		2			○	○	○	科	
		日本文学史1		2			○	○	○	科	
		日本文学史2		2			○	○	○	科	
		日本文学概説1		2			○	○	○	科	
		日本文学概説2		2			○	○	○	科	
		中国の思想1		2				○	○	科	
		中国の思想2		2				○	○	科	
		西南アジアの歴史1		2				○	○	科	
		西南アジアの歴史2		2				○	○	科	
		中国の文学1		2				○	○	科	
		中国の文学2		2				○	○	科	
		日本の芸能と文学1		2				○	○	科	
		日本の芸能と文学2		2				○	○	科	
		比較社会史1		2				○	○	科	
		比較社会史2		2				○	○	科	
		現代アジアの諸問題1		2				○	○		
		現代アジアの諸問題2		2				○	○		
		アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
		アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
		国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4			○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	選択必修C	講義	アジアフィールドワーク1		4			○	○	○	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの（科目名番号の同じもの）をセットで履修すること。
			アジア社会演習1		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
			アジア社会演習2		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
			アジア社会演習3		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
			アジア社会演習4		4			○	○	○		
			国際特別演習		4			○	○	○	大学が認めた留学生専用科目	
			国際表現演習		4			○	○	○		
			日本語のための古典1		2		○	○	○	○	科	
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○		
			日本語学1		2		○	○	○	○	科	
			日本語学2		2		○	○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		
			国語学1		2			○	○	○	科	
			国語学2		2			○	○	○		
			応用日本語1		2			○	○	○	科	
			応用日本語2		2			○	○	○		
			国語学史		2				○	○	科	
			日本語教育演習1		2				○	○		
			日本語教育演習2		2				○	○		
			アジア英語1		2				○	○		
			アジア英語2		2				○	○		
	実習		日本語教育実習1		1				○			
			日本語教育実習2		1				○			
	選択	講義	イギリス文化講義			2		○	○	○		
			アメリカ文化講義			2		○	○	○		
			イギリス史			2		○	○	○		
			アメリカ史			2		○	○	○		
			英文学概論1			2		○	○	○		
			英文学概論2			2		○	○	○		
			米文学概論1			2		○	○	○		
			米文学概論2			2		○	○	○		
			英語学概論1			2		○	○	○		
			英語学概論2			2		○	○	○		
			英語学講義1			2		○	○	○		
			英語学講義2			2		○	○	○		
			英語音声学1			2		○	○	○		
			英語音声学2			2		○	○	○		
			英語コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			英語コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			情報科学各論1			2		○	○	○		
			情報科学各論2			2		○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職 ※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択	講 義	言語情報処理概論1			2		○	○	○		
			言語情報処理概論2			2		○	○	○		
			ICTと英語研究			2		○	○	○		
			ICTと英語教育			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			日欧比較論1			2		○	○	○		
			日欧比較論2			2		○	○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			文化人類学			2			○	○		
			経済原論			4		○	○	○	科	
			アジア経済論1			2		○	○	○		
			アジア経済論2			2		○	○	○		
			アジア経済論			2		○	○	○		
			オーストラリア経済論			4		○	○	○		
			オーストラリア経済論1			2		○	○	○		
			オーストラリア経済論2			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
			現代韓国事情			2		○	○	○		
			社会学概論1			2		○	○	○	科	
			社会学概論2			2		○	○	○	科	
			哲学概論1			2		○	○	○	科	
			哲学概論2			2		○	○	○	科	
			日本経済史1			2			○	○		
			日本経済史2			2			○	○		
			日本経済史			2		○	○	○		
			外国経済史1			2			○	○		
			外国経済史2			2			○	○		
			外国経済史			2		○	○	○		
			経済地理1			2			○	○		
			経済地理2			2			○	○		
			中国語科教育研究1			2			○	○	職	
			中国語科教育研究2			2			○	○	職	
			国語科教育研究1			2			○	○	職	
			国語科教育研究2			2			○	○	職	
			教職ゼミⅠ			2		○	○	○		
			教職ゼミⅡ			2			○	○		
	自由	講義	書道1			2		○	○	○	科	教職課程に関する規程第3条第4項 第8号に定める科目
			書道2			2		○	○	○	科	

(略)

【国際教養学科履修細則一部変更】2012年度入学生に適用

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間割作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

III 学科科目

(略)

- 2) 国際教養学科の学科科目は、必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)、選択必修 A、選択必修 B、選択(専修中国語群・卒業論文・講義)に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修

得しなければならない。

(A) 必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)は、36 単位を修得しなければならない。

① 1 年次担当は「Reading 1 (EAP)」「Reading 2 (EAP)」「Writing 1 (EAP)」「Writing 2 (EAP)」「英語発音クリニック」計 10 単位である。

② 2 年次担当は「日本語ワークショップ」「英語リーディング 3」「英語リーディング 4」「英語ライティング 3」「英語ライティング 4」「英語コミュニケーション 1」「英語コミュニケーション 2」計 14 単位である。

③ 3 年次担当は「英語プレゼンテーション 1」「英語プレゼンテーション 2」「Research Project 1」「Research Project 2」計 8 単位である。

④ 4 年次担当は「Research Project 3」「Research Project 4」計 4 単位である。

(略)

【アジア学科履修細則一部変更】2012年度入学生に適用

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間割作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

2016年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)

(学部学科の目的)

第2条 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化(コモン・リベラル・アーツ)の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

2 国際教養学部は、アジア学科と国際教養学科を置く。

アジア学科では、1)中国語やアジア諸地域でコミュニケーションが可能な英語の実践力を有し、その他のアジア諸言語についても一定の知識をもつ人材、2)アジア諸地域に関する基礎知識のうえにフィールドワークなどの体験的・主体的学習を通じて、日本を含むアジア諸地域の社会と文化に深い理解を持ち、日本はもとより国際社会の多方面で活躍する教養人の育成を目的とする。

国際教養学科では、1)21世紀の国際社会に広く通用する英語コミュニケーション能力を備えた人材、2)異文化コミュニケーション能力の育成と異文化交流の促進、キャリア形成や資格を目指す実践英語学習などを通じて、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人の育成を目的とする。

(定員)

第3条 本学部には置く学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
アジア学科	100名	5名	410名
国際教養学科	130名	5名	530名
計	230名	10名	940名

(略)

第8条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
アジア学科	124単位
国際教養学科	124単位

(略)

第9条 国際教養学部における授業科目及びその単位数は、別表 I 及び学科共通履修細則に定める。

2 その年度に開講する授業科目は、毎学年始めに発表する。

3 履修の詳細については、各学科の履修細則による。

(略)

第11条 学科科目は、必修科目及び選択科目(選択必修科目、選択科目)に分ける。なお、各学科の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
アジア学科	62 単位
<u>国際教養</u> 学科	56 単位

2 各学科における学科科目及び単位数は、別表 I のとおりとする。

第12条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) アジア学科

(表略)

(2) 国際教養学科

(表略)

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。(国際教養学科履修細則 II—2、II—3 参照)

(略)

(単位の計算)

第15条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 外国語科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(4) 卒業論文については、アジア学科 6 単位、国際教養学科 4 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(卒業及び学位)

第 27 条 本大学に 4 年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとする。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

アジア学科 学士(国際教養学)

国際教養学科 学士(国際教養学)

(略)

別表Ⅰ（第9条関係）

（1）アジア学科 開講科目表

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	必修	講義	アジア論1	2				○	○	○		16単位
			アジア論2	2				○	○	○		
		演習	基礎演習1	2				○	○	○		
			基礎演習2	2				○	○	○		
			応用演習1	2					○	○		
			応用演習2	2					○	○		
			卒業演習1	2						○		
			卒業演習2	2						○		
	選択必修A	専修中国語群	専修中国語初級講読1		2		○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。
			専修中国語初級講読2		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1		2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2		2		○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級講読2		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文2		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話1		2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話2		2			○	○	○	科	
			専修総合中国語1		2				○	○	科	
			専修総合中国語2		2				○	○	科	
			専修中国語上級会話1		2				○	○	科	
			専修中国語上級会話2		2				○	○	科	
		専修英語群	中国語現地演習		4			○	○	○		中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。
			中国語文化演習		4			○	○	○		
			英語リーディング1		2		○	○	○	○		カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。
			英語リーディング2		2		○	○	○	○		
			英語ライティング1		2		○	○	○	○		
			英語ライティング2		2		○	○	○	○		
			英語発音クリニック		2		○	○	○	○		
			英語リーディング3		2			○	○	○		
			英語リーディング4		2			○	○	○		
			英語ライティング3		2			○	○	○		
			英語ライティング4		2			○	○	○		
			英語コミュニケーション1		2			○	○	○		
			英語コミュニケーション2		2			○	○	○		
			英語プレゼンテーション1		2				○	○		
			英語プレゼンテーション2		2				○	○		
			カナダ現地演習		4			○	○	○		
			カナダ文化演習		4			○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	論文									
			卒業論文		6					○		
			フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
			東洋史概説1		2			○	○	○	科	
			東洋史概説2		2			○	○	○	科	
			西洋史概説1		2			○	○	○	科	
			西洋史概説2		2			○	○	○	科	
			日本史概説1		2			○	○	○	科	
			日本史概説2		2			○	○	○	科	
			考古学概説1		2			○	○	○		
			考古学概説2		2			○	○	○		
			人文地理学概説1		2			○	○	○	科	
			人文地理学概説2		2			○	○	○	科	
			自然地理学概説1		2			○	○	○	科	
			自然地理学概説2		2			○	○	○	科	
			地誌学1		2			○	○	○	科	
			地誌学2		2			○	○	○	科	
			アジア研究入門1		2			○	○	○	科	
			アジア研究入門2		2			○	○	○	科	
			東南アジアの社会1		2			○	○	○		
			東南アジアの社会2		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会1		2			○	○	○	科	
			南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教1		2			○	○	○	科	
			インドの思想と宗教2		2			○	○	○	科	
			近現代の中国		2			○	○	○		
			現代中国の文芸1		2			○	○	○	科	
			現代中国の文芸2		2			○	○	○	科	
			漢文学		2			○	○	○	科	
			日本文学史1		2			○	○	○	科	
			日本文学史2		2			○	○	○	科	
			日本文学概説1		2			○	○	○	科	
			日本文学概説2		2			○	○	○	科	
			中国の思想1		2				○	○	科	
			中国の思想2		2				○	○	科	
			西南アジアの歴史1		2				○	○	科	
			西南アジアの歴史2		2				○	○	科	
			中国の文学1		2				○	○	科	
			中国の文学2		2				○	○	科	
			日本の芸能と文学1		2				○	○	科	
			日本の芸能と文学2		2				○	○	科	
			比較社会史1		2				○	○	科	
			比較社会史2		2				○	○	科	
			現代アジアの諸問題1		2				○	○		
			現代アジアの諸問題2		2				○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
			国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国際事情		4			○	○	○		

24単位以上

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	選択必修C	講義	アジアフィールドワーク1		4			○	○	○	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。
			アジア社会演習1		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
			アジア社会演習2		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
			アジア社会演習3		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
			アジア社会演習4		4			○	○	○		
			国際特別演習		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国際表現演習		4			○	○	○		
			日本語のための古典1		2		○	○	○	○	科	
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○	科	
			日本語学1		2		○	○	○	○	科	
			日本語学2		2		○	○	○	○	科	
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		
			国語学1		2			○	○	○	科	
			国語学2		2			○	○	○	科	
			応用日本語1		2			○	○	○	科	
			応用日本語2		2			○	○	○	科	
			国語学史		2				○	○	科	
			日本語教育演習1		2				○	○		
			日本語教育演習2		2				○	○		
			アジア英語1		2				○	○		
			アジア英語2		2				○	○		
	実習	日本語教育実習1		1					○			
		日本語教育実習2		1					○			
	選択	講義	イギリス文化講義			2		○	○	○		
			アメリカ文化講義			2		○	○	○		
			イギリス史			2		○	○	○		
			アメリカ史			2		○	○	○		
			英文学概論1			2		○	○	○		
			英文学概論2			2		○	○	○		
			米文学概論1			2		○	○	○		
			米文学概論2			2		○	○	○		
			英語学概論1			2		○	○	○		
			英語学概論2			2		○	○	○		
			英語学講義1			2		○	○	○		
			英語学講義2			2		○	○	○		
			英語音声学1			2		○	○	○		
			英語音声学2			2		○	○	○		
			英語コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			英語コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			情報科学各論1			2		○	○	○		
			情報科学各論2			2		○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 目	選 択	講 義	言語情報処理概論1			2		○	○	○		
			言語情報処理概論2			2		○	○	○		
			コンピュータと英語研究			2		○	○	○		
			コンピュータと英語教育			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			日欧比較論1			2		○	○	○		
			日欧比較論2			2		○	○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			文化人類学			2			○	○		
			経済原論1			2		○	○	○	科 科	
			経済原論2			2		○	○	○		
			アジア経済論1			2		○	○	○		
			アジア経済論2			2		○	○	○		
			オーストラリア経済論			4		○	○	○		
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
			現代韓国事情			2		○	○	○		
			社会学概論1			2		○	○	○	科 科 科	
			社会学概論2			2		○	○	○		
			哲学概論1			2		○	○	○		
			哲学概論2			2		○	○	○		
			日本経済史1			2			○	○		
			日本経済史2			2			○	○		
			外国経済史1			2			○	○		
			外国経済史2			2			○	○		
			経済地理1			2			○	○		
			経済地理2			2			○	○		
			中国語科教育研究1			2			○	○	職 職	
			中国語科教育研究2			2			○	○		
			国語科教育研究1			2			○	○	職 職	
			国語科教育研究2			2			○	○		
			教職ゼミⅠ			2			○	○	○	
教職ゼミⅡ			2				○	○				
	自 由	講 義	書道1			2		○	○	○	科 科	教職課程に関する規程第3条第4項 第8号に定める科目
			書道2			2		○	○	○		
※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許 教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。												

(2) 国際教養学科 開講科目表

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	必修	日本語能力強化科目	日本語ワークショップ	2				○	○	○		2単位
		専修英語	英語リーディング1	2			○	○	○	○		26単位
			英語リーディング2	2			○	○	○	○		
			英語ライティング1	2			○	○	○	○		
			英語ライティング2	2			○	○	○	○		
			英語発音クリニック	2			○	○	○	○		
			英語リーディング3	2				○	○	○		
			英語リーディング4	2				○	○	○		
			英語ライティング3	2				○	○	○		
			英語ライティング4	2				○	○	○		
			英語コミュニケーション1	2				○	○	○	科	
			英語コミュニケーション2	2				○	○	○	科	
			英語プレゼンテーション1	2					○	○		
			英語プレゼンテーション2	2					○	○		
	選択	専修中国語群	専修中国語初級講読1			2	○	○	○	○		専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。
			専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1			2		○	○	○		
			専修中国語中級講読2			2		○	○	○		
			専修中国語中級作文1			2		○	○	○		
			専修中国語中級作文2			2		○	○	○		
			専修中国語中級会話1			2		○	○	○		
			専修中国語中級会話2			2		○	○	○		
			専修総合中国語1			2			○	○		
			専修総合中国語2			2			○	○		
			専修中国語上級会話1			2			○	○		
			専修中国語上級会話2			2			○	○		
	選択必修A	実践英語	資格英語1		2				○	○		8単位以上
			資格英語2		2				○	○		
			資格英語3		2					○		
			資格英語4		2					○		
			トラベルイングリッシュ1		2				○	○		
			トラベルイングリッシュ2		2				○	○		
			観光ビジネス英語1		2				○	○		
			観光ビジネス英語2		2				○	○		
			秘書英語1		2				○	○		
			秘書英語2		2				○	○		
			通訳英語1		2				○	○		
			通訳英語2		2				○	○		
			国際事情		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国際表現演習		4			○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学科科目	必修	演習	特論演習1	2					○	○		8単位
			特論演習2	2					○	○		
			卒業演習1	2						○		
			卒業演習2	2						○		
	選択	論文	卒業論文		4					○		12単位以上
			イギリス文化講義	2				○	○	○	科	
	アメリカ文化講義	2				○	○	○	科			
	イギリス史	2				○	○	○	科			
	アメリカ史	2				○	○	○	科			
	英文学概論1	2				○	○	○	科			
	英文学概論2	2				○	○	○	科			
	米文学概論1	2				○	○	○	科			
	米文学概論2	2				○	○	○	科			
	英語学概論1	2				○	○	○	科			
	英語学概論2	2				○	○	○	科			
	英語学講義1	2				○	○	○	科			
	英語学講義2	2				○	○	○	科			
	英語音声学1	2				○	○	○	科			
	英語音声学2	2				○	○	○	科			
	英語コミュニケーション論1	2				○	○	○				
	英語コミュニケーション論2	2				○	○	○				
	情報科学各論1	2				○	○	○				
	情報科学各論2	2				○	○	○				
	言語情報処理概論1	2				○	○	○	科			
	言語情報処理概論2	2				○	○	○	科			
	コンピュータと英語研究	2				○	○	○				
	コンピュータと英語教育	2				○	○	○				
	異文化間コミュニケーション論1	2				○	○	○				
	異文化間コミュニケーション論2	2				○	○	○				
	日欧比較論1	2				○	○	○				
	日欧比較論2	2				○	○	○				
	現地演習	カナダ現地演習	4				○	○	○	現地演習と文化演習は、同一地域のものを必ずセットで履修すること。		
		カナダ文化演習	4				○	○	○			
		中国語現地演習	4				○	○	○			
		中国語文化演習	4				○	○	○			
	講義	アジア論1	2				○	○	○			
		アジア論2	2				○	○	○			
		フィールドワーク論	2			○	○	○	○			
		東洋史概説1	2				○	○	○			
		東洋史概説2	2				○	○	○			
		日本史概説1	2				○	○	○			
		日本史概説2	2				○	○	○			
		考古学概説1	2				○	○	○			
		考古学概説2	2				○	○	○			

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	人文地理学概説1		2			○	○	○		12単位以上
			人文地理学概説2		2			○	○	○		
			自然地理学概説1		2			○	○	○		
			自然地理学概説2		2			○	○	○		
			地誌学1		2			○	○	○		
			地誌学2		2			○	○	○		
			アジア研究入門1		2			○	○	○		
			アジア研究入門2		2			○	○	○		
			東南アジアの社会1		2			○	○	○		
			東南アジアの社会2		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会1		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教1		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教2		2			○	○	○		
			近現代の中国		2			○	○	○		
			現代中国の文芸1		2			○	○	○		
			現代中国の文芸2		2			○	○	○		
			漢文学		2			○	○	○		
			日本文学史1		2			○	○	○		
			日本文学史2		2			○	○	○		
			日本文学概説1		2			○	○	○		
			日本文学概説2		2			○	○	○		
			中国の思想1		2				○	○		
			中国の思想2		2				○	○		
			西南アジアの歴史1		2				○	○		
			西南アジアの歴史2		2				○	○		
			中国の文学1		2				○	○		
			中国の文学2		2				○	○		
			日本の芸能と文学1		2				○	○		
			日本の芸能と文学2		2				○	○		
			比較社会史1		2				○	○		
			比較社会史2		2				○	○		
			現代アジアの諸問題1		2				○	○		
			現代アジアの諸問題2		2				○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
			アジアフィールドワーク1		4			○	○	○		アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。
			アジア社会演習1		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
			アジア社会演習2		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
			アジア社会演習3		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
			アジア社会演習4		4			○	○	○		

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	日本語のための古典1		2		○	○	○	○	12単位以上		
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○			
			日本語学1		2		○	○	○	○			
			日本語学2		2		○	○	○	○			
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○			
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○			
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○			
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○			
			韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○			
			国語学1		2			○	○	○			
			国語学2		2			○	○	○			
			国語学史		2				○	○			
			日本語教育演習1		2				○	○			
			日本語教育演習2		2					○		○	
			アジア英語1		2					○		○	
			アジア英語2		2					○		○	
	日本語教育実習1		1						○				
	日本語教育実習2		1						○				
	国際コミュニケーション論		4				○	○	○				
	国際特別演習		4					○	○	○			
	教職ゼミⅠ		2					○	○	○			
	教職ゼミⅡ		2						○	○			
	選 択	講 義	西洋史概説1			2			○	○	○	大学が認めた留学生専用科目	
			西洋史概説2			2				○	○		○
			応用日本語1			2				○	○		○
			応用日本語2			2				○	○		○
			心理学体系論			2					○		○
			心理学の歴史			2					○		○
			美学美術史1			2				○	○		○
			美学美術史2			2				○	○		○
			哲学概論1			2				○	○		○
			哲学概論2			2				○	○		○
認知心理学					2				○	○	○		
文化人類学					2					○	○		
オーストラリア産業論1					2				○	○	○		
オーストラリア産業論2					2					○	○		
韓国の文化と社会1					2				○	○	○		
韓国の文化と社会2					2				○	○	○		
現代韓国事情			2				○	○	○				
※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。													

【アジア学科履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)

Ⅱ 共通科目

1 新入生演習

(略)

2) 学科共通履修細則の新入生演習の項を参照すること。

(略)

Ⅲ 学科科目

(略)

2) アジア学科の学科科目は、必修（講義・演習）、選択必修A、選択必修B、選択必修C、選択に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(略)

【国際教養学科履修細則制定】 2012年度入学生に適用

国際教養学科履修細則

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、『時間割作成の手引き』と各学科等の開講科目表とにより、本年度における履修科目を決定すること。
- 2) 学科履修細則は、各学科により異なるので、各自の所属学科の履修細則に定められたところにしたがうこと。
- 3) 同一時限に同時に開講されている科目は、重複して履修することができない。
- 4) 授業科目のうちで、A、B、C 等クラスの区別のあるものは、そのいずれか一つを選択履修すること。
- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

年 次	1 年		2 年		3 年		4 年	
学 期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	24	24	24	24	24	24	24	24

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、総合科目のうち、国際交流科目、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1
インターンシップ実習 2
インターンシップ実習 3
インターンシップ実習 4
リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2
リーダーズプログラム 3
リーダーズプログラム 4
リーダーズプログラム 5
リーダーズプログラム 6
リーダーズプログラム 7
リーダーズプログラム 8
リーダーズプログラム 9
リーダーズプログラム 10
リーダーズプログラム 11
スポーツフィールド実習Ⅰ
スポーツフィールド実習Ⅱ
交換留学インド
交換留学オーストラリア
交換留学アメリカ
交換留学中国
交換留学タイ
交換留学イギリス
交換留学韓国
交換留学オランダ
交換留学ドイツ
交換留学台湾
交換留学スペイン
海外セミナー
短期海外セミナー
国際現地研修
海外インターンシップ

- 6) 履修登録を所定の方法に従って、指定の期日までに行うこと。この手続きをしない場合には、授業及び試験を受けることも、単位を修得することもできない。

Ⅱ 共通科目

- 1) 共通科目は、新入生演習、基本科目、外国語科目、体育科目、総合科目に分かれる。

それぞれ、本履修細則に定められたとおりに履修すること。

- 2) 共通科目は、22 単位以上を修得しなければならない。
- 3) 必要単位数(22 単位)を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として認める。

1 新入生演習

- 1) 新入生演習は、1 年次春学期において、全員履修するものとする。修得した単位は、卒業に必要な単位として認める。
- 2) 国際教養学科開講科目表及び学科共通履修細則の新入生演習の項を参照すること。

2 基本科目

- 1) 基本科目は、16 単位以上を修得しなければならない。外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を含めて 16 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の基本科目の項を参照すること。
- 2) 国際教養学科の開講する基本科目は、次のとおりである。原則として 1 年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

- 3) 必修単位数(16 単位)を超えて修得した基本科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。
- 4) キャリアデザイン論は、1 年生が全員履修すること。

3 外国語科目

- 1) 外国語科目については、必要単位数を設けない。修得した外国語科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。
- 2) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 4 単位を修得しなければならない。

4 体育科目

- 1) 体育科目は、2 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。
- 2) 必修単位数(2 単位)を超えて修得した体育科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。

5 総合科目

- 1) 総合科目のうち「追大 UI 科目」はすべての単位を、「追大プロジェクト科目」は最大 8 単位まで、「国際交流科目」においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・

検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

- 2) 学科共通履修細則の総合科目の項を参照すること。

Ⅲ 学科科目

- 1) 国際教養学科の開設する学科科目については、56 単位以上を修得しなければならない。なお、国際教養学科の学生が卒業に必要な単位の総数は前記「共通科目」（「新入生演習」「基本科目」「外国語科目」「総合科目」）として規定された単位数とあわせて計 124 単位である。

- 2) 国際教養学科の学科科目は、必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)、選択必修 A、選択必修 B、選択(専修中国語群・卒業論文・講義)に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学科開講科目表を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(A) 必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習) は、36 単位を修得しなければならない。

- ① 1 年次配当は「英語リーディング 1」「英語リーディング 2」「英語ライティング 1」「英語ライティング 2」「英語発音クリニック」計 10 単位である。

- ② 2 年次配当は「日本語ワークショップ」「英語リーディング 3」「英語リーディング 4」「英語ライティング 3」「英語ライティング 4」「英語コミュニケーション 1」「英語コミュニケーション 2」計 14 単位である。

- ③ 3 年次配当は「英語プレゼンテーション 1」「英語プレゼンテーション 2」「特論演習 1」「特論演習 2」計 8 単位である。

- ④ 4 年次配当は「卒業演習 1」「卒業演習 2」計 4 単位である。

(B) 選択必修 A(実践英語) は、8 単位以上修得しなければならない。

(C) 選択必修 B(講義(現地演習を含む)) は、12 単位以上を修得しなければならない。なお、「現地演習」については本履修細則Ⅳに、「フィールドワーク/ 社会演習」については本履修細則Ⅴにそれぞれ定める。

(D) 選択科目(専修中国語群・卒業論文・講義) については、必要単位数を設けない。

「専修中国語群」のうち、「専修中国語初級講読 1」「専修中国語初級講読 3」「専修中国語初級講読 2」「専修中国語初級講読 4」の履修にあたっては、一つの科目を単独で

履修することはできず、必ず「専修中国語初級講読 1」と「専修中国語初級講読 3」、または「専修中国語初級講読 2」と「専修中国語初級講読 4」をセットとして、なおかつ同じクラスで履修しなければならない。

さらに、「卒業論文」については、本履修細則VIに定める。

- 3) 必修単位数(56 単位)を超えて修得した学科科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。

IV 現地演習

- 1) 現地演習科目は、現地演習である「カナダ現地演習」および「中国語現地演習」と、事前の準備、事後の総括を主内容とする「カナダ文化演習」および「中国語文化演習」からなる。
- 2) 履修する場合は、同一地域のものをセットにして同一年次に履修しなければならない。
- 3) 現地演習は、2 セット(16 単位)を履修することができる。ただし、同一年次につき、1 セットの履修しかできない。
- 4) 受講生側の事情で、現地演習への参加が不可能になった場合については、原則として文化演習の単位を単独で認定はしない。
- 5) 現地演習への参加に要する旅費、宿泊費などの費用は学生の自己負担とする。
- 6) 現地演習の詳細については別に定める。

V フィールドワーク

- 1) フィールドワークは、現地学習である「アジアフィールドワーク」と事前の準備、事後の総括を主内容とする「アジア社会演習」からなり、対象地域は、中国、東南アジア、韓国、日本に分かれる。
- 2) 「アジアフィールドワーク」と「アジア社会演習」は、同一地域のもの（科目名番号の同じもの）をセットにして 8 単位を同一年次に履修しなければならない。個別 4 単位の履修は認めない。受講生側の事情で、現地学習への参加が不可能になった場合も、原則として「アジア社会演習」の単位を単独では認定しない。
- 3) フィールドワークは、4 セット(32 単位)を履修することができる。ただし、同一年次につき、1 セットの履修しかできない。
- 4) 現地学習への参加に要する旅費、宿泊費などの費用は学生の自己負担とする。
- 5) 現地学習の詳細については別に定める。

VI 卒業論文

- 1) 卒業論文は、選択科目で 4 単位とする。
- 2) 学科の第 4 年次に在学し、「卒業演習 1」あるいは「卒業演習 2」のいずれかの単位を修得した者は「卒業演習」の担当教員の指導のもとに所定の手続きを経て、所定の期日までに卒業論文を提出することができる。
- 3) 卒業論文は、国際教養学科の専攻に関連する研究課題を選び論述するものとする。
- 4) 卒業論文は、所定の様式に従って執筆し、和文の場合には 1 ページ 1,200 字で 10 ページ以上 17 ページ以内、英文の場合には 1 行 60 ストロークとし 1 ページ 25 行で、20 ページ以上 30 ページ以内とする。
- 5) 卒業論文は、春学期は 6 月 15 日までに、秋学期は 12 月 15 日までに教務課に提出しなければならない。期日に遅れたものは受理しない。病気やその他やむを得ない事情により期日までに提出できないものは、その理由を証する書面を添えて願い出た場合に限り、秋学期は 1 月 10 日、春学期は 7 月 10 日を提出限度として延期を許可することがある。
- 6) 卒業論文の審査は論文審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。

VII 副専攻科目

- 1) 所属学部以外の科目や特定の分野に関する科目を系統的に学ぶことで、基礎知識を確立し、学術的見地から考察できる能力や実践的応用力を身につけるために副専攻科目を開設する。
- 2) 詳細については、学科共通履修細則を参照すること。

2015年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2008～2014 年度入学生に適用

(授業科目及び履修方法)

(略)

第 12 条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) アジア学科

(略)

＊ 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 8 単位を修得しなければならない。(アジア学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(2) 英語コミュニケーション学科

(略)

＊ 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。(英語コミュニケーション学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(科目修了の認定)

第 20 条 科目修了の認定は、試験によるほか、平素の成績を考慮して行う。

(略)

(入学)

(略)

第 29 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 35 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(退学)

(略)

第 39 条 前条により退学した者又は除籍された者が同一の学科に再入学を願い出た時は、退学又は除籍後 2 年以内に限り、選考の上、許可することがある。ただし、学則第 66 条第 1 号の規定により除籍された者は、再入学を許可しない。

(略)

(懲戒)

第 59 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

【国際教養学部アジア学科履修細則一部変更】 2009～2013年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

(略)

II 共通科目

(略)

2 基本科目

1) 基本科目は、16 単位以上を修得しなければならない。外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を含めて 16 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の基本科目の項を参照すること。

2) アジア学科の開設する基本科目は、次のとおりである。原則として 1 年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

人文地理学入門

アジアと国際社会 1

アジアと国際社会 2

アジアの文化 1

アジアの文化 2

アジアの文学 1

アジアの文学 2

日本の文学

日本の伝統芸能

オーストラリアと国際社会1

オーストラリアと国際社会2

自然地理学

(略)

3 外国語科目

(略)

2) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 8 単位を修得しなければならない。

(略)

5 総合科目

1) 総合科目のうち「追大 UI 科目」は全ての単位を、「追大プロジェクト科目」は最大 8 単位まで、「国際交流科目」においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

(略)

アジア学科 開講科目表 (2013 年度以前入学生用)

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教 職 ※	要件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3	4		
共通科目		新入生演習				○	○	○	○		(削除)
	基本 科目	「生活と社会」				○	○	○	○		16単位以上 キャリアデザイン論は1年 次全員履修すること。 ただし外国人特別学生、外 国人留学生及び帰国生徒 のうち指定された者は、必 ず日本事情1・2・3・4の8 単位を含むものとする。
		「自然と数理」				○	○	○	○		
		「言語と文化」				○	○	○	○		
		日本事情1				○	○	○	○		
		日本事情2				○	○	○	○		
		日本事情3				○	○	○	○		
		日本事情4				○	○	○	○		
	外国語 科目	中国語・英語・ドイツ語・フランス語から選択 日本語(外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ)				○	○	○	○		2単位以上 ただし、外国人特別学生、 外国人留学生及び帰国生 徒のうち指定された者につ いては別に定める方法に よる。
	体育科 目					○	○	○	○		2単位以上
	総合 科目	「追大U 科目」は全ての単位を、「追大プロジェクト科目」は最大8 単位まで、「スポーツキャリア科目」は全ての単位を、「国際交流 科目」においては最大4単位までを卒業に必要な単位として認め る。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に 定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合において は、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コン ソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、 最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。				○	○	○	○		学科共通履修細則 参照
学 科 科 目	必修	講義	アジア論1	2			○	○	○		16単位
			アジア論2	2			○	○	○		
		演習	基礎演習1	2			○	○	○		
			基礎演習2	2			○	○	○		
			応用演習1	2				○	○		
			応用演習2	2				○	○		
			卒業演習1	2					○		
			卒業演習2	2					○		
	選択 必修 A	専修 中国語 群	専修中国語初級講読1	2		○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英 語群のいずれかを選択し、16 単位以上修得すること。た だし、外国人留学生及び帰国生 徒のうち指定された者につ いては学科の指定する専修外 国語群から16単位以上修得 しなければならない。 専修中国語初級講読1と専修 中国語初級講読3、または専 修中国語初級講読2と専修中 国語初級講読4は、それぞれ 必ずセットとして、なおかつ同 じクラスで履修すること。
			専修中国語初級講読2	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2	2		○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1	2			○	○	○	科	
			専修中国語中級講読2	2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文1	2			○	○	○	科	
			専修中国語中級作文2	2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話1	2			○	○	○	科	
			専修中国語中級会話2	2			○	○	○	科	
			専修総合中国語1	2				○	○	科	
			専修総合中国語2	2				○	○	科	
			専修中国語上級会話1	2				○	○	科	
			専修中国語上級会話2	2				○	○	科	
		専修 英語 群	中国語現地演習	4		○	○	○	○		中国語現地演習と中国語文化演 習は必ずセットで履修すること。
			中国語文化演習	4		○	○	○	○		
			英語リーディング1	2		○	○	○	○		
			英語リーディング2	2		○	○	○	○		
			英語ライティング1	2		○	○	○	○		
			英語ライティング2	2		○	○	○	○		
			英語発音クリニック2	2		○	○	○	○		
			英語リーディング3	2			○	○	○		
			英語リーディング4	2			○	○	○		
			英語ライティング3	2			○	○	○		
			英語ライティング4	2			○	○	○		
			英語コミュニケーション1	2			○	○	○	科	
			英語コミュニケーション2	2			○	○	○	科	
			英語プレゼンテーション1	2				○	○		
			英語プレゼンテーション2	2				○	○		
			カナダ現地演習	4			○	○	○		カナダ現地演習とカナダ文化演 習は必ずセットで履修すること。
			カナダ文化演習	4			○	○	○		

学 科 科 目	選 択	講 義	イギリス文化講義			2		○	○	○	科	
			アメリカ文化講義			2		○	○	○	科	
			イギリス史			2		○	○	○	科	
			アメリカ史			2		○	○	○	科	
			英文学概論1			2		○	○	○	科	
			英文学概論2			2		○	○	○	科	
			米文学概論1			2		○	○	○	科	
			米文学概論2			2		○	○	○	科	
			英語学概論1			2		○	○	○	科	
			英語学概論2			2		○	○	○	科	
			英語学講義1			2		○	○	○	科	
			英語学講義2			2		○	○	○	科	
			英語音声学1			2		○	○	○	科	
			英語音声学2			2		○	○	○	科	
			英語コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			英語コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			情報科学各論1			2		○	○	○		
			情報科学各論2			2		○	○	○		
			言語情報処理概論1			2		○	○	○	科	
			言語情報処理概論2			2		○	○	○	科	
			コンピュータと英語研究2			2		○	○	○		
			コンピュータと英語教育2			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			日欧比較論1			2		○	○	○		
			日欧比較論2			2		○	○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			文化人類学			2			○	○		
			経済原論1			2		○	○	○	科	
			経済原論2			2		○	○	○	科	
			アジア経済論1			2		○	○	○		
			アジア経済論2			2		○	○	○		
			オーストラリア経済論			4		○	○	○		
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
			現代韓国事情			2		○	○	○		
			社会学概論1			2		○	○	○	科	
			社会学概論2			2		○	○	○	科	
			哲学概論1			2		○	○	○	科	
			哲学概論2			2		○	○	○	科	
			日本経済史1			2			○	○		
			日本経済史2			2			○	○		
			外国経済史1			2			○	○		
			外国経済史2			2			○	○		
			経済地理1			2			○	○		
			経済地理2			2			○	○		
			中国語科教育研究1			2			○	○		
			中国語科教育研究2			2			○	○		
			国語科教育研究1			2			○	○		
			国語科教育研究2			2			○	○		
			ERP ビジネスプロセス1			2			○	○		
			ERP ビジネスプロセス2			2			○	○		
			ERP ビジネスプロセス演習1			2			○	○		
			ERP ビジネスプロセス演習2			2			○	○		
			教職ゼミⅠ			2		○	○	○		
			教職ゼミⅡ			2			○	○		

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

(略)

【国際教養学部英語コミュニケーション学科履修細則一部変更】

2008～2013年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

スポーツフィールド実習 I

スポーツフィールド実習 II

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン
海外セミナー
短期海外セミナー
国際現地研修
海外インターンシップ

(略)

II 共通科目

(略)

2 基本科目

- 1) 基本科目は、16 単位以上を修得しなければならない。外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を含めて 16 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の基本科目の項を参照すること。
- 2) 基本科目は、原則として 1 年次で履修することが望ましい。
なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

(略)

3 外国語科目

(略)

- 2) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 4 単位を修得しなければならない。

(略)

5 総合科目

- 1) 総合科目のうち「追大 UI 科目」は全ての単位を、「追大プロジェクト科目」は最大 8 単位まで、「国際交流科目」においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

(略)

英語コミュニケーション学科 開講科目表 (2013年度以前入学生用)

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教 職 卒	要件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3	4		
共通科目		新入生演習				○	○	○	○		(削除)
	基本 科目	「生活と社会」				○	○	○	○		16単位以上 キャリアデザイン論は1年次 全員履修すること。 ただし外国人特別学生、外国 人留学生及び帰国生徒のう ち指定された者は、必ず日本 事情1・2・ 3・4の8単位を含むものとする。
		「自然と数理」				○	○	○	○		
		「言語と文化」				○	○	○	○		
		日本事情1				○	○	○	○		
		日本事情2				○	○	○	○		
		日本事情3				○	○	○	○		
		日本事情4				○	○	○	○		
	外国語 科目	中国語・英語・ドイツ語・フランス語から選択 日本語(外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ)				○	○	○	○		外国人特別学生、外国人 留学生及び帰国生徒のう ち指定された者については 別に定める方法による。
	体育科 目					○	○	○	○		2単位以上
	総合 科目	「追大U 科目」は全ての単位を、「追大プロジェクト科目」は最大8 単位まで、「スポーツキャリア科目」は全ての単位を、「国際交流 科目」においては最大4単位までを卒業に必要な単位として認め る。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に 定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合において は、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コン ソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、 最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。				○	○	○	○		学科共通履修細則 参照
学科科目	必修	日本語 能力強化科目	日本語ワークショップ	2				○	○	○	2単位
		専修 英語	英語リーディング1	2			○	○	○	○	26単位
			英語リーディング2	2			○	○	○	○	
			英語ライティング1	2			○	○	○	○	
			英語ライティング2	2			○	○	○	○	
			英語発音クリニック2	2			○	○	○	○	
			英語リーディング3	2				○	○	○	
			英語リーディング4	2				○	○	○	
			英語ライティング3	2				○	○	○	
			英語ライティング4	2				○	○	○	
			英語コミュニケーション1	2				○	○	○	
			英語コミュニケーション2	2				○	○	○	
			英語プレゼンテーション1	2					○	○	
			英語プレゼンテーション2	2					○	○	
	選択	専修 中国語 群	専修中国語初級講読1			2	○	○	○	○	専修中国語初級講読1と 専修中国語初級講読3、ま たは専修中国語初級講読 2と専修中国語初級講読4 は、それぞれ必ずセットと して、なおかつ同じクラスで 履修すること。
			専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○	
			専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○	
			専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○	
			専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○	
			専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○	
			専修中国語中級講読1			2		○	○	○	
			専修中国語中級講読2			2		○	○	○	
			専修中国語中級作文1			2		○	○	○	
			専修中国語中級作文2			2		○	○	○	
			専修中国語中級会話1			2		○	○	○	
			専修中国語中級会話2			2		○	○	○	
			専修総合中国語1			2			○	○	
			専修総合中国語2			2			○	○	
			専修中国語上級会話1			2			○	○	
			専修中国語上級会話2			2			○	○	

学 科 科 目	選 択 必 修 A	実 践 英 語	資格英語1		2				○	○		8単位以上	
			資格英語2		2				○	○			
			資格英語3		2					○			
			資格英語4		2					○			
			トラベルイングリッシュ1		2					○	○		
			トラベルイングリッシュ2		2				○	○			
			観光ビジネス英語1		2				○	○			
			観光ビジネス英語2		2				○	○			
			秘書英語1		2				○	○			
			秘書英語2		2				○	○			
			通訳英語1		2				○	○			
			通訳英語2		2				○	○			
			国際事情		4				○	○			大学が認めた留学生専用科目
			国際表現演習		4				○	○			
	必 修	演 習	特論演習1	2					○	○		8単位	
			特論演習2	2					○	○			
			卒業演習1	2						○			
			卒業演習2	2						○			
	選 択	論 文	卒業論文		4						○		
	選 択 必 修 B	講 義	イギリス文化講義		2				○	○	○	12単位以上	
			アメリカ文化講義		2				○	○	○		
			イギリス史		2				○	○	○		
			アメリカ史		2				○	○	○		
			英文学概論1		2				○	○	○		
			英文学概論2		2				○	○	○		
			米文学概論1		2				○	○	○		
			米文学概論2		2				○	○	○		
			英語学概論1		2				○	○	○		
			英語学概論2		2				○	○	○		
			英語学講義1		2				○	○	○		
			英語学講義2		2				○	○	○		
			英語音声学1		2				○	○	○		
			英語音声学2		2				○	○	○		
			英語コミュニケーション論1		2				○	○	○		
			英語コミュニケーション論2		2				○	○	○		
			情報科学各論1		2				○	○	○		
			情報科学各論2		2				○	○	○		
			言語情報処理概論1		2				○	○	○		
			言語情報処理概論2		2				○	○	○		
			コンピュータと英語研究		2				○	○	○		
			コンピュータと英語教育		2				○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1		2				○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2		2				○	○	○		
			日欧比較論1		2				○	○	○		
			日欧比較論2		2				○	○	○		
		現 地 演 習	カナダ現地演習		4				○	○	○	現地演習と文化演習は、 同一地域のものを必ずセッ トで履修すること。	
			カナダ文化演習		4				○	○	○		
			中国語現地演習		4				○	○	○		
			中国語文化演習		4				○	○	○		

学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	アジア論1		2			○	○	○		
			アジア論2		2			○	○	○		
			フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
			東洋史概説1		2			○	○	○	科	
			東洋史概説2		2			○	○	○	科	
			日本史概説1		2			○	○	○	科	
			日本史概説2		2			○	○	○	科	
			考古学概説1		2			○	○	○		
			考古学概説2		2			○	○	○		
			人文地理学概説1		2			○	○	○	科	
			人文地理学概説2		2			○	○	○	科	
			自然地理学概説1		2			○	○	○	科	
			自然地理学概説2		2			○	○	○	科	
			地誌学1		2			○	○	○	科	
			地誌学2		2			○	○	○	科	
			アジア研究入門1		2			○	○	○	科	
			アジア研究入門2		2			○	○	○	科	
			東南アジアの社会1		2			○	○	○		
			東南アジアの社会2		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会1		2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
			インドの思想と宗教1		2			○	○	○	科	
			インドの思想と宗教2		2			○	○	○	科	
			近現代の中国		2			○	○	○		
			現代中国の文芸1		2			○	○	○	科	
			現代中国の文芸2		2			○	○	○	科	
			漢文学		2			○	○	○	科	
			日本文学史1		2			○	○	○	科	
			日本文学史2		2			○	○	○		
			日本文学概説1		2			○	○	○		
			日本文学概説2		2			○	○	○		
			中国の思想1		2				○	○	科	
			中国の思想2		2				○	○	科	
			西南アジアの歴史1		2				○	○	科	
			西南アジアの歴史2		2				○	○		
			中国の文学1		2				○	○	科	
			中国の文学2		2				○	○	科	
			日本の芸能と文学1		2				○	○	科	
			日本の芸能と文学2		2				○	○	科	
			比較社会史1		2				○	○	科	
			比較社会史2		2				○	○	科	
			現代アジアの諸問題1		2				○	○		
			現代アジアの諸問題2		2				○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
			アジアフィールドワーク1		4			○	○	○	科	
			アジア社会演習1		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
			アジア社会演習2		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
			アジア社会演習3		4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
			アジア社会演習4		4			○	○	○		
			日本語のための古典1		2		○	○	○	○	科	
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○	科	
			日本語学1		2		○	○	○	○	科	
			日本語学2		2		○	○	○	○	科	
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		
			国語学1		2			○	○	○		
			国語学2		2			○	○	○	科	
			国語学史		2				○	○	科	
			日本語教育演習1		2				○	○		
			日本語教育演習2		2				○	○		
			アジア英語1		2				○	○		
			アジア英語2		2				○	○		
			日本語教育実習1		2					○		
			日本語教育実習2		2					○		
			国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
			国際特別演習		4			○	○	○		
			教職ゼミⅠ		2			○	○	○		
			教職ゼミⅡ		2			○	○	○		

アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。

学 科 科 目	選 択	講 義	西洋史概説1			2		○	○	○	科
			西洋史概説2			2		○	○	○	科
			応用日本語1			2		○	○	○	科
			応用日本語2			2		○	○	○	科
			心理学体系論			2			○	○	
			心理学の歴史			2			○	○	
			美学美術史1			2		○	○	○	
			美学美術史2			2		○	○	○	
			哲学概論1			2		○	○	○	科
			哲学概論2			2		○	○	○	科
			認知心理学			2		○	○	○	
			文化人類学			2			○	○	
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○	
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○	
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○	
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○	
			現代韓国事情			2		○	○	○	
			ERP ビジネスプロセス1			2			○	○	
			ERP ビジネスプロセス2			2			○	○	
			ERP ビジネスプロセス演習1			2			○	○	
			ERP ビジネスプロセス演習2			2			○	○	

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

(略)

2014年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】

2007年度以降入学生に適用
(下線部分は変更箇所)

(単位の計算)

第15条 (略)

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(追試験の受験料)

第24条 (略)

(再試験)

第25条 卒業見込者で別に定める要件を満たす学生に対しては、願い出によって再試験を行う。

(再試験の受験料)

第26条 再試験の受験者は、別に定める受験料を納めなければならない。

(卒業及び学位)

第27条 (略)

(以下、条数を繰り下げ。)

【国際教養学部アジア学科履修細則一部変更】2012年度入学生に適用

(下線部は変更箇所)

(略)

アジア学科 開講科目表

履修区分	授業科目	単位			配当年次				要件
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4	

(略)

学 科 科 目	選択必修B	講義	アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
			国際コミュニケーション論		4			○	○	○	
			国際事情		4			○	○	○	
	選択必修C	講義	アジアフィールドワーク1		4			○	○	○	

(略)

学 科 科 目	選択必修C	講義	アジア社会演習4		4			○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
			国際特別演習		4			○	○	○	
			国際表現演習		4			○	○	○	
			日本語のための古典1		2		○	○	○	○	

(略)

学 科 科 目	選択	講義	ERPビジネスプロセス演習2			2			○	○	
			教職ゼミⅠ			2		○	○	○	
			教職ゼミⅡ			2			○	○	

(略)

【国際教養学部英語コミュニケーション学科履修細則一部変更】2012年度入学生に適用
(下線部は変更箇所)

(略)

英語コミュニケーション学科 開講科目表

履修区分	授業科目	単位			配当年次				要件
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4	

(略)

学科科目	選択必修A	実践英語	通訳英語2		2				○	○	<u>大学が認めた留学生専用科目</u>
			国際事情		4			○	○	○	
			国際表現演習		4			○	○	○	
	必修	演習	特論演習1	2					○	○	

(略)

学科科目	選択必修B	講義	日本語教育実習2		2				○	○	<u>大学が認めた留学生専用科目</u>
			国際コミュニケーション論		4			○	○	○	
			国際特別演習		4			○	○	○	
			教職ゼミⅠ		2			○	○	○	
			教職ゼミⅡ		2				○	○	
	選択	講義	西洋史概説1			2		○	○	○	

(略)

2013年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2012年度入学生に適用

(学年及び学期)

第4条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

【国際教養学部アジア学科履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

VI 卒業論文	1)～3) (略) 4) <u>卒業論文の提出予定者は、別に定める期日までに、別に定める方法により、卒業論文の題目を所定の用紙に記入し、指導教員の承認を得て、届け出なければならない。期日に遅れたものは卒業論文の審査を受けることができない。</u> 5) 卒業論文は、秋学期は12月15日までに、春学期は6月15日までに教務課に提出しなければならない。期日に遅れたものは受理しない。病気やその他やむを得ない事情により期日までに提出できないものは、その理由を証する書面を添えて願い出た場合に限り、秋学期は1月10日、春学期は7月10日を提出限度として延期を許可することがある。 6) 卒業論文の審査は論文審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。
---------	--

規程等

「学科共通履修細則」

2018年度より変更があった部分

【学科共通履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

(略)			
IV. 体育科目			
(略)			
3. 履修方法			
(略)			
(5) 講義科目、実技科目（ネイチャーアクティビティを含む）とも、履修希望者が多い場合には、人数を制限したり、クラスを指定することがある。			
(略)			
V 総合科目			
(略)			
(4) 国際交流科目			
(略)			
注：科目一覧－2 は、2007 年度入学生から適用（学籍番号 07 番台から）			
科目一覧－2			
科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
交換留学スペイン	4	1 年次以上	
交換留学 I	4	1 年次以上	
交換留学 II	4	1 年次以上	
海外セミナー	4	1 年次以上	
(略)	(略)	(略)	
(略)	(略)	(略)	
Japanese Economics 2	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目
Japan Program I	2	1 年次以上	
Japan Program II	2	1 年次以上	
Japan Program III	2	1 年次以上	
Japan Program IV	2	1 年次以上	
Japan Program V	2	1 年次以上	
Japan Program VI	2	1 年次以上	
Japan Program VII	2	1 年次以上	

<u>Japan Program VIII</u>	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>	
<u>Japan Program IX</u>	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>	
<u>Japan Program X</u>	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>	
(略)			

2017年度より変更があった部分

【学科共通履修細則一部変更】 2012年度入学生に適用

Ⅲ 外国語科目

(略)

A. 英語

1. 科目の種類

(1) 実用英語・英語講読・英語 L.L.・英会話・検定英語・グローバルキャリアコース専用英語・Academic Englishの 7つの種目をおく。

(略)

グローバルキャリアコース専用英語科目一覧

(略)

Academic English 科目一覧

科目	配当年次
<u>Academic English 1</u>	<u>2 年次以上</u>
<u>Academic English 2</u>	

2. 科目の内容

(略)

(7) Academic English

海外留学を目指す学生を対象とし、留学先の正課授業に適応できるよう、英語 4 技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) に焦点を当て、専門的かつ実用的なコミュニケーションを取るのに必要とされる語彙を学習し、表現力を鍛えると共に、効率的に読み書きする方法やプレゼンテーション技術などを中心に学ぶ。授業では、発音練習やリスニング演習、フォーマル・インフォーマル形式のディスカッション、個人やグループでのプレゼンテーションなどを行う。

(略)

B. ドイツ語

(略)

2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：ドイツ語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力を つける。

(略)

(6) 表現中級 1・2：ことばに不自由なくドイツ語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力を つける。

(7) 検定ドイツ語 1：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読

み・書き能力 をつける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語 2：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力を つける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語 3：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読み・書き能力 をつける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

検定ドイツ語 4：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力を つける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

3. 履修方法

(略)

(5) ドイツ語 読解又は表現 の中級を履修した者 又は 履修中の者は、検定ドイツ語を履修することができる。

(略)

C. フランス語

(略)

2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：フランス語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力を つける。

(略)

(6) 表現中級 1・2：ことばに不自由なくフランス語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力を つける。

(略)

3. 履修方法

(略)

(4) フランス語 読解又は表現 の中級を履修した者 又は 履修中の者は、実用フランス語を履修 することが できる。

(略)

V 総合科目

(略)

(2) 追大プロジェクト科目

(略)

注：科目一覧表－1 は、2013 年度入学生まで適用（学籍番号 13 番台まで）

科目一覧－1

科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
キャリア数学 2	2	2 年次以上	

キャリア数学 3	2	3 年次以上	
キャリア数学 4	2	3 年次以上	
文章論演習	2	2 年次以上	
キャリア英語	2	2 年次以上	
文章理解演習	2	3 年次以上	
社会科学概論 1	2	2 年次以上	
社会科学概論 2	2	3 年次以上	
人文科学総論	2	3 年次以上	
自然科学総論	2	3 年次以上	
キャリア形成論 1	2	2 年次	
(略)			
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション 1	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション 2	2	1 年次以上	
(略)			
グローバルキャリア論	2	2 年次以上	
(略)			
追手門学院大学リーダーズ・ スクール・ゼミナール	2	1 年次以上	リーダー養成コース生専用 科目
リーダーズプログラム 1	2	1 年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。 <u>単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。</u>
リーダーズプログラム 2	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム 3	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム 4	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム 5	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム 6	2	2 年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。 <u>単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。</u>
リーダーズプログラム 7	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム 8	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム 9	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム 10	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム 11	2	2 年次以上	<u>単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただ</u>

			し、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。																		
※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ1)、表現コミュニケーション(ファシリテーション1)、表現コミュニケーション(リーダーシップ1)、表現コミュニケーション(交渉学入門1)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー1)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門1)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング1)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション1)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ1) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション1を履修することはできない。 ※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ2)、表現コミュニケーション(ファシリテーション2)、表現コミュニケーション(リーダーシップ2)、表現コミュニケーション(交渉学入門2)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー2)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門2)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング2)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション2)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ2) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション2を履修することはできない。 (略) (4) 国際交流科目 (略) 注：科目一覧－2 は、2007 年度入学生から適用（学籍番号 07 番台から） 科目一覧－2 <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th><th>単位数</th><th>配当年次</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">(略)</td></tr> <tr> <td>Contemporary Japanese Philosophy 2</td><td>2</td><td>1 年次以上</td><td rowspan="3">大学が認めた留学生専用科目</td></tr> <tr> <td>Japanese Economics 1</td><td>2</td><td>1 年次以上</td></tr> <tr> <td>Japanese Economics 2</td><td>2</td><td>1 年次以上</td></tr> </tbody> </table> (略)				科目	単位数	配当年次	備考	(略)				Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目	Japanese Economics 1	2	1 年次以上	Japanese Economics 2	2	1 年次以上
科目	単位数	配当年次	備考																		
(略)																					
Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目																		
Japanese Economics 1	2	1 年次以上																			
Japanese Economics 2	2	1 年次以上																			

2016年度より変更があった部分

学科共通履修細則の改正部分

※下線部は改正箇所

(略)

V 総合科目群

(1) 追大U I 科目

(略)

科目一覧

科 目	単位数	配当年次
学び論	2	1 年次以上
追手門U I 論	2	1 年次以上
笑学入門	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>
北摂を学ぶ	2	1 年次以上
(略)		

(2) 追大プロジェクト科目

(略)

科目一覧

科 目	単位数	配当年次
(略)		
経営力インターンシップ 2	2	3 年次以上
キャリア数学 1	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
キャリア数学 2	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
文章論演習	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
キャリア英語	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
社会科学概論 1	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
キャリア形成論 1	2	2 年次以上
(略)		

(略)

6. 放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合

(1) 放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は、総合科目の単位として、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

(2) 放送大学の科目は、追手門学院大学と放送大学との単位互換に関する規則に基づき単位認定を行う。

(3) 資格・検定については、大学が指定する資格・検定試験において、本学在学中に一定の

水準を満たした場合に、当該資格・検定認定機関が発行する証明書類を提出することにより単位認定を行う。

(4) 放送大学科目及び資格・検定のいずれの場合も事前に所定の申込を行わなければならない。い。

(5) 放送大学科目及び資格・検定の詳細については、掲示等により通知する。

7. 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合

(1) 大阪府下の大学・短期大学で組織する大学コンソーシアム大阪が、単位互換協定により提供する科目について、本学が履修を認めた科目を履修し単位を修得した場合、本学で修得したものとみなし、総合科目の単位として、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。

(2) 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により履修できる科目の、提供大学・科目名・単位数・シラバス・履修方法等の詳細は、大学コンソーシアム大阪のホームページを参照すること。なお、本学が履修を認めた科目以外は履修することができない。

(3) 大学コンソーシアム大阪単位互換協定による単位修得に関する詳細は、掲示等により通知する。

(略)

VII 科目修了の認定と試験

(略)

7. 学生は各自の学生証を机上に置き、受験しなければならない。

学生証不携帯の場合は、教務課へ受験許可書の発行を願い出ることができる。受験許可書の発行手数料は金1,000円とする。

(略)

9. 追試験は、定期試験に限り、次の(a)から(e)までに該当する理由で欠席したものに対して行う。

(略)

(d) 就職試験等：就職試験等実施先の証明が必要

(略)

基本科目一覧表

分野	科 目	単位 数	配当年次
<u>オープ ンゼミ</u>	<u>オープンゼミ 1</u>	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
	<u>オープンゼミ 2</u>	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>
言語と文化	日本語の諸相 1	2	1 年次以上
	日本語の諸相 2	2	1 年次以上
	日本語表現	2	1 年次以上
	(略)		

(略)

2015年度より変更があった部分

学科共通履修細則の改正部分

※下線部は改正箇所

- Ⅲ 外国語科目 (略)
- A. 英語 (略)
2. 科目の内容 (略)
- (1) 実用英語 (略)
- (2) 英語講読 (略)
- (3) 英語 L. L. (略)
- (4) 英会話 (略)
- (5) 検定英語 (略)

TOEIC®、STEP（実用英語検定）などの各種の英語検定試験や、将来外国の大学で勉強を志す場合に必要とされるような実用的な英語の運用能力ならびに知識を高めることを目指す。

検定英語 1・2 は「英検 2 級」、TOEIC®400 点以上、検定英語 3・4 は、「英検準 1 級及び 1 級」、TOEIC®550 点以上を目指す。

(略)

B. ドイツ語

1. 科目の種類

- (1) ドイツ語は、読解に重点をおく科目と、表現に重点をおく科目とに大別される。
- (2) ドイツ語の科目には、読解と表現それぞれに、入門、初級、中級（1・2）と上級に相当する検定ドイツ語（1・2・3・4）の 4 段階があり、より高度なレベルへと学習を継続することができる。

(略)

科目一覧

科目	配当年次	科目	配当年次
ドイツ語読解入門	1 年次以上	ドイツ語読解中級 1	2 年次以上
ドイツ語読解初級		ドイツ語読解中級 2	
ドイツ語表現入門		ドイツ語表現中級 1	
ドイツ語表現初級		ドイツ語表現中級 2	

旧科目	新科目	配当年次	備考
ドイツ語読解上級 1	検定ドイツ語 1	2 年次以上	隔年開講
ドイツ語表現上級 1			
ドイツ語読解上級 2	検定ドイツ語 2		
ドイツ語表現上級 2			
ドイツ語読解演習 1	検定ドイツ語 3		
ドイツ語表現演習 1			
ドイツ語読解演習 2	検定ドイツ語 4		
ドイツ語表現演習 2			

※旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

2. 科目の内容

- (1) 読解入門：ドイツ語の綴りに慣れ、基本的な語彙を学んで、初歩的な文のしくみを理解する。
- (2) 表現入門：ドイツ語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力を養成する。
- (3) 読解初級：音、文法、語彙、文章が密接に関連した教材によって読解力をつける。
- (4) 表現初級：時間と空間に関する表現を学び、基本的な情報の伝達と理解ができる力をつける。
- (5) 読解中級 1・2：やさしい思想・文学作品・新聞・雑誌などの講読を通じて読解力を高め、外国文化の理解を深める。
- (6) 表現中級 1・2：ことばに不自由なくドイツ語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力を養う。
- (7) 検定ドイツ語 1：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読み・書き能力に主眼をおいた授業を行う。

「ドイツ語検定」4 級合格を目標とする。

検定ドイツ語 2：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力に主眼をおいた授業を行う。「ドイツ語検定」4 級合格を目標とする。

検定ドイツ語 3：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読み・書き能力に主眼をおいた授業を行う。「ドイツ語検定」3 級合格を目標とする。

検定ドイツ語4：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力を主眼においた授業を行う。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

3. 履修方法

- (1) ドイツ語の科目については、各自が自由に選択できる。
- (2) 学年にかかわらず、履修の初年度には入門を履修すること。読解と表現をあわせて履修することが望ましい。
- (3) ドイツ語読解の入門及び初級を修得した者は、中級を履修することができる。
- (4) ドイツ語表現の入門及び初級を修得した者は、中級を履修することができる。
- (5) ドイツ語表現及び読解の中級を履修した者及び履修中の者は、検定ドイツ語を履修することができる。
- (6) 履修希望者が多い場合には、人数を制限したり、クラスを指定したりすることがある。

C. フランス語

1. 科目の種類

- (1) フランス語は、読解に重点をおく科目と、表現に重点をおく科目とに、大別される。
- (2) フランス語の科目には、読解と表現それぞれに、入門、初級、中級（1・2）と上級に相当する実用フランス語（1・2・3・4）の4段階があり、より高度なレベルへと学習を継続することができる。
- (3) フランス語は、いずれの科目も春学期・秋学期各1単位とする。

科目一覧

科目	配当年次	科目	配当年次
フランス語読解入門	1年次以上	フランス語読解中級1	2年次以上
フランス語読解初級		フランス語読解中級2	
フランス語表現入門		フランス語表現中級1	
フランス語表現初級		フランス語表現中級2	

旧科目	新科目	配当年次	備考
フランス語読解上級 1	実用フランス語 1	2 年次以上	隔年開講
フランス語表現上級 1			
フランス語読解上級 2	実用フランス語 2		
フランス語表現上級 2			
フランス語読解演習 1	実用フランス語 3		
フランス語表現演習 1			
フランス語読解演習 2	実用フランス語 4		
フランス語表現演習 2			

※旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

2. 科目の内容

- (1) 読解入門：フランス語の綴りに慣れ、基本的な語彙を学んで、初歩的な文のしくみを理解する。
- (2) 表現入門：フランス語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力を養成する。
- (3) 読解初級：音、文法、語彙、文章が密接に関連した教材によって読解力をつける。
- (4) 表現初級：時間と空間に関する表現を学び、基本的な情報の伝達と理解ができる力をつける。
- (5) 読解中級1・2：やさしい思想・文学作品・新聞・雑誌などの講読を通じて読解力を高め、外国文化の理解を深める。
- (6) 表現中級1・2：ことばに不自由なくフランス語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力を養う。
- (7) 実用フランス語1・2・3・4：「実用フランス語検定」の合格を目標として、リーディングとリスニングの双方において実践的な演習を行う。

3. 履修方法

- (1) フランス語の科目については、各自が自由に選択できる。
- (2) 学年にかかわらず、履修の初年度には入門を履修すること。読解と表現をあわせて履修することが望ましい。
- (3) フランス語の入門及び初級を修得した者は、中級を履修することができる。
- (4) フランス語表現及び読解の中級を履修した者及び履修中のものは、実用フランス語を履修できる。

(略)

V 総合科目

(略)

5. 各科目の内容

(1) 追大UI科目

(略)

科目一覧

科目	単位数	配当年次	備考
学び論	2	1年次以上	
<u>追手門UI論</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
(略)	(略)	(略)	(略)
Japan Today	2	1年次以上	グローバルキャリアコース 専用科目
Cultures and Societies in Japan	2	2年次以上	
<u>留学事後演習</u>	<u>2</u>	<u>3年次</u>	

※グローバルキャリアコース専用科目はグローバルキャリアコース生で2013年度入学生（学籍番号13番台）から履修できる。

※「学び論」を修得した者は、追手門UI論を履修することはできない。

(2) 追大プロジェクト科目

(略)

注：科目一覧－1は、2013年度入学生まで適用（学籍番号13番台まで）

科目一覧－1

科 目	単位数	配当年次	備考
インターンシップ基礎	2	2年次、3年次	最大4単位まで卒業に必要な単位として認める
インターンシップ実習	2	2年次、3年次	
インターンシップ実習1	1	1年次以上	
インターンシップ実習2	1	1年次以上	
インターンシップ実習3	1	1年次以上	
インターンシップ実習4	1	1年次以上	
インターンシップ1	2	3年次以上	
インターンシップ2	2	3年次以上	
経営力インターンシップ1	2	3年次以上	
経営力インターンシップ2	2	3年次以上	
キャリア形成論1	2	2年次以上	
キャリア形成論2	2	2年次以上	
キャリア形成論3	2	3年次	
社会人の基礎	2	3年次以上	
プロジェクト1	2	1年次以上	
プロジェクト2	2	1年次以上	
プロジェクト3	2	1年次以上	
プロジェクト4	2	1年次以上	
プロジェクト5	2	1年次以上	
プロジェクト6	2	1年次以上	
プロジェクト7	2	1年次以上	
プロジェクト8	2	1年次以上	
ボランティア論	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ファシリテーション1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ファシリテーション2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（リーダーシップ1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（リーダーシップ2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（交渉学入門1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（交渉学入門2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ロジカルシンキング1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ロジカルシンキング2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（プレゼンテーション1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（プレゼンテーション2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ1）	2	1年次以上	

表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ2）	2	1年次以上	
オーストラリアを学ぶ1	2	1年次以上	
オーストラリアを学ぶ2	2	1年次以上	
グローバルキャリア論	2	3年次以上	
教員への道Ⅰ	2	1年次以上	
教員への道Ⅱ	2	1年次以上	
教師力養成演習1	2	2年次以上	
教師力養成演習2	2	2年次以上	
全学教職ゼミ1	2	3年次以上	
全学教職ゼミ2	2	3年次以上	
追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナール	2	1年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム1	2	1年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム2	2	1年次以上	最大2単位まで 卒業に必要な 単位として 認める
リーダーズプログラム3	2	1年次以上	
リーダーズプログラム4	2	1年次以上	
リーダーズプログラム5	2	1年次以上	
リーダーズプログラム6	2	2年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム7	2	2年次以上	最大2単位まで 卒業に必要な 単位として 認める
リーダーズプログラム8	2	2年次以上	
リーダーズプログラム9	2	2年次以上	
リーダーズプログラム10	2	2年次以上	
リーダーズプログラム11	2	2年次以上	リーダー養成 コース専用科目

※オーストラリアを学ぶ（2008年度まで開講）を修得した場合、オーストラリアを学ぶ1を履修することはできない。

※インターンシップ1を修得した場合はインターンシップ基礎、またインターンシップ2を修得した場合はインターンシップ実習を履修することはできない。

注：科目一覧-2は、2014年度入学生から適用（学籍番号14番台から）
科目一覧-2

科 目	単位数	配当年次	備考
プロジェクト入門	2	1年次	
インターンシップ基礎	2	2年次、3年次	
インターンシップ実習	2	2年次、3年次	
インターンシップ実習1	1	1年次以上	最大4単位まで 卒業に必要な 単位として 認める
インターンシップ実習2	1	1年次以上	
インターンシップ実習3	1	1年次以上	
インターンシップ実習4	1	1年次以上	
キャリア形成論1	2	2年次	
キャリア形成論2	2	2年次	
キャリア形成論3	2	3年次	
社会人の基礎	2	4年次	
プロジェクト1	2	1年次以上	
プロジェクト2	2	1年次以上	
プロジェクト3	2	1年次以上	
プロジェクト4	2	1年次以上	
プロジェクト5	2	1年次以上	
プロジェクト6	2	1年次以上	
プロジェクト7	2	1年次以上	
プロジェクト8	2	1年次以上	
ボランティア論	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ2）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ファシリテーション1）	2	1年次以上	
表現コミュニケーション（ファシ	2	1年次以上	

リテーション2)			
表現コミュニケーション（リーダーシップ1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（リーダーシップ2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（交渉学入門1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（交渉学入門2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ピア・コミュニティ入門2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ロジカルシンキング1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ロジカルシンキング2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（プレゼンテーション1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（プレゼンテーション2）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ1）	2	1 年次以上	
表現コミュニケーション（ダンス・ワークショップ2）	2	1 年次以上	
オーストラリアを学ぶ1	2	1 年次以上	
オーストラリアを学ぶ2	2	1 年次以上	
グローバルキャリア論	2	3 年次以上	
教員への道Ⅰ	2	1 年次以上	
教員への道Ⅱ	2	1 年次以上	
教師力養成演習1	2	2 年次以上	
教師力養成演習2	2	2 年次以上	
全学教職ゼミ1	2	3 年次以上	
全学教職ゼミ2	2	3 年次以上	
追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナール	2	1 年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム1	2	1 年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム2	2	1 年次以上	最大 2 単位まで卒業に必要な単位として認める
リーダーズプログラム3	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム4	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム5	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム6	2	2 年次以上	リーダー養成 コース専用科目
リーダーズプログラム7	2	2 年次以上	最大 2 単位まで卒業に必要な単位として認める
リーダーズプログラム8	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム9	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム10	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム11	2	2 年次以上	リーダー養成 コース専用科目

(3) スポーツキャリア科目

(略)

科目一覧

科 目	単位数	配当年次	備考
スポーツ特殊講義Ⅰ	2	1 年次	スポーツ キャリア コース 専用科目
スポーツ特殊講義Ⅱ	2	4 年次	
スポーツマッサージ実習Ⅰ	1	2 年次	
スポーツマッサージ実習Ⅱ	1	2 年次	

スポーツマネジメント論	2	3 年次	
スポーツビジネス論	2	3 年次	
トレーニング論	2	1 年次以上	
スポーツ心理学	2	2 年次以上	
コーチング論	2	2 年次以上	
スポーツ栄養学	2	2 年次以上	
スポーツ生理学	2	2 年次以上	
障害者スポーツ論	2	3 年次以上	
高齢者スポーツ論	2	3 年次以上	
発育発達論	2	3 年次以上	
スポーツ政策論	2	3 年次以上	
コミュニティスポーツ論	2	4 年次	
スポーツフィールド実習Ⅰ	2	2 年次	スポーツ キャリア コース 専用科目
スポーツフィールド実習Ⅱ	4	4 年次	

※スポーツキャリアコース生専用科目を履修するには別に定める先修条件を満たしていること。スポーツフィールド実習Ⅰは国内研修、Ⅱは海外研修に参加し、指定されたレポート等を提出することで、スポーツキャリア科目として単位認定される。

(4) 国際交流科目

(略)

注：科目一覧－1 は、2006 年度入学生まで適用（学籍番号 06 番台まで）

科目一覧－1

科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
国際現地研修3	4	2 年次以上	不開講
Introduction to Japanese Literature 1	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目
Introduction to Japanese Literature 2	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Society 1	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Society 2	2	1 年次以上	
Japanese Culture 1	2	1 年次以上	
Japanese Culture 2	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Philosophy 1	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1 年次以上	

注：科目一覧－2 は、2007 年度入学生から適用（学籍番号 07 番台から）

科目一覧－2

科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
海外インターンシップ	4	2 年次以上	
Introduction to Japanese Literature 1	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目
Introduction to Japanese Literature 2	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Society 1	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Society 2	2	1 年次以上	
Japanese Culture 1	2	1 年次以上	
Japanese Culture 2	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Philosophy 1	2	1 年次以上	
Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1 年次以上	

(略)

VII 科目修了の認定と試験

1. 科目修了の認定のための試験を行う。

ただし、平素の成績を考慮して科目修了の認定を行うこともある。

(略)

5. 所定の履修登録手続きをしていないものは試験を受けることができない。

6. 試験の際、開始後 20 分以上遅刻したものは受験できない。

また、開始後 35 分を経過しなければ退室できない。

(略)

基本科目一覧

・旧科目で単位修得済みの者は、それに対応する新科目を履修することはできない。

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
言語と文化	日本語の諸相 1	2		1 年次以上	
	日本語の諸相 2	2			
	日本語表現	2	日本語表現		
	アジアの諸文化 1	2	アジアの文化 1		
	アジアの諸文化 2	2	アジアの文化 2		
	アジアの社会 1	2			
	アジアの社会 2	2			
	アジアと国際社会 1	2	アジアと国際社会 1		
	アジアと国際社会 2	2	アジアと国際社会 2		
	英米の文化・文学 1	2	欧米の文学		
	英米の文化・文学 2	2			
	比較文化概論 1	2	比較文化概論 1		
	比較文化概論 2	2	比較文化概論 2		
	言語の科学 1	2	言語学入門		
	言語の科学 2	2			
	比較思想概論 1	2	哲学入門		
	比較思想概論 2	2			
	異文化交流の歴史	2	世界の歴史		
	異文化交流とコミュニケーション	2	異文化理解		
	ヨーロッパの文学 1	2	欧米の文学		
	ヨーロッパの文学 2	2			
	ヨーロッパの思想 1	2	哲学入門		
	ヨーロッパの思想 2	2			
	ことばと文化(ドイツ語)	2	比較文化概論 1		
	ことばと文化(フランス語)	2	比較文化概論 2		
	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)1	2	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)1		
	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)2	2	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)2		
	くらしと文化	2	くらしと文化		
	GlobalAwareness/GlobalConcepts	2	GlobalAwareness/GlobalConcepts	2 年次以上	グローバルキャリア コース専用科目
	InterculturalCommunication	2	InterculturalCommunication		
	日本文化論 1	2	日本文化論 1	1 年次以上	
	日本文化論 2	2	日本文化論 2		
	国際異文化理解 1	10	国際異文化理解 1	2 年次以上	大学が認めた留学生 専用科目
	国際異文化理解 2	10	国際異文化理解 2		
		2	宗教と社会	1 年次以上	
		2	考古学入門		

		2	芸術学入門	1 年次以上	
		2	アジアの文学 1		
		2	アジアの文学 2		
		2	日本の文学		
		2	日本の伝統芸能		
		2	民俗学入門		

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
生活と社会	入門経済学 1	2	入門経済学 1	1 年次以上	
	入門経済学 2	2	入門経済学 2		
	日本国憲法	2	日本国憲法		
	市民生活と法 1	2	市民生活と法 1		
	市民生活と法 2	2	市民生活と法 2		
	家族と法 1	2	法学入門		
	家族と法 2	2			
	近代日本社会と世界 1	2	日本の近現代史 1		
	近代日本社会と世界 2	2	日本の近現代史 2		
	市民社会と政治 1	2	市民社会と政治 1		
	市民社会と政治 2	2	市民社会と政治 2		
	生活と地理 1	2	人文地理学入門		
	生活と地理 2	2			
	社会学の考え方	2	社会学入門		
	福祉の諸問題	2	共生社会と福祉		
	メディア論	2	メディア論		
	現代社会と倫理	2	倫理学入門		
	現代社会の諸問題	2			
	現代社会の人間関係	2			
	現代社会と人権 1	2	現代社会と人権 1		
	現代社会と人権 2	2	現代社会と人権 2		
	共生社会と人間	2	共生社会と福祉		
	社会調査入門 1	2	社会調査入門		
	社会調査入門 2	2			
	余暇とレクリエーション	2	余暇とレクリエーション		
	ジェンダー論	2	ジェンダー論		
	女性学	2			
	心の科学	2	心理学入門		
	人間関係の心理学	2	人間関係と心理		
	人間性の形成	2			
	現代の子どもと教育 1	2	現代の子どもと教育 1		
	現代の子どもと教育 2	2	現代の子どもと教育 2		
	キャリアデザイン論	2	キャリアデザイン論		
	ファイナンス入門	2	ファイナンス入門		
	オーストラリアと国際社会 1	2	オーストラリアと国際社会 1		
	オーストラリアと国際社会 2	2	オーストラリアと国際社会 2		
		2	国際関係入門		
		2	日本経済入門		

分野	旧科目（2014 年度まで）	単位数	新科目（2015 年度から）	配当年次	備考
自然と数理	生物の科学	2	生物学 1	1 年次以上	
	生物の進化	2	生物学 2		
	生物の多様性	2	自然科学概論		
	入門物理学 1	2	入門物理学 1		
	入門物理学 2	2	入門物理学 2		
	入門化学 1	2	入門化学 1		
	入門化学 2	2	入門化学 2		
	入門数学 1	2	入門数学 1		
	入門数学 2	2	入門数学 2		
	入門統計学 1	2	入門統計学 1		
	入門統計学 2	2	入門統計学 2		
	入門コンピュータ 1	2	入門コンピュータ 1		
	入門コンピュータ 2	2	入門コンピュータ 2		
	組織と情報 1	2	現代企業入門		
	組織と情報 2	2			
	科学技術史 1	2	科学技術史 1		
	科学技術史 2	2	科学技術史 2		
		2	数的処理の基礎		
		2	宇宙と物理学		
		2	環境の科学		
	2	地学			
	2	自然地理学			
日本事情	日本事情 1	2	日本事情 1	1 年次以上	外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ
	日本事情 2	2	日本事情 2		
	日本事情 3	2	日本事情 3		
	日本事情 4	2	日本事情 4		

※グローバルキャリアコース専用科目はグローバルキャリアコース生で2013年度入学生（学籍番号13番台）から履修できる。

2014年度より変更があった部分

学科共通履修細則の改正部分

※下線部は改正箇所

(略)

Ⅲ 外国語科目

注：英語科目の実用英語は 2014 年度入学生（学籍番号 14 番台）から、グローバルキャリアコース専用英語は 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から適用。

A. 英語

1. 科目の種類

- (1) 実用英語・英語講読・英語 L.L.・英会話・検定英語・グローバルキャリアコース専用英語の 6 つの種目をおく。
- (2) 英語講読・英語 L.L.・検定英語はそれぞれ Step I・Step II、英会話は Step I・Step II・Step III、グローバルキャリアコース専用英語は Step I・Step IIに分けて継続的に履修することができる。
- (3) 実用英語は、春学期・秋学期各 2 単位、他の英語は、いずれの科目も春学期・秋学期各 1 単位とする。

科目一覧

STEP I		STEP II		STEP III	
科目	配当年次	科目	配当年次	科目	配当年次
実用英語 1	1 年次以上		2 年次以上		
実用英語 2					
英語講読 1		英語講読 3			
英語講読 2		英語講読 4			
英語 L.L.1		英語 L.L.3			
英語 L.L.2		英語 L.L.4			
英会話 1		英会話 3		英会話 5	3 年次以上
英会話 2		英会話 4		英会話 6	
検定英語 1		検定英語 3	1 年次以上		
検定英語 2		検定英語 4			

グローバルキャリアコース専用英語科目一覧

STEP I		STEP II	
科目	配当年次	科目	配当年次
Integrated English:Reading	1 年次以上	Academic English:Reading	2 年次以上
Integrated English:Writing and Speaking		Academic English:Presentation	
Integrated English:Listening		Campus English	

2. 科目の内容

(1) 実用英語

本授業では、教員が学習題材を用意するだけでなく、学生も勉強したいものを持ち込み積極的なアクティブラーニングを目指す。そして英語を用いて自己を表現できるプロダクティブな英語力の養成を、特にオーラル面（Oral/Aural）を重視して行う。具体的には、身の回りのことや日常生活に必要な語彙、表現ができる能力を身につけることを目標とする。授業ではオーセンティックな教材を使用し、学生の動機付けを高める工夫も同時に行う。

(2) 英語講読

(略)

(3) 英語 L.L.

(略)

(4) 英会話

(略)

(5) 検定英語

(略)

(6) グローバルキャリアコース専用英語

「Integrated English」では、高等学校における学習との接続と「Academic English」における学習への円滑な移行のため、高等学校における基礎的な学習内容を整理して定着を図る。

Integrated English:Reading では英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する基礎的な能力を、Integrated English:Writing and Speaking では基本的な表現を使って身近な話題について書いたり話したりする英語表現力を、Integrated English:Listening では事物に関するモノログやダイアログなどを聞いて、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえたりする力を養成する。

Academic English:Reading ではリーディングスキルを徹底的に学習し、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすとともに、専門分野のテキストを読破するために必要とされるアカデミックなスキルを鍛錬する。Academic English:Presentation では文法や語彙を交えてスピーキング原稿を作成するための修辞法を学習し、専門課程で学習する内容に近いものを題材として情報や考えなどを適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。

Campus English では留学生活において必要となる英語に特化したコミュニケーション能力の育成を目指す。

3. 履修方法

(1) 科目は、学科、学生の必要に応じて、自由に選択することができる。各学科の学科履修細則を参照すること。ただし、グローバルキャリアコース専用英語はグローバルキャリアコースに所属する学生が履修できる。

(略)

V 総合科目

注：「スポーツキャリア科目」は 2014 年度入学生（学籍番号 14 番台）から適用。

1. 総合科目は「追大 UI 科目」、「追大プロジェクト科目」、「スポーツキャリア科目」、「国際交流科目」の分野に分ける。

(略)

2. 「追大 UI 科目」については全ての単位を、「追大プロジェクト科目」については最大 8 単位まで（2007 年度入学生までは最大 4 単位まで）を、「スポーツキャリア科目」については全ての単位を、「国際交流科目」、「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合（2005 年度入学生までは、自主活動科目という。）」、「大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合（2006 年度入学生から適用）」については、各分野各々最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

3. 「追大 UI 科目」・「追大プロジェクト科目」・「スポーツキャリア科目」は履修制限単位に含めるが、「国際交流科目」・「放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合（2005 年度入学生までは、自主活動科目という。）」、「大学コンソーシアム大阪単位互換協定による単位修得（2006 年度入学生から適用）」については、履修制限単位に含めない。

(略)

5. 各科目の内容

(1) 追大 UI 科目

(略)

科目一覧

科 目	単位数	配当年次	備考
(略)	(略)	(略)	
地域学入門 2	2	1 年次以上	
Japan Today	2	1 年次以上	グローバルキャリアコース
Cultures and Societies in Japan	2	2 年次以上	専用科目

※グローバルキャリアコース専用科目はグローバルキャリアコース生で 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から履修できる。

(2) 追大プロジェクト科目

(略)

注：科目一覧－1 は、2013 年度入学生まで適用（学籍番号 13 番台まで）

科目一覧－1

科 目	単位数	配当年次
インターンシップ基礎	2	2 年次、3 年次
インターンシップ実習	2	2 年次、3 年次
インターンシップ 1	2	3 年次以上
インターンシップ 2	2	3 年次以上
経営力インターンシップ 1	2	3 年次以上
経営力インターンシップ 2	2	3 年次以上
(削除)		
キャリア形成論 1	2	2 年次以上
キャリア形成論 2	2	2 年次以上
キャリア形成論 3	2	3 年次
社会人の基礎	2	3 年次以上
プロジェクト 1	2	1 年次以上
プロジェクト 2	2	1 年次以上
プロジェクト 3	2	1 年次以上
プロジェクト 4	2	1 年次以上
プロジェクト 5	2	1 年次以上
プロジェクト 6	2	1 年次以上
プロジェクト 7	2	1 年次以上
プロジェクト 8	2	1 年次以上

ボランティア論	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（ファシリテーション 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（ファシリテーション 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（リーダーシップ 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（リーダーシップ 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（交渉学入門 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（交渉学入門 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 2）	2	1 年次以上
オーストラリアを学ぶ 1	2	1 年次以上
オーストラリアを学ぶ 2	2	1 年次以上
グローバルキャリア論	2	3 年次以上
教員への道 I	2	1 年次以上
教員への道 II	2	1 年次以上

※オーストラリアを学ぶ（2008 年度まで開講）を修得した場合、オーストラリアを学ぶ 1 を履修することはできない。

※インターンシップ 1 を修得した場合はインターンシップ基礎、またインターンシップ 2 を修得した場合はインターンシップ実習を履修することはできない。

注：科目一覧-2 は、2014 年度入学生から適用（学籍番号 14 番台から）

科目一覧-2

科 目	単位数	配当年次
プロジェクト入門	2	1 年次
インターンシップ基礎	2	2 年次、3 年次
インターンシップ実習	2	2 年次、3 年次
キャリア形成論 1	2	2 年次
キャリア形成論 2	2	2 年次
キャリア形成論 3	2	3 年次
社会人の基礎	2	4 年次
プロジェクト 1	2	1 年次以上
プロジェクト 2	2	1 年次以上
プロジェクト 3	2	1 年次以上
プロジェクト 4	2	1 年次以上
プロジェクト 5	2	1 年次以上
プロジェクト 6	2	1 年次以上
プロジェクト 7	2	1 年次以上
プロジェクト 8	2	1 年次以上
ボランティア論	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（演劇ワークショップ 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（ファシリテーション 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（ファシリテーション 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（リーダーシップ 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（リーダーシップ 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（交渉学入門 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（交渉学入門 2）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 1）	2	1 年次以上
表現コミュニケーション（プロジェクト・アドベンチャー 2）	2	1 年次以上
オーストラリアを学ぶ 1	2	1 年次以上
オーストラリアを学ぶ 2	2	1 年次以上
グローバルキャリア論	2	3 年次以上
教員への道 I	2	1 年次以上
教員への道 II	2	1 年次以上

(3) スポーツキャリア科目

本学体育会クラブ所属学生（マネージャーも含む）および学外のスポーツ活動で個人的に高い評価を受けている本学学生を対象とし、正課教育プログラムを通して、自らの挑んでいるスポーツを追求するとともに、スポーツを通して地域・社会を見つめ、貢献できるようになることを目標とする。

1年次秋学期にスポーツキャリアコース生として選考された学生が履修する。コース生以外のスポーツに関心のある学生は、スポーツキャリア科目のうち、コース生専用科目以外を履修することができる。

科目一覧

科 目	単位数	配当年次	備考
スポーツ特殊講義Ⅰ	2	1年次	スポーツ キャリア コース生 専用科目
スポーツマッサージ実習Ⅰ	1	2年次	
スポーツマッサージ実習Ⅱ	1	2年次	
スポーツマネジメント論	2	3年次	
スポーツビジネス論	2	3年次	
スポーツ特殊講義Ⅱ	2	4年次	
トレーニング論	2	1年次以上	
スポーツ心理学	2	2年次以上	
コーチング論	2	2年次以上	
スポーツ栄養学	2	2年次以上	
スポーツ生理学	2	2年次以上	
障害者スポーツ論	2	3年次以上	
高齢者スポーツ論	2	3年次以上	
発育発達論	2	3年次以上	
スポーツ政策論	2	3年次以上	
コミュニティスポーツ論	2	4年次	

※スポーツキャリアコース生専用科目を履修するには別に定める先修条件を満たしていること。

(4) 国際交流科目

(略)

科目一覧-2

科 目	単位数	配当年次	備考
交換留学インド	4	1年次以上	
交換留学オーストラリア	4	1年次以上	
交換留学アメリカ	4	1年次以上	
交換留学中国	4	1年次以上	
交換留学タイ	4	1年次以上	
交換留学イギリス	4	1年次以上	
交換留学韓国	4	1年次以上	
交換留学オランダ	4	1年次以上	
交換留学ドイツ	4	1年次以上	
交換留学台湾	4	1年次以上	
交換留学スペイン	4	1年次以上	
海外セミナー	4	1年次以上	
短期海外セミナー	2	1年次以上	
国際現地研修	4	2年次以上	
海外インターンシップ	4	2年次以上	

(5) 自主活動科目

(略)

基本科目一覧表

分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
		必修	選択	1	2	3	4	
言語と文化	日本語の諸相 1		2	○	○	○	○	
	日本語の諸相 2		2	○	○	○	○	
	日本語表現		2	○	○	○	○	
	アジアの諸文化 1		2	○	○	○	○	
	(略)							
	くらしと文化		2	○	○	○	○	
	GlobalAwareness/GlobalConcepts		2		○	○	○	グローバル キャリアコース 専用科目
	InterculturalCommunication		2		○	○	○	
	日本文化論 1		2	○	○	○	○	
	日本文化論 2		2	○	○	○	○	
	国際異文化理解 1		10		○	○	○	大学が認め た留学生専 用科目
	国際異文化理解 2		10		○	○	○	

※グローバルキャリアコース専用科目はグローバルキャリアコース生で 2013 年度入学生（学籍番号 13 番台）から履修できる。

(略)

2013年度より変更があった部分

A-7-0-0 学科共通履修細則

Ⅲ 外国語科目

A. 英語

科目の種類

(略)

科目一覧

STEP I	配当 年次	STEP II	配当 年次	STEP III	配当 年次
科目		科目		科目	
英語講読 1	1 年次 以上	英語講読 3	2 年次 以上		
英語講読 2		英語講読 4			
英語 L.L.1		英語 L.L.3			
英語 L.L.2		英語 L.L.4			
英会話 1		英会話 3		英会話 5	3 年次 以上
英会話 2		英会話 4		英会話 6	
検定英語 1		検定英語 3	1 年次 以上		
検定英語 2		検定英語 4			

(削除)

2. 科目の内容

(略)

3. 履修方法

(略)

B. ドイツ語

1. 科目の種類

(略)

科目一覧

科目	配当年次	科目	配当年次
ドイツ語読解入門	1 年次以上	ドイツ語読解上級 1	3 年次以上
ドイツ語読解初級		ドイツ語読解上級 2	
ドイツ語表現入門		ドイツ語表現上級 1	
ドイツ語表現初級		ドイツ語表現上級 2	
ドイツ語読解中級 1	2 年次以上	ドイツ語読解演習 1	3 年次以上
ドイツ語読解中級 2		ドイツ語読解演習 2	
ドイツ語表現中級 1		ドイツ語表現演習 1	
ドイツ語表現中級 2		ドイツ語表現演習 2	

(削除)

2. 科目の内容

(略)

3. 履修方法

- (1) ドイツ語の科目については、各自が自由に選択できる。
- (2) 学年にかかわらず、履修の初年度には入門を履修すること。読解と表現をあわせて履修することが望ましい。
- (3) ドイツ語読解の入門及び初級を修得した者は、中級、上級または演習を履修することができる。
- (4) ドイツ語表現の入門及び初級を修得した者は、中級、上級または演習を履修することができる。

(削除)

- (5) 履修希望者が多い場合には、人数を制限したり、クラスを指定したりすることがある。

C. フランス語

1. 科目の種類

(略)

科目一覧

科目	配当年次	科目	配当年次
フランス語読解入門	1 年次以上	フランス語読解上級 1	3 年次以上
フランス語読解初級		フランス語読解上級 2	
フランス語表現入門		フランス語表現上級 1	
フランス語表現初級		フランス語表現上級 2	
フランス語読解中級 1	2 年次以上	フランス語読解演習 1	3 年次以上
フランス語読解中級 2		フランス語読解演習 2	
フランス語表現中級 1		フランス語表現演習 1	
フランス語表現中級 2		フランス語表現演習 2	

(削除)

2. 科目の内容

(略)

3. 履修方法

- (1) フランス語の科目については、各自が自由に選択できる。
- (2) 学年にかかわらず、履修の初年度には入門を履修すること。読解と表現をあわせて履修することが望ましい。
- (3) フランス語読解の入門及び初級を修得した者は、中級、上級または演習を履修することができる。
- (4) フランス語表現の入門及び初級を修得した者は、中級、上級または演習を履修することができる。

(削除)

- (5) 履修希望者が多い場合には、人数を制限したり、クラスを指定したりすることがある。

D. 中国語

1. 科目の種類

- (1) 中国語の科目は、読解に重点をおく講読類と、会話に重点をおく会話類に、大別される。
- (2) 各類に、それぞれ、初級・中級の2段階があり、より高度なレベルへと学習を継続することができる。
- (3) 中国語は、いずれの科目も春学期・秋学期各 1 単位とする。中国語は、いずれの科目も春学期・秋学期各 1 単位とする。

科目一覧

	初級		中級	
	科目	配当年次	科目	配当年次
講読類	中国語講読基礎 1	1 年次以上	中国語講読中級 1	2 年次以上
	中国語講読基礎 2		中国語講読中級 2	
	中国語講読基礎 3			
	中国語講読基礎 4		中国語講読中級 3	
	中国語講読入門 1		中国語講読中級 4	
	中国語講読入門 2			
会話類	中国語会話基礎 1	1 年次以上	中国語会話中級 1	2 年次以上
	中国語会話基礎 2		中国語会話中級 2	
	中国語会話入門 1		中国語会話中級 3	
	中国語会話入門 2		中国語会話中級 4	

(削除)

2. 科目の内容

(略)

3. 履修方法

- (1) 中国語の科目については、各自の興味と必要に応じて、自由に選択することができる。
- (2) 学年にかかわらず、最初に基礎 1 または入門 1 を履修する。
- (3) 初級のうち、講読類については、基礎 1、基礎 2、基礎 3 及び基礎 4 または入門 1 及び入門 2 を修得してから、次年度以降に中級を履修することができる。また、会話類については、基礎 1 及び基礎 2 または入門 1 及び入門 2 を修得してから、次年度以降に中級を履修することができる。
- (4) 初年度には講読と会話をともに履修することが望ましい。

E. 日本語

(略)

科目一覧

科目	単位数	配当年次	科目	単位数	配当年次
日本語読解中級 1	1	1 年次以上	日本語読解上級 1	1	2 年次以上
日本語読解中級 2	1		日本語読解上級 2	1	
日本語聴解中級 1	1		日本語聴解上級 1	1	
日本語聴解中級 2	1		日本語聴解上級 2	1	

(削除)

IV 体育科目

1. 科目の種類

(略)

科目一覧

		科目	単位数	配当年次
健康科学群	実技	基礎体育 1	1	1 年次以上
		基礎体育 2	1	
	講義	体育概論	2	
スポーツ科学群	実技	応用体育 1	1	
		応用体育 2	1	
		応用体育 3	1	
	講義	スポーツ概論	2	
ネイチャー アクティビティ	実技	余暇生活実習 1	1	
		余暇生活実習 2	1	
		余暇生活実習 3	1	

(削除)

2. 科目の内容

(略)

V 総合科目

5. 科目の内容

(1) 追大UI科目

(略)

科目一覧

科 目	単位数	配当年次
学び論	2	1 年次以上
北摂を学ぶ	2	1 年次以上
教養ゼミ1	2	1 年次以上
教養ゼミ2	2	1 年次以上
教養ゼミ3	2	1 年次以上
教養ゼミ4	2	1 年次以上
教養ゼミ5	2	1 年次以上
教養ゼミ6	2	1 年次以上
教養ゼミ7	2	1 年次以上
教養ゼミ8	2	1 年次以上
教養ゼミ9	2	1 年次以上
教養ゼミ10	2	1 年次以上
教養ゼミ11	2	1 年次以上
教養ゼミ12	2	1 年次以上
教養ゼミ13	2	1 年次以上
教養ゼミ14	2	1 年次以上
教養ゼミ15	2	1 年次以上
教養ゼミ16	2	1 年次以上
教養ゼミ17	2	1 年次以上
教養ゼミ18	2	1 年次以上
教養ゼミ19	2	1 年次以上
教養ゼミ20	2	1 年次以上
地域文化創造研究	2	1 年次以上
地域文化創造演習	2	1 年次以上
地域学入門1	2	1 年次以上
地域学入門2	2	1 年次以上

規程等

「大学院科目履修に関する特例措置」

2014年度より変更があった部分

[新しく追加された規程]

学部学生の大学院科目履修に関する特例措置

(目的)

第1条 この特例措置は、追手門学院大学(以下「本学」という。)が教育的配慮の下に本学大学院への進学を希望する本学学部学生を選考の上、4年次に大学院(修士課程・博士前期課程)の指定科目を受講させ、修士学位の取得者拡大を目的にその募集等に関する事項について定める。

(募集)

第2条 募集は、学部3年次または4年次の秋学期末試験終了後に、第3条に規定する応募資格を満たす者を対象として「学部特別選考」を行う。

2 「学部特別選考」合格者は、原則として「本学大学院第1期(第2期)入学試験」または、「本学大学院学内推薦入学試験」を受験するものとする。

(応募資格)

第3条 「学部特別選考」への応募資格は次のとおりとする。

- (1) 本学大学院への進学を強く希望する者であること。
- (2) 卒業要件単位数を110単位以上修得していること。
- (3) 指導教員等の推薦を受けられること。

(履修)

第4条 「学部特別選考」合格者の大学院授業科目の履修等は、次のとおりとする。

- (1) 履修できる大学院授業科目は指定科目とし、科目数は10単位相当授業科目数以内とする。
- (2) 大学院授業科目の履修方法は、本学大学院学則等による。
- (3) 第2条に規定する「本学大学院第1期(第2期)入学試験」または、「本学大学院学内推薦入学試験」に合格し、本学大学院研究科修士課程または博士前期課程への入学が正式許可となった場合は、各研究科委員会で審議の上、大学院授業科目の単位として認定されるものとする。

(授業料等)

第5条 「学部特別選考」合格者の授業料等は、次のとおりとする。

- (1) 4年次については、学部授業料等のみとする。
- (2) 第2条に規定する「本学大学院第1期(第2期)入学試験」または、「本学大学院学内推薦入学試験」に合格し、本学大学院研究科修士課程または博士前期課程への入学が正式許可となった場合は、所定の期日までに学費・諸費を一括納入しなければならない。

(所管部署)

第6条 この特例措置に関する事務は、教務部教務課で行う。

(規程の改廃)

第7条 この特例措置の改廃は、大学院委員会の議を経て大学教育研究評議会が行う。

附則

この特例措置は、2014年4月1日から施行する。

規程等

**「大学院修了要件における在学期間の
短縮に関する取扱要項」**

2014年度より変更があった部分

[新しく追加された規程]

大学院修了要件における在学期間の短縮に関する取扱要項

(目的)

第1条 この取扱要項は、追手門学院大学(以下「本学」という。)が教育的配慮の下に本学大学院学則第11条第1項の規定に基づき、別に定める「本学学部学生の大学院科目履修に関する特例措置」該当者で、かつ、大学院において特に優れた成績を上げた者について、大学院修士課程または博士前期課程の修了要件における在学期間を短縮して修了することを目的とし、必要な事項について定める。

(成績基準)

第2条 第1条に規定する優れた成績を上げた者とは、次の各号のいずれかを満たす者とする。

(1)別に定める「本学学部学生の大学院科目履修に関する特例措置」該当者で、学部4年次において指定された履修科目を8単位以上、かつ、成績評価が「良」(70点)以上で修得して大学院に入学した者。

(2)別に定める「本学学部学生の大学院科目履修に関する特例措置」該当者で、学部4年次において指定された履修科目を8単位以上修得して入学し、修士課程にあつては前期末時点で16単位以上が、また、博士前期課程にあつては、前期末試験における16単位相当の成績評価がそれぞれ「良」(70点)以上である者。

(修士論文)

第3条 大学院修士課程または博士前期課程の修了要件における在学期間を短縮して修了しようとする場合、指導教員の承認を得て修士論文計画書をあらかじめ提出し、特に前条(2)における成績認定を受けた者は、集中的に指導を受けることにより、修士論文を提出しなければならない。

(履修)

第4条 大学院修士課程または博士前期課程の修了要件における在学期間を短縮して修了しようとする場合、大学院授業科目及び履修方法等の詳細については、本学大学院学則等の定めるところによる。

(所管部署)

第5条 この取扱要項に関する事務は、教務部教務課で行う。

(規程の改廃)

第6条 この取扱要項の改廃は、大学院委員会の議を経て大学教育研究評議会が行う。

附則

この取扱要項は、2014年4月1日から施行する。

規程等

**「追手門学院大学大学院
長期履修制度に関する規程」**

2014年度より変更があった部分

【新しく追加された規程】

追手門学院大学大学院長期履修制度に関する規程

[2014 年 8 月 25 日制定]

(目的)

第1条 この規程は、追手門学院大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第3条第3項の規定に基づき、職業等に従事しながら学習を希望する社会人などに、あらかじめ標準修業年限を超えた長期間での履修計画を設定させ、その計画に基づいた在籍及び履修を許可することにより、学生生活の負担軽減を図りながら学位取得が可能となる柔軟な学習機会の提供を目的とする。

(申請資格)

第2条 長期履修制度に申請することができる者は、本条第2項に規定する研究科への入学資格を有する者（以下「入学予定者」という。）及び本条第2項に規定する研究科に属する学生（以下「在学生」という。）で次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 職業を有し、就業している者（自営、正規、臨時の雇用形態は問わない）で、著しく学習時間の制約を受ける者
- (2) 家事、育児、長期介護等により著しく学習時間の制約を受ける者
- (3) その他やむを得ない事情（疾病や障がい等）を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

2 前項に規定する資格を有する者が、長期履修を申請できる本大学院研究科・専攻は次のとおりとする。

- (1) 経済学研究科博士前期課程及び博士後期課程
- (2) 経営学研究科博士前期課程及び博士後期課程
- (3) 心理学研究科心理学専攻
- (4) 文学研究科の全専攻

3 第1項の規定に関わらず、在学生のうち単位の修得状況や学位論文の執筆状況等によりあらかじめ修了延期が見込まれる者については、原則としてこれを対象としない。また、所定の算出方式による在学生数が収容定員を超えている場合には、これを許可しない。

4 入院、療養、出産、長期出張、留学等の事由により、一定期間履修できない者及び私費外国人留学生については対象としない。

(長期履修期間及び在学年限)

第3条 長期履修を申請し、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することが認められる期間（以下「長期履修期間」という。）は年度単位とし、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長期履修期間は、大学院学則第13条に定める在学年限を超えることはできない。

- (1) 修士課程及び博士前期課程にあつては4年以内とする。
- (2) 博士後期課程にあつては6年以内とする。

- 2 長期履修期間中に修了できない場合は、在学年限内であれば留年となる。

(申請手続き)

第4条 長期履修制度への申請を希望する入学予定者は、それぞれ受験した入学試験の合格発表日から10日後までに、また、在学生においては、長期履修開始希望年度の前年度1月末日までに、長期履修制度申請書に次に掲げる書類を添えて、学長に願い出なければならない。

- (1) 第2条第1項第1号に該当する者は、在職証明書または在職が確認できる書類
- (2) 第2条第1項第2号または第3号に該当する者は、当該事実または事情を説明できる書類
- (3) その他、学長が必要と認める書類

(審査及び許可)

第5条 前条の申請については、当該研究科の研究科委員会及び大学院委員会の議を経て学長が許可する。

- 2 長期履修が許可された場合には、長期履修許可書により通知する。

(授業料その他の学費)

第6条 長期履修を許可された学生（以下「長期履修学生」という。）の授業料その他の学費（以下「授業料等」という。）は、大学院学則第43条第1項（別表第2）に定める授業料等の総額に標準修業年限を乗じ、その額を長期履修期間で除した額とする。ただし、在学中に授業料等の改定がある場合及び第8条に基づき長期履修期間の変更が認められた場合は、授業料等を再計算するものとする。

- 2 大学院学則別表第2（第43条関連）の1に定める社会人入試による入学者等社会人学生に対する授業料減免及び同第43条第2項、第3項に定める論文審査のための在学による授業料等減免等その他減免に関する事項については、長期履修期間別の授業料等の額及び納付・徴収方法等その他詳細とともに別に定める。

(履修計画)

第7条 長期履修に係る授業科目の履修については、指導教員から十分な指導を受け、計画的にかつ柔軟な履修計画を立てるものとする。

- 2 長期履修期間中における年間の履修登録単位数は、研究科毎に上限を定めることがある。

(長期履修期間の変更)

第8条 長期履修学生が、許可された長期履修期間の延長または短縮を希望する場合は、変更開始希望年度の前年度1月末日までに、長期履修期間変更願に必要書類を添えて、学長に願い出なければならない。ただし、長期履修期間の変更は、長期履修期間の最終年次における延長の願い出及び標準修業年限より短縮する願い出は、これを許可しない。

- 2 前項の願い出については、当該研究科の研究科委員会及び大学院委員会の議を経て学長が許可する。
- 3 第1項に規定する長期履修期間の変更は、1年単位で、課程在学中に1回限りとする。また、短縮を認められた者が、再度、長期履修の申請を行うことはできない。

- 4 変更の願い出が許可された場合の授業料は、第6条に規定する再計算を行い、書面にて通知する。

(長期履修の許可の取り消し)

第9条 長期履修学生が、大学院学則その他諸規程に抵触する行為があったとき、または長期履修制度に関し虚偽の申請等が発覚した場合には、学長は当該研究科の研究科委員会及び大学院委員会の議を経て、長期履修の許可を取り消すことができる。

- 2 長期履修学生が、退学または除籍となった場合には、その異動日をもって長期履修の許可を取り消すものとする。また、当該異動学生が、大学院学則第28条により再入学を許可され、長期履修を希望する場合には、第3条第1項に規定する長期履修期間内にて許可することがある。

(その他)

第10条 大学院学則及びこの規程に定めるもののほか、長期履修制度に関し必要な事項は、各研究科において別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、研究科委員会及び大学院委員会の議を経て、大学教育研究評議会が行う。

(事務の所管)

第12条 この規程に関する事務は、教務部教務課で行う。

附 則

この規程は、2015年4月1日から施行する。